

**nuna**®

NUNA i-size 対応チャイルドシート プライム

# 取扱説明書 / 保証書

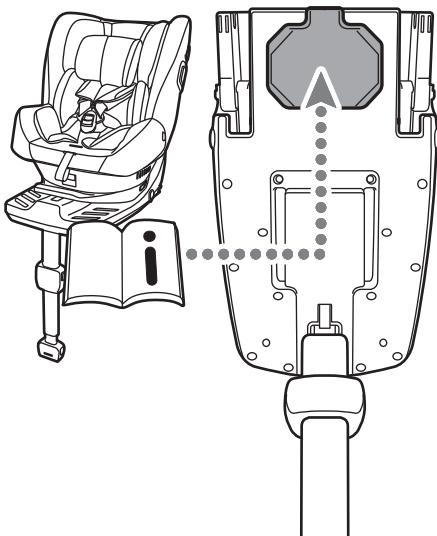


**prym™**

# 重要!!

## 取扱説明書を いつでも参照できるよう 大切に保管すること 記載事項をお守りください

取扱説明書ホルダー

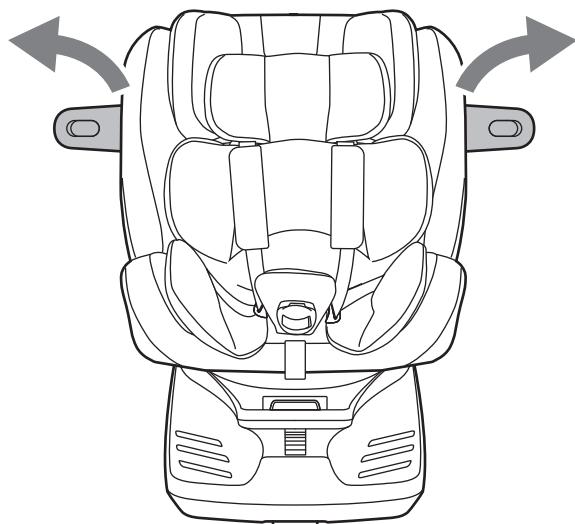


本書は、本製品底面の  
「取扱説明書ホルダー」  
に保管してください。



「取扱説明書ホルダー」  
にうまく収納できない  
場合には、左図のよう  
に、シートカバーの内  
側に収納しておいてく  
ださい。

# サイドインパクトシールドについて



本製品には、側面からの衝撃を吸収する「サイドインパクトシールド」機能が装備されています。

本製品のサイドインパクトシールドは、受けバックルと連動して、自動的に開く機能を採用しています。

本製品をはじめてお使いになるにあたって、各部の調節、操作の確認をしていただく際に、サイドインパクトシールドが開くことがありますので、そのような場合はP53を参照して、サイドインパクトシールドを閉じてください（ほとんどの操作、作業は、サイドインパクトシールドを開いたままでも続けられます）。

参照 P53 ▶サイドインパクトシールド▶閉じかた▶01

# もくじ

はじめにお読みください	5	前向きから後ろ向きに回転させる	70
ユーザー登録のお願い	5	後ろ向きから回転させる	73
チャイルドシートについて	6	リクライニングの使いかた	77
使用に関するアドバイス	6	お子さまの乗せかた	79
自動車との適合について	7	後ろ向きで使用する	79
製品情報の確認	7	前向きで使用する	89
nunababy.com	7	サマーシート	100
使用できるお子さまの条件	8	お手入れのしかた	101
ベース付きチャイルドシート	11	ソフト/パッド・肩ベルトパッド・シートカバー	102
表記の説明	12	シェル・ベース	119
内容物の確認	13	保管のしかた	121
各部の名称	14	廃棄のしかた	121
自動車の座席への取り付けについて	17	保証書	
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	17		
取り付け、使用できない座席	17		
使用上の注意事項	21		
緊急時の操作	36		
ソフトパッドの使用	37		
キャノピー	38		
基本的な使いかた	42		
バックルの使いかた	42		
肩ベルトの長さ調節	44		
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節	46		
ソフトパッドの使いかた	47		
サイドインパクトシールド	51		
自動車の座席への取り付け・取り外し	54		
取り付けかた	54		
取り外しかた	63		
シェルの回転	66		
シェルを回転させる場合の注意事項	67		
自動車のシートの調節	69		



## 必ずお読みください

本製品は、自動車の座席に取り付けてチャイルドシートとしてご使用いただくことができます。

本製品は、欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。

本取扱説明書は、本製品の所定の場所に格納して大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



本製品は、本製品のシェル（座席）が回転することにより、自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きにして使用することができます。

お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ月齢 15 カ月を超えるまでは、後ろ向きでのみ使用可能です。前向きでは絶対に使用しないでください。

## はじめにお読みください

### ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準である ECE R129/03 に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

## チャイルドシートについて

チャイルドシートは、適切に使用することにより、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになる自動車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

## 使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や、緊急事態には、お子さまを直ちに応急処置し、医療機関にご相談ください。

## 自動車との適合について

以下のホームページに掲載の適合車種一覧においては、本製品が取り付けられる可能性のある汎用 ISOFIX 固定装置（ISOFIX 固定バー）を装備した車両の情報が記載されています。

カトージ ホームページ

[katoji.co.jp](http://katoji.co.jp)

ご購入前に、お使いの自動車の座席に本製品が適切に取り付けることができるか、あらかじめご確認ください。

## 製品情報の確認

Model Number:

Manufactured in (date):

本製品のベースの底面に貼られているシールに、Model Number: (モデルナンバー) と Manufactured in (date): (製造年月日) が記載されています。これらをご確認の上、上の空欄に書き写しておいてください。

お問い合わせの際には、これらの他、ご購入に関する情報（購入店、購入年月日）をお手元にご用意ください。

[nunababy.com](http://nunababy.com)

info@nunababy.com  
[www.nunababy.com](http://www.nunababy.com)

NUNA への製品の登録について。

[www.nunababy.com](http://www.nunababy.com) より NUNA への製品登録が可能ですが、現在、日本語での表記はございません。

日本国内においては、輸入販売元の株式会社カトージにおいて、ユーザー登録、保証サービス、サポートを行っておりますので、同梱のユーザー登録ハガキに必要事項を記入して郵送してください。

## 使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は、ECE R129/03 基準に適合したチャイルドシートであり、身長 40cm（体重 2.5kg 以上の新生児\*）から身長 105cm まで、かつ体重 18kg 以下のお子さまにご使用いただけます。

本製品は、シェル（座席）部分が回転することにより、自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きに切り替えて使用することができますが、**お子さまが生後 15 カ月を超えて、かつ身長 76cm 以上になるまでは、必ず、本製品のシェル（座席）を自動車の進行方向に対して後ろ向きにして使用してください。（本書を参照して正しく後ろ向きに回転させて固定して使用してください）** 本製品は後ろ向き、前向きとも、身長 105cm まで、かつ体重 18kg 以下のお子さまには使用することができますので、お子さまの身長が 76cm 以上になっても生後 15 カ月を超えるまでは、または生後 15 カ月を超えても身長が 76cm 以上になるまでは、後ろ向きで使用してください。この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

※ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

### ポイント！

本製品のシェル（座席）は、後ろ向き使用時、前向き使用時ともに 7 段階でリクライニングの角度を調節することができます。自動車のシート座面の角度や、お子さまの成長、状態に合わせて調節してください。

お子さまの月齢が低い、首がすわるまでの間は、お子さまの頭部が前方に倒れて気道を圧迫しないようにリクライニングの角度を調節して使用してください。

## シェル（座席）の向きと使用条件

身長／体重／（月齢）	シェルの向き	リクライニング	ソフトパッド
<b>身長：40cm～105cm</b> かつ <b>体重：18kg以下</b>	<b>後ろ向き</b> 		<p>お子さまの身長が60cmになるまでの間は、すべてのソフトパッドを取り付けての使用を推奨します。</p> <p>お子さまの成長、体格により窮屈になった場合は、ソフトパッドを調節して使用してください。</p> <p><b>参照 ▶ P37</b></p>
<b>身長：76cm～105cm</b> かつ <b>月齢：15ヵ月を超え</b> かつ <b>体重：18kg以下</b>	<b>前向き</b> 	<b>1～7</b>	<p><b>使用できません</b></p> <p>すべてのソフトパッドを取り外して使用してください。</p>

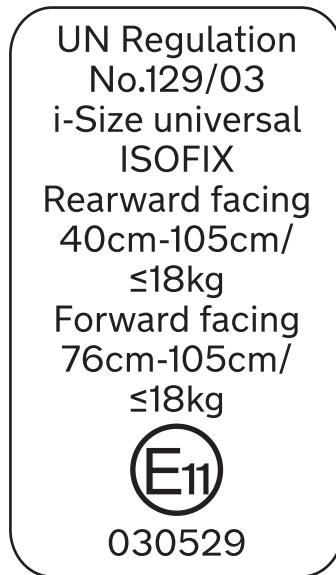
## 回転ロック機構（スマートライド™）

月齢が15カ月（かつ身長76cmまで）までのお子さまは、シェル（座席）を後ろ向きにして使用します。より安全にご使用いただくため、本製品では前向きに回転できなくする回転ロック機構（スマートライド™）を装備しています。お子さまの月齢が15カ月を超える（かつ身長76cm以上）までは、スマートライド™を「<15M」にしてご使用ください。

**月齢が15カ月を超えても、お子さまの身長が76cm以上になるまで、後ろ向きでのみ使用可能です。前向きでは絶対に使用しないでください。**

月齢／身長	シェルの向き	スマートライド™
15カ月以下	<b>後ろ向きのみ</b> 	
15カ月を超える 身長76cm以上	<b>後ろ向き または 前向き</b> 	

# ベース付きチャイルドシート



- 1 本製品は、UN Regulation No.129 基準に適合するベース付きチャイルドです。本製品は、ユニバーサル ISOFIX クラス ISO/F2X, ISO/R2 エンハンスドチャイルドシートとして認証されており、ISOFIX による固定でのみ使用することができます。
- 2 本製品は「i-Size」に対応したチャイルドシートです。これは、UN Regulation No.129 基準に基づき、自動車のメーカーが自動車の取扱説明書に「i-Size」対応としている座席での使用が承認されています。ただし、「i-Size」に対応するすべての座席で使用可能とは限りません。リクライニングや座席の構造等の要素により、本製品を取り付けて使用できない場合もあります。
- 3 疑問がある場合には、チャイルドシートの製造業者または取扱販売店にお問い合わせください。

## 表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

### 危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
<b>危険</b>	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
<b>警告</b>	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
<b>注意</b>	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

### 強調・禁止の表記について

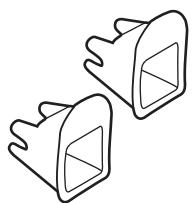
表記	表記の内容
	この表示に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

## 内容物の確認

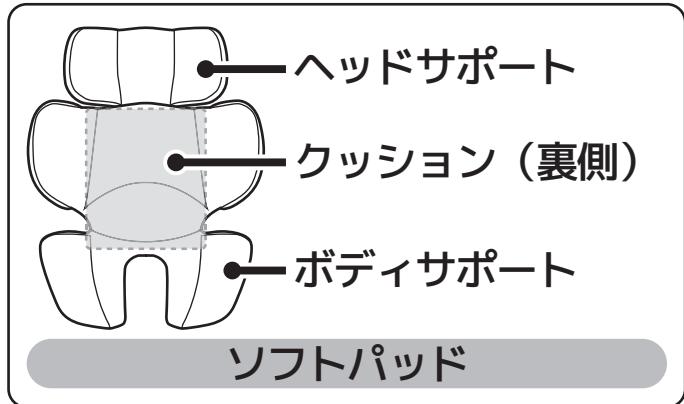
本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本体



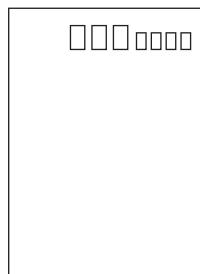
ISOFIX ガイド × 2



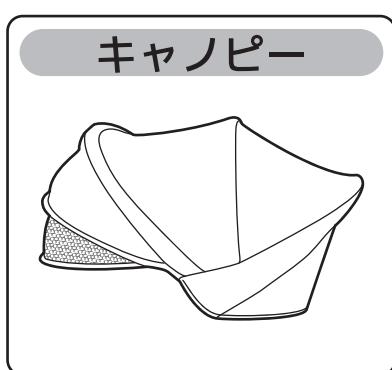
ヘッドサポート  
クッション（裏側）  
ボディサポート  
ソフトパッド



本書



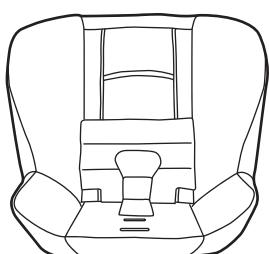
ユーザー登録はがき



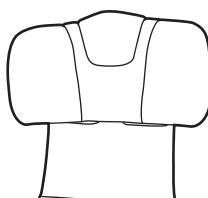
キャノピー



サマーシートカバー



シートカバー ヘッドサポート

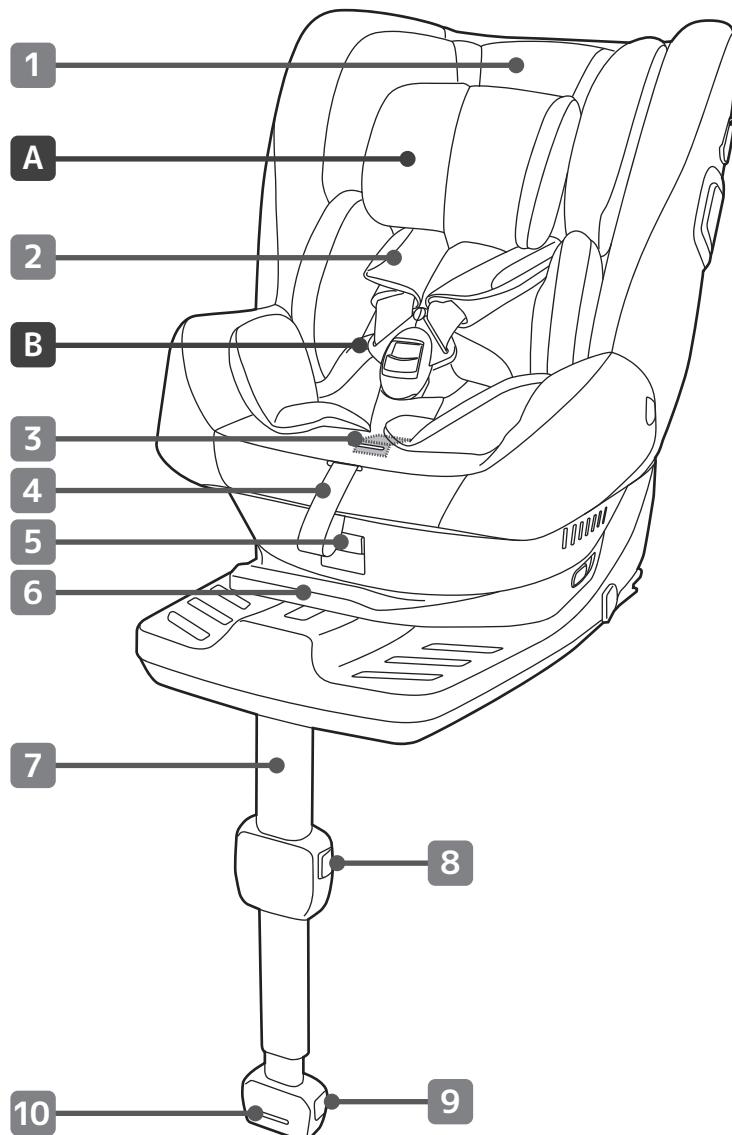


お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

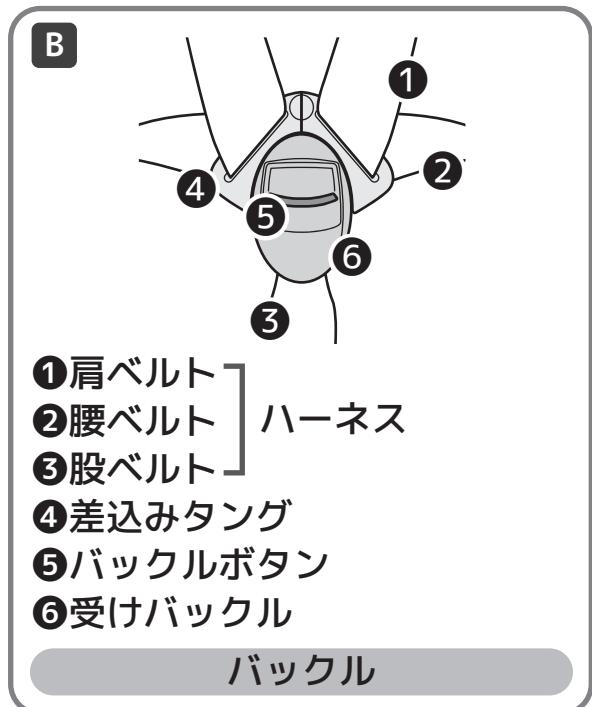
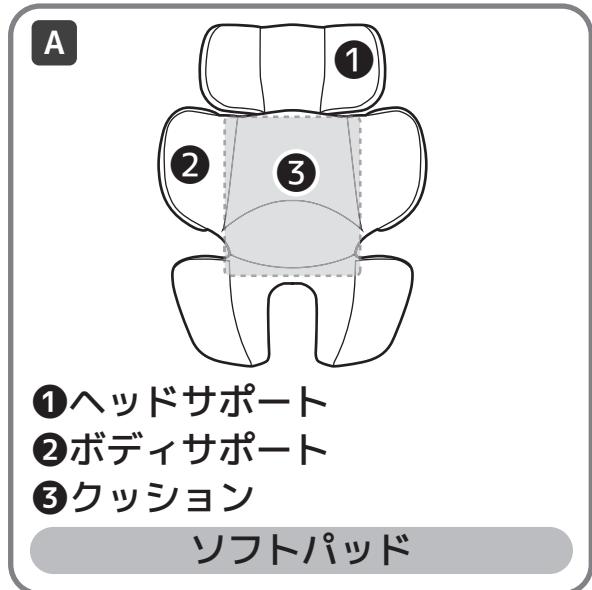
# 各部の名称

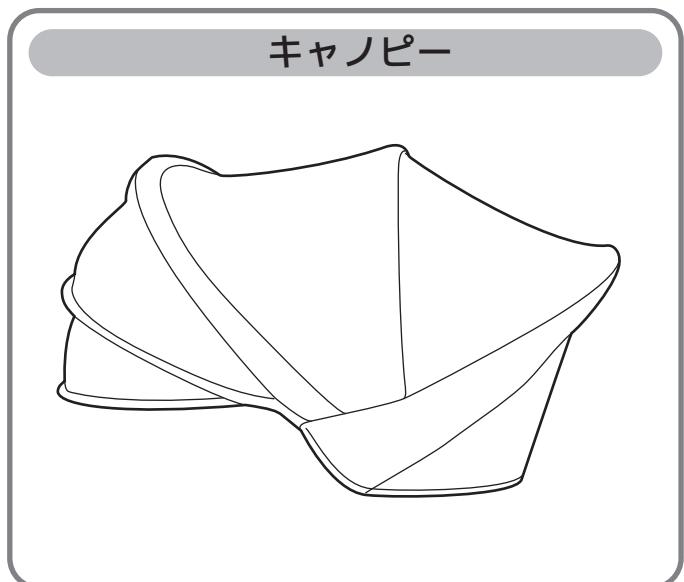
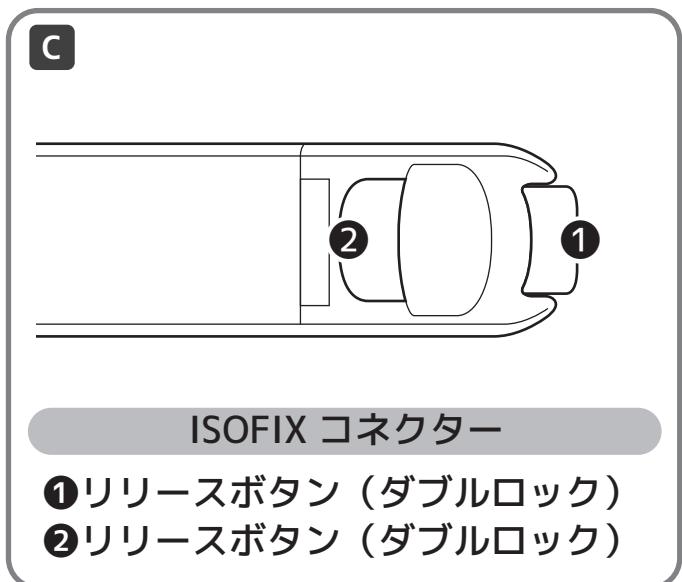
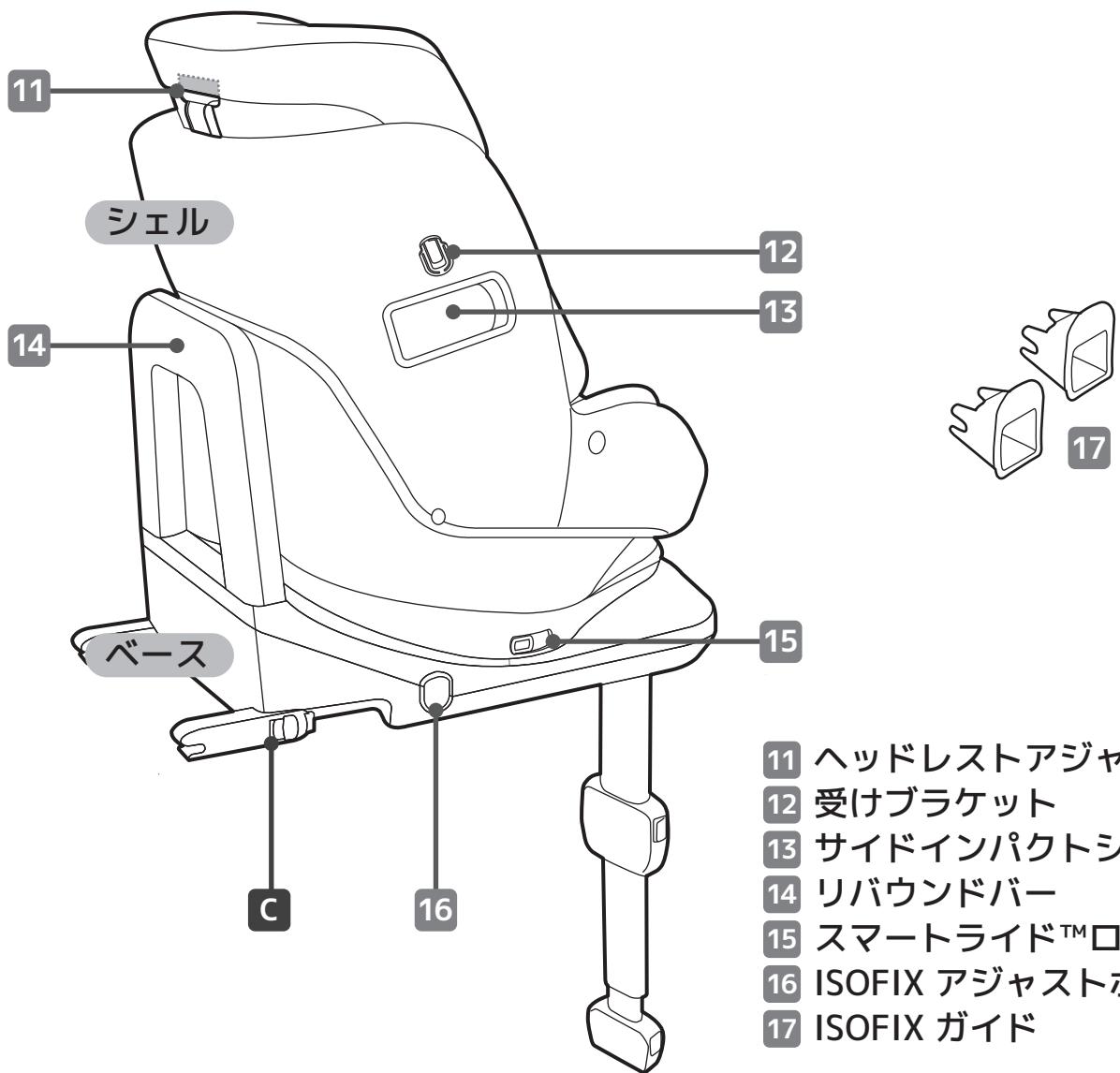
## 本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



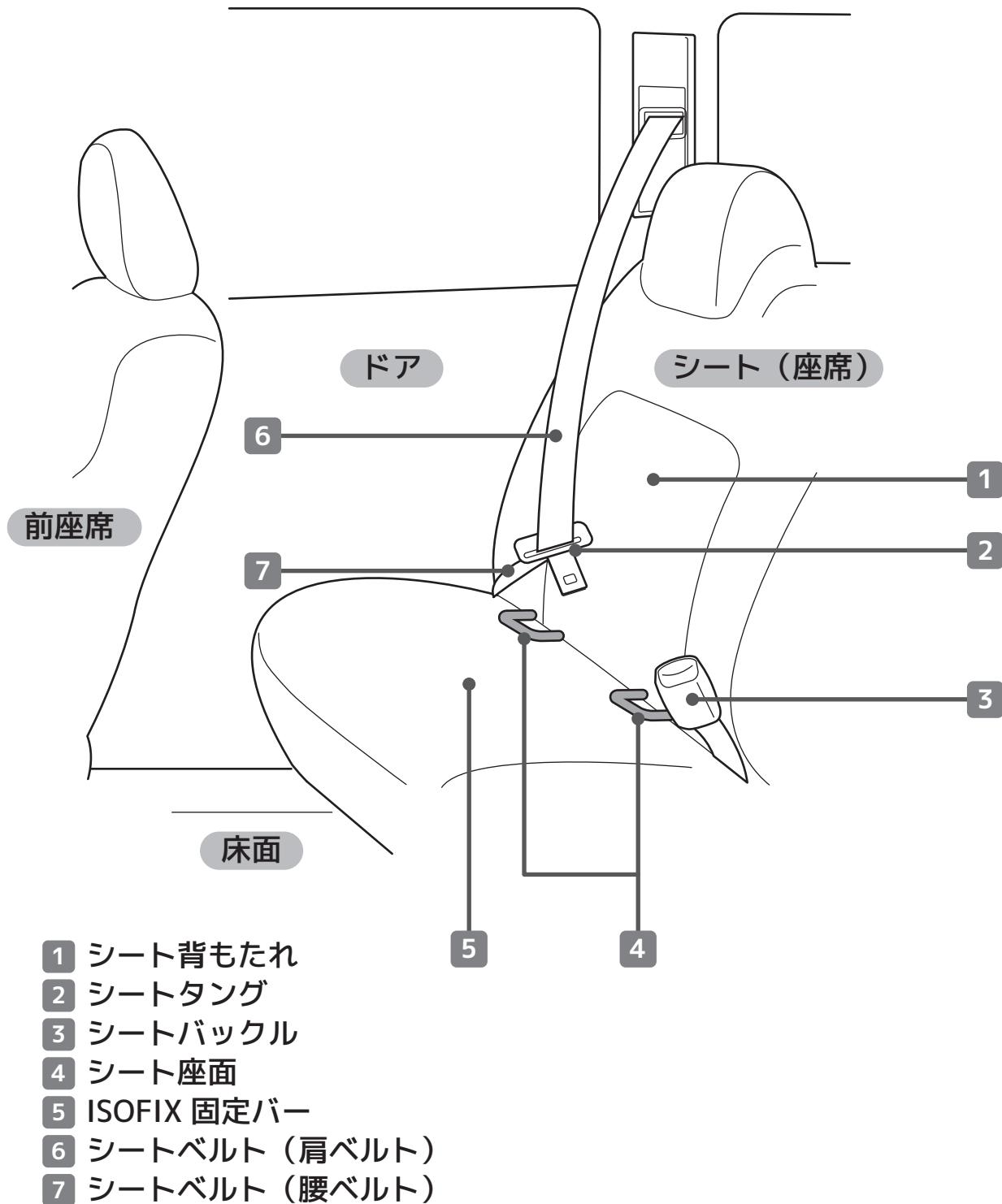
- 1 ヘッドレスト
- 2 肩ベルトパッド
- 3 ベルトアジャスター
- 4 アジャスターべルト
- 5 回転レバー
- 6 リクライニングレバー
- 7 サポートレッグ
- 8 レッグアジャストボタン
- 9 アジャストボタン
- 10 インジケーター（サポートレッグ）





# 自動車に関する各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の部位、部品について言及している箇所があります。本取扱説明書においては以下の通りの名称を用います。



## ポイント！

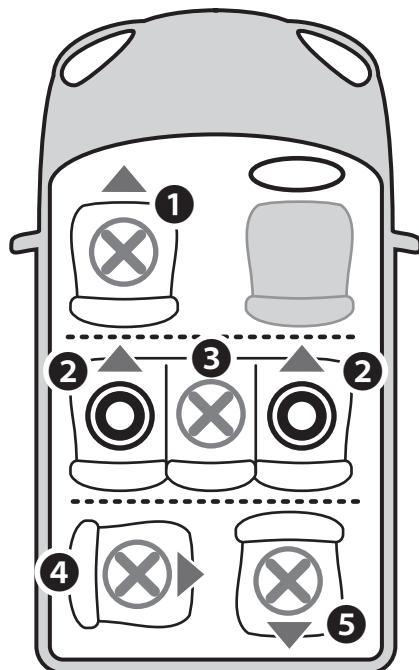
自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、自動車の取扱説明書の表記と照合するようしてください。

# 自動車の座席への取り付けに関して

## 取り付け、使用可能な座席の位置と向き

- ①助手席 . . . . . 取付使用不可
- ②後列左右ドア側席 . . . . 取付使用可能
- ③後列中央席 . . . . . 取付使用不可
- ④進行方向横向きの座席 . . 取付使用不可
- ⑤進行方向後ろ向きの座席 . 取付使用不可

車種によっては、前席に ISOFIX 固定バーが装備されている可能性もありますが、より安全な後列座席への取り付けを推奨します。



上記のシート(座席)すべてに取り付け、使用可能とは限りません。  
上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席にのみ取り付けが可能です。

## 取り付け、使用できない座席

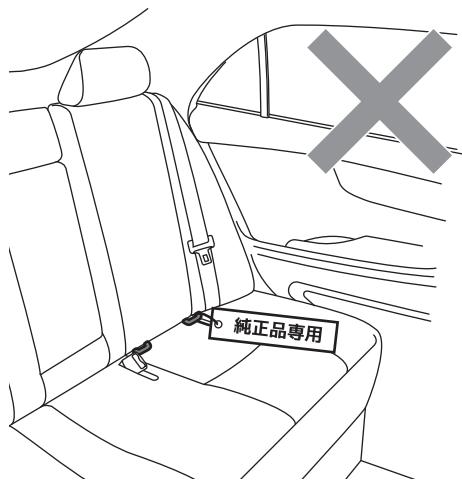
本製品は、すべての自動車、すべてのシート(座席)で使用できるものではありません。また、本製品が適合する車種においても、座席によっては使用できない場合があります。

本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、自動車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

**⚠️ 危険** 以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

## 仕様が異なる ISOFIX 固定バーが装備された座席

ISOFIX 固定バーが装備されていても本製品が使用可能とは限りません。本製品の条件に適合する仕様の ISOFIX 固定バーが装備された座席でのみ取り付け可能です。ISOFIX の仕様については、自動車の取扱説明書をご参照ください。



## フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。フロントエアバッグを装備している座席では使用しないでください。特に後ろ向きでの使用時には非常に危険です。



## 助手席

当社では助手席での使用は推奨しておりません。事故や衝撃を受けた際にダッシュボードにぶつかったりするほか、運転に支障をおぼすおそれもありますので、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

## 床面に構造物のある座席

本製品は、サポートレッグを自動車の床面に接地させて使用します。このため、床面に収納ボックスなどの構造物がある座席では使用できません。



**本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席**  
本製品を取り付けることにより自動車の操作に影響をおぼさない事をあらかじめ確認した上で、取り付け、使用してください。非常時や緊急時も想定してあらゆる操作に影響しないことを確認してください。

**⚠危険** 以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

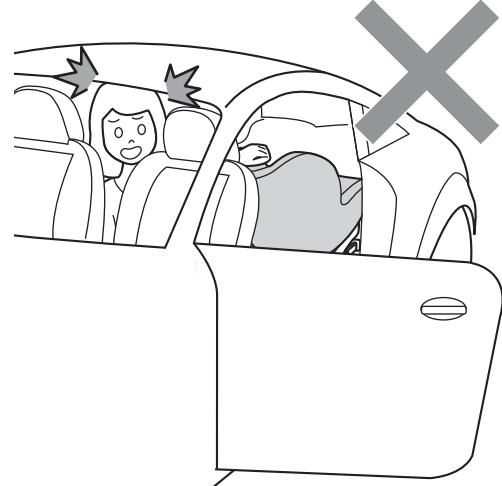
## 本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、可動操作に干渉する座席、本製品のサポートレッグが接地しない座面の高い座席、本製品のベースが浮く座面の低い座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともあります。



## 乗員の脱出に影響を与える座席

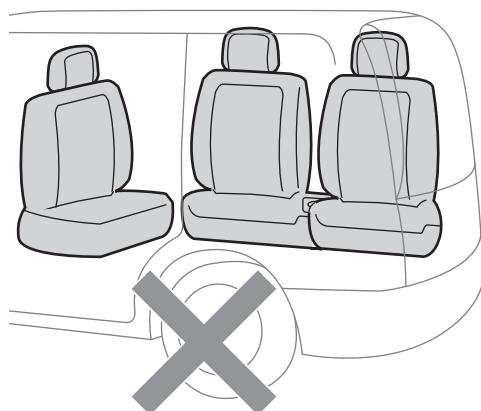
片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



## 進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ、取り付けて使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

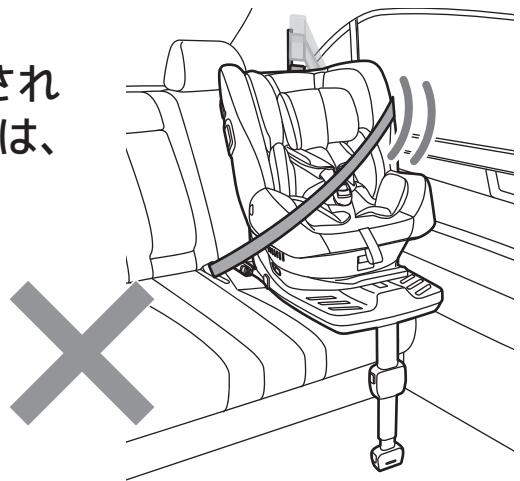
また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席でも取り付けて使用できません。



**△危険** 以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

### パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



### その他、しっかりと取り付けられない座席や、取り付け作業中に安定しない座席

取扱説明書にしたがっても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、サポートレッグが接地しない、取り付け作業中に動く座席、座面の形状が変化する座席など、正常に安定して取り付け、使用ができない座席では、使用しないでください。



### 自動車のドアの開閉操作や可動式シートの操作に干渉しないように取り付けること

本製品を、ドアや可動式シートの動きに干渉する座席に取り付けると、自動車の操作に影響を与えるだけでなく、本製品の破損や、本製品の正しい取り付け状態に影響をおよぼすおそれがあります。

# 使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

## サポートレッグを自動車の床面に設置させて、ISOFIXで確実に固定すること

本製品を正しくお使いいただくためには、サポートレッグが自動車の床面に完全に接地し、ISOFIXで確実に固定されていないといけません。



## ハーネスを正しく、装着すること

ハーネスにねじれやゆるみがあると本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハーネスにねじれやゆるみがないようにして、適切にお子さまを拘束してください。



## ハーネスを常に正しく装着すること

ハーネスの腰部分（腰ベルト）を低くしてお子さまの骨盤の位置を通るように調節し、適切に締め付けて使用してください。

ハーネスの状態は、適宜正しい状態になっていることを確認してください。転倒のおそれがありますので、ハーネスの高さの調節や確認のためなど、自動車の座席に取り付けられていない場合でも、本製品にお子さまが乗る場合は、必ず、ハーネスで正しく拘束してください。





以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

## 本書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付けること

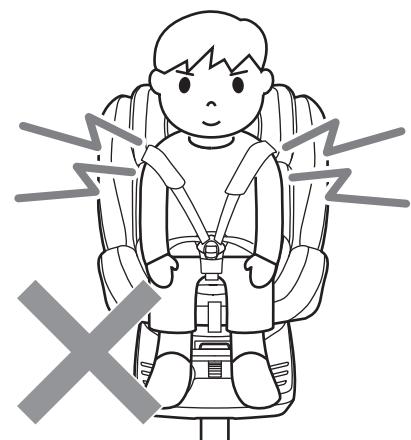
本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に固定して使用してください。

正しく固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 使用条件を厳守すること

本製品は適合する基準により、使用できる条件と本製品の取り付け、使用方法（後ろ向き、前向き）とそれに応じる、使用可能なお子さまの条件が定められています。これらの条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## バックル、ハーネスの状態を適宜確認すること

お子さまが激しく身体を動かしたり、お子さまや他の乗員がハーネスやバックルボタンに触れたりすると、お子さまが正しくチャイルドシートに固定されなくなるおそれがあります。お子さまには、バックルには触れないように言い聞かせ、適宜、ハーネスが正しく装着されているか確認してください。



## 安全のため、ご理解をお願いします

本製品は、所定の安全基準に適合したチャイルドシートです。チャイルドシートの所轄官庁の承認なしにチャイルドシートに変更や追加を加えることの危険性や、チャイルドシートの製造元が提供する取り付け方法に厳密に従わないことの危険性をご理解ください。

## 常にチャイルドシートを使用すること

たとえ短時間、短距離の移動でも、お子さまを自動車に乗せる際には、チャイルドシートを装着してください。多くの事故が、短時間、短距離の移動時に発生しています。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

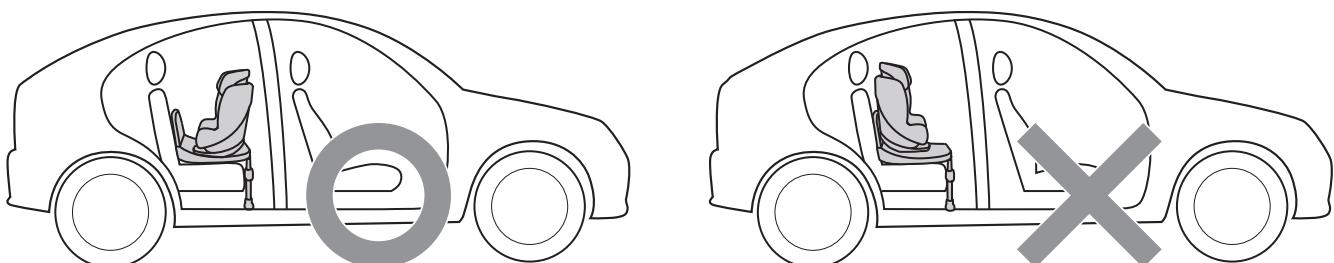
## お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、正しく調節して、正しくお子さまを固定してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、ハーネスを間違って使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



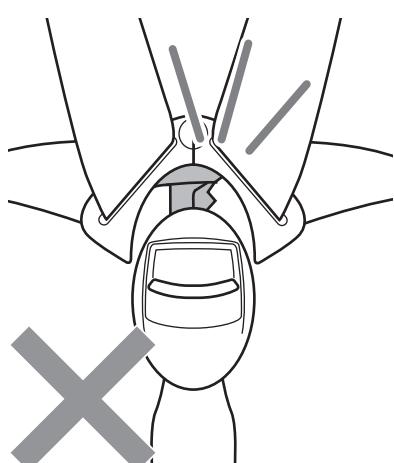
## 身長 70 cm 以上かつ生後 15 カ月を超えるまでは後ろ向きにして使用すること

本製品は、自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きにして使用することができますが、お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ生後 15 カ月を超えるまでは、絶対に前向きでは使用しないでください。お子さまが前向きの使用条件を満たすようになっても、安全のため可能な限りは後ろ向きでの使用をお勧めします。



## バックルに異常が生じた場合、本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらない、ハーネスに損傷がある、ハーネスを締め付けることができない場合は、ただちに使用を中止してください。



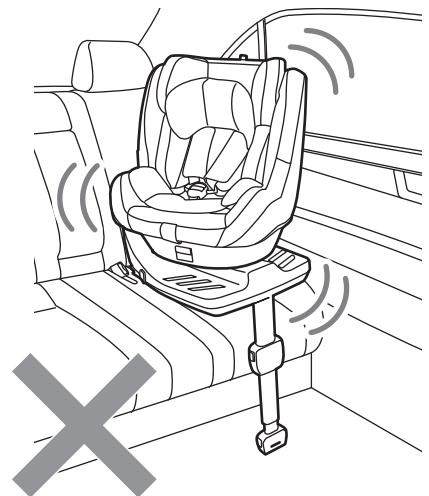


以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

## 本製品のシェル（座席）は、前向き、後ろ向きのいずれかの向きで固定して使用すること

本製品は、お子さまの乗せ降ろし時や、前向き、後ろ向きの切り替えの際に、座席部分（シェル）を回転させることができます。

実際に使用される場合は、シェルは、前向き、後ろ向きのいずれかの向きで、確実に固定しなければなりません。シェルを横や斜めに向けた状態では絶対に使用しないでください。



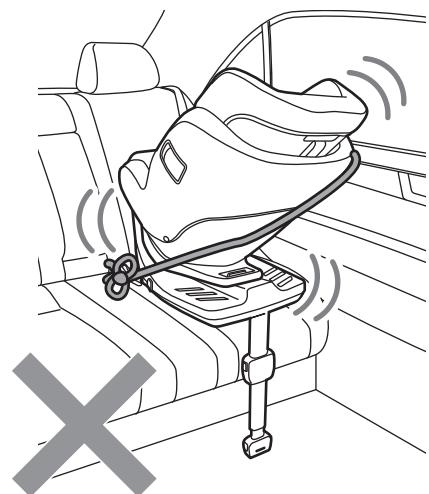
## 指定以外の耐荷重接点を使用しないこと

本製品を取り付け、使用するにあたり、本書および本製品に表記されている耐荷重接点以外を使用しないでください。本製品の取り付け、使用にあたっては、必ず本書および本製品に表記されている指示に従ってください。

## 指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

本製品は、適合する車種の ISOFIX 固定バーに取り付けて、サポートレッグを床面に接地させて使用します。また、お子さまは、本製品のハーネス正しく調節して装着します。本製品の固定やお子さまの固定のために、3点式、2点式などのシートベルトの他、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。

また、正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、本製品の固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

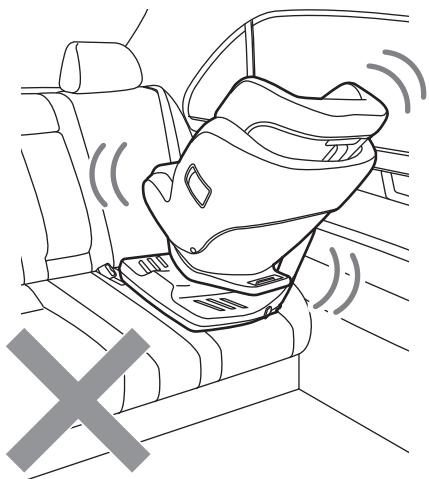




以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

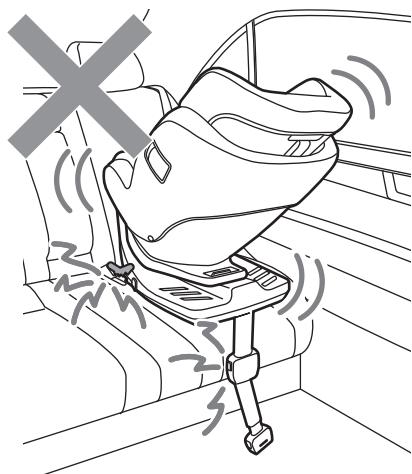
## 指定以外の向きで自動車の座席に取り付け、使用をしないこと

本製品は、ベースのサポートレッグを前にして自動車の座席に取り付けます。横向き、後ろ向きなど、本取扱説明書において指示していない向きでベースを座席に取り付けてはいけません。



## 本製品の取り付けに関わる部位、部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が外れたり大きく動くなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



## サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

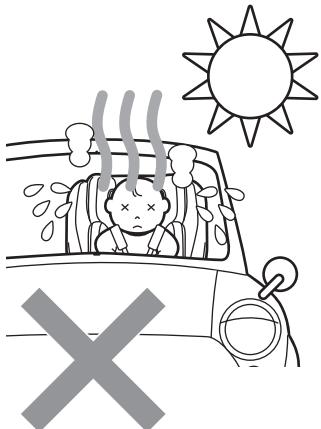




以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

## お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、チャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

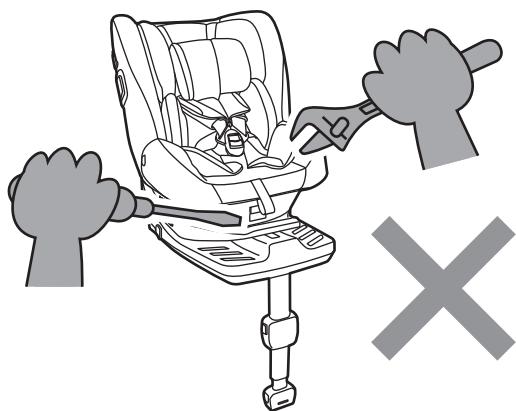


## 必ず、保護者の監視、管理のもとで本製品を使用すること

いかなる場合でも、本製品の使用は、保護者の方の監視、管理のもとで行ってください。

## 分解、改造、修理をしないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。絶対に、本製品の分解、改造、修理をしてはいけません。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや部品を取り付けて使用しないでください。本製品の補修、部品交換、メインテナンスに関しては、本製品をお買い求めになった販売店か、本書巻末の保証書欄に記載のお客様サービスまでお問い合わせください。



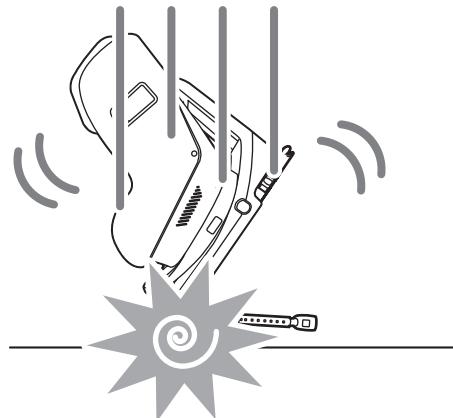


以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

## 強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

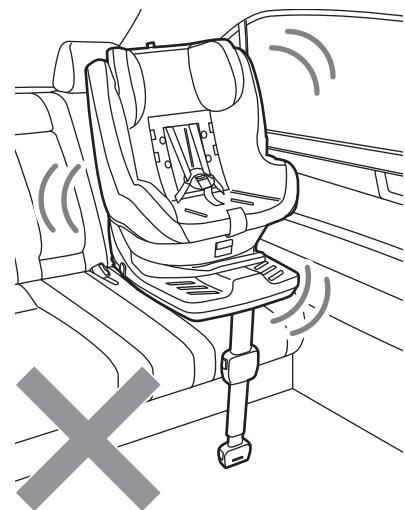
交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。また、本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があり、保証の対象外となります。

このような場合には、新しいチャイルドシートをご購入いただく必要があります。



## 部品を取り外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外して使用しないでください。シートカバーやウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に本製品に貼られているラベルやシールも、基準により定められた安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。



## 指定外のカバー類やパッド類、クッション類を使用しないこと

本製品のシートカバーや、ソフトパッド類、衝撃緩衝材も本製品の安全性能を構成する重要な部品類です。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品に付属または当社が指定するカバー類やソフトパッド、クッション類以外のものと交換したり、これらの指定外のものを追加したりしてはいけません。





以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

## 不適切な着衣で使用しないこと

お子さまがサイズ大きすぎる服や、厚みのありすぎる服などを着用していると、本製品のハーネスで正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり、飛び出したりするおそれがあります。また、ケープ、毛布など、衣服ではないものや、おくるみなどの両足が出ない（股ベルトを両足ではさめない）構造の着衣、でチャイルドシートを使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にチャイルドシートに固定されるよう、ハーネス等を正しく調節してください。

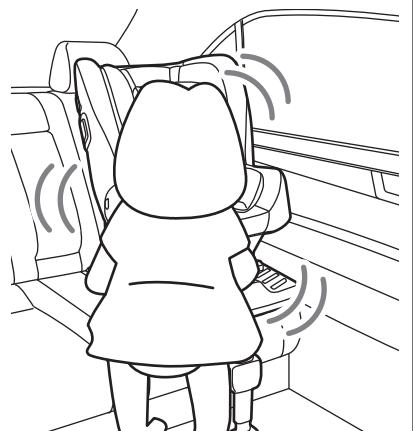
正しく調節できない場合は、お子さまが正しくチャイルドシートに固定できるよう、着衣を調節してください。

また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などをお子さまの下に敷かないでください。



## 走行前には、毎回チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

他の乗員やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回チャイルドシートが正しい状態になっていることを、必ず確認してください。

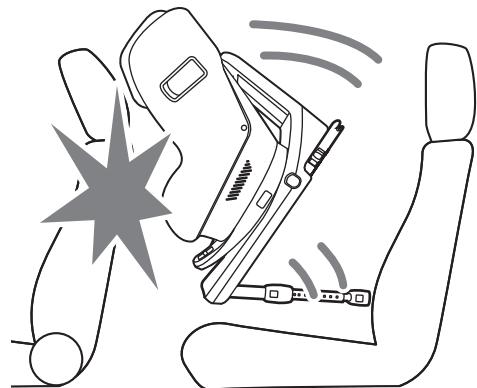




以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

## 使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

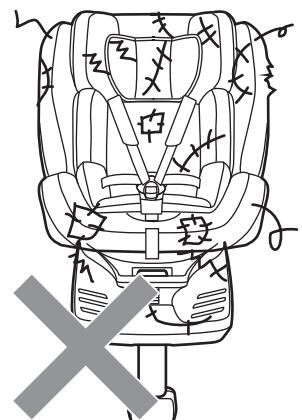
お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、自動車の座席に正しく固定しておいてください。また、正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



## 中古品や劣化した本製品を使用しないこと

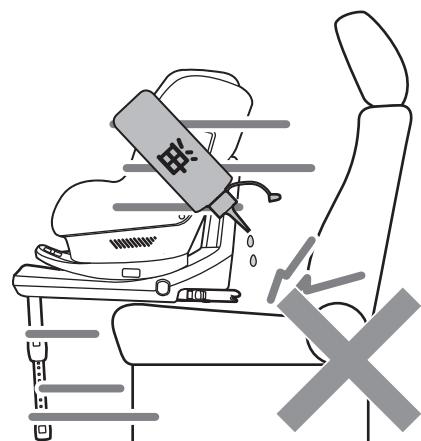
中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため使用してはいけません。

見た目では判断できない構造的損傷のある可能性もあります。また、安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



## いかなる場合でも注油しないこと

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどいかなる目的、方法でも、絶対に本製品に注油してはいけません。



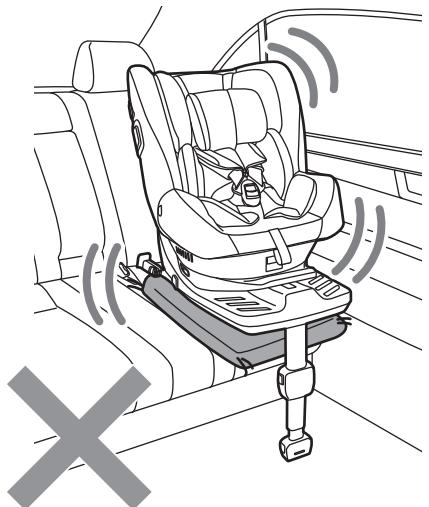


以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

## 本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないこと。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく取り付けた際に、自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。



## 過度の負担を掛けないこと

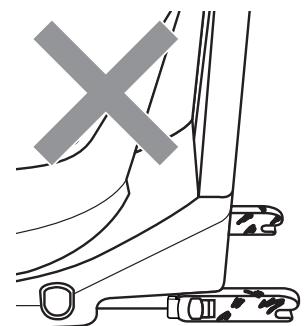
本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品の上に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車の座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品が損傷した場合は使用しないでください。



## ISOFIX に関わる部位、部品は常に清潔にしておくこと

自動車の ISOFIX 固定バー、本製品の ISOFIX コネクター、ISOFIX ガイドは常に清潔を保つようにして必要に応じてお手入れするようにしてください。これらに汚れやほこり、食べ物カスなどのゴミが付着していると、本製品の安全性能に影響をおよぼすおそれがあります。

また、これらの部位、部品のお手入れには絶対に潤滑性のある洗浄剤や油などを使用してはいけません。



## マグネットの使用

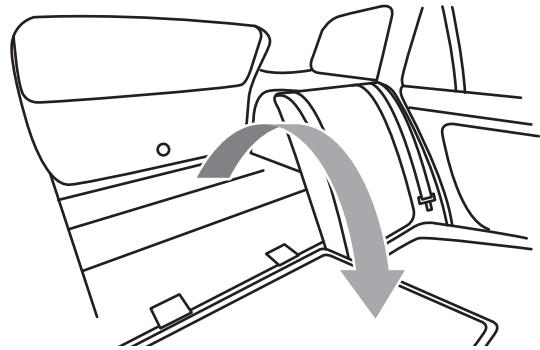
本製品の側部には、マグネット（磁石）が使用されています。電子医療機器を装着された方には影響を与える可能性がありますので、ご注意ください。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

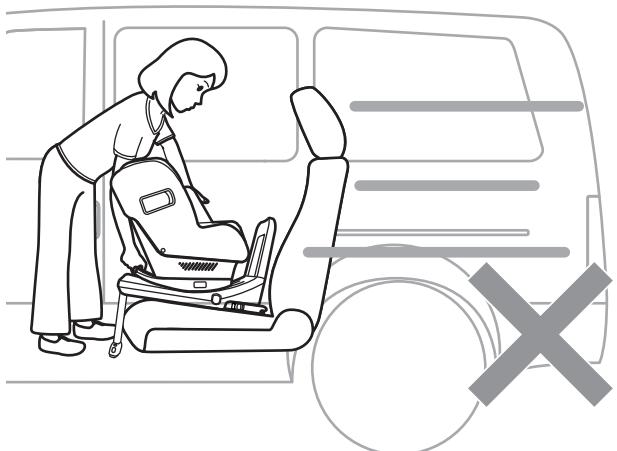
## 可倒式座席の場合、確実にシート背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、シート背もたれを確実に立てて固定してください。確実に固定されていないと、使用中に突然、シート背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

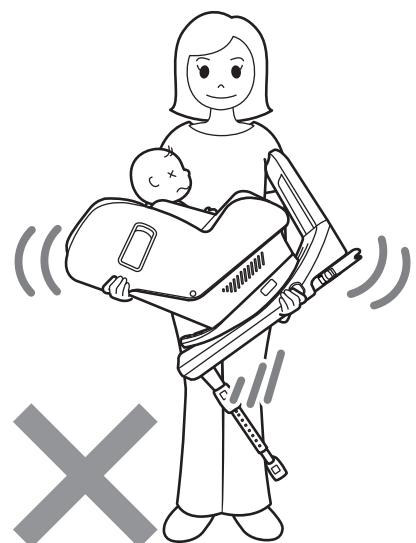
自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



## お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

お子さまがチャイルドシートから落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスで正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

また、サポートレッグが突然開き、ケガをするおそれがありますので、本製品を持つ場合には、サポートレッグが開かないよう、サポートレッグに手を添えて持つようにしてください。

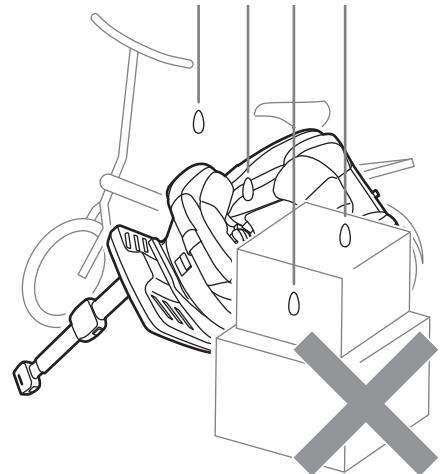




以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

## 不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のある場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管したチャイルドシートは使用しないでください。



## 目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、チャイルドシートとしてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリーとして使用するなど、チャイルドシート以外の目的で使用すると、お子さまが落下するなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



## 必ずお子さまにハーネスを装着させること

自動車が動いていない状態でも、お子さまを本製品に座らせる場合は、ハーネスを装着させてください。

## 本製品を高い場所に置かないこと

たとえハーネスで正しく固定していても、お子さまを本製品に乗せたままで、椅子の上などの高所や階段の近くなどには一時的にでも放置してはいけません。また、お子さまを乗せていない場合でも、本製品が落下すると思わぬ事故につながるおそれがありますので、落下すると危険な場所には本製品を放置しないでください。

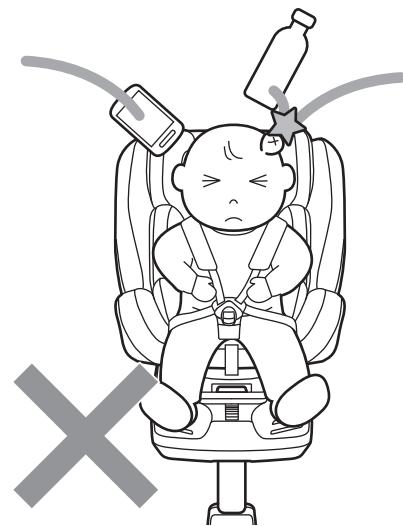
## 取扱説明書を所定の位置に保管すること

必要なときに、いつでも参照できるように本書は所定の場所に保管しておいてください。自動車の取扱説明書も本製品の正しい使用には必要となりますので、自動車の取扱説明書もよくお読みになり、同様に正しく保管してください。

**△注意** 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

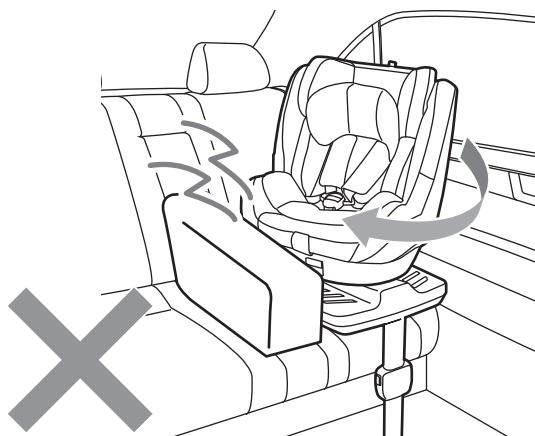
### 車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある、動く物品は適切に固定するようにしてください。



### 自動車の構造物に干渉して本製品のシェル（座席）が回転できない場合、無理に回転させようとしないこと

本製品は、便利な機能として、お子さまの乗降り時などにシェル（座席）を回転させることができますが、自動車の座席の種類によっては、車内の構造物に干渉して本製品のシェルが回転させられない場合があります。この場合には、無理に回転させようとせず、他の座席に取り付けるか、または干渉する構造物を取り外すなどしてシェルを回転できるようにするか、シェルを回転させずに使用するようにしてください。



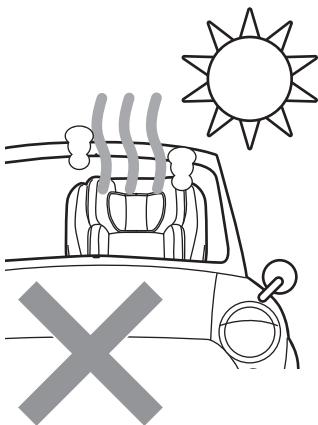
### 他の乗員側のサイドインパクトシールドは閉じておいてください

本製品のシェルには、側面衝突時の衝撃を緩和するためにサイドインパクトシールドが装備されています。サイドインパクトシールドは、ドア側を開いて使用します。ドアと反対側（中央座席側）の座席に乗員がいる場合には、サイドインパクトシールドを閉じてください。また、中央の座席に本製品を取り付ける場合には、サイドインパクトシールドは両方とも開かないでください。

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

### 部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



### ベース以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際に、ハーネスを持ったり、ソフトパッド、シェルの生地部分を持つなどして持ち上げないでください。本製品が破損し、落下するおそれがあります。

本製品を持つ場合は、ベース部分を持つようにしてください。



### 適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメインテナンスの際に潤滑性のある成分を含む洗剤や、油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、必ず本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。

### 長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

**△注意** 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

### トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないように注意してください。

### バックル、ハーネスを自動車のドアや座席に挟まないよう注意すること

本製品のバックルやハーネスを自動車のドアで挟んだり、座席に挟んだりしないように注意してください。お子さまを乗せていない場合でも、常にバックルを留めておくようにしてください。

### 長期間使用しない場合は、本製品を自動車の座席に取り付けたままにしておかないこと

本製品の劣化にもつながりますので、本製品を連続して使用しない場合には、自動車の座席から取り外して、車外で適切に保管するようにしてください。

### 販売店、チャイルドシートメーカーに問い合わせください

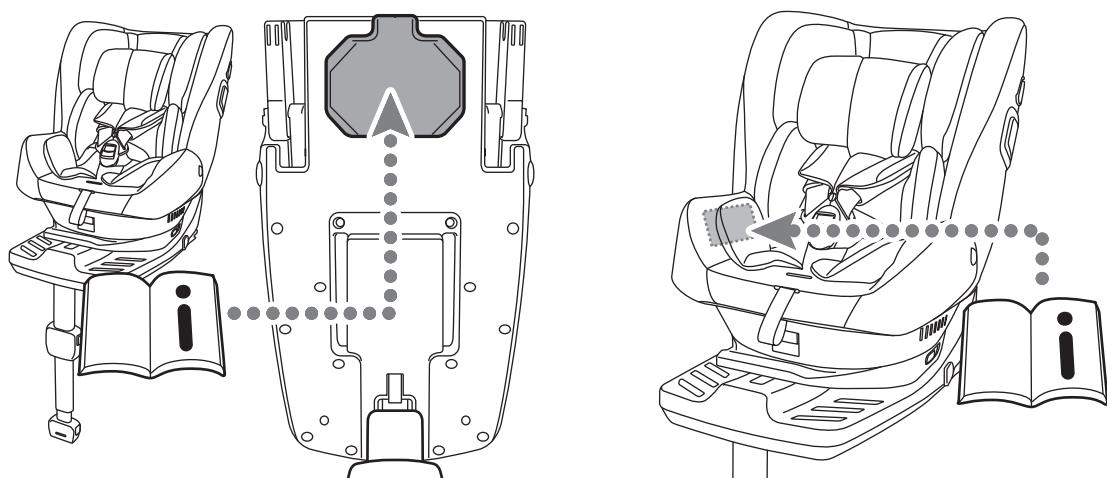
補修やお手入れ、メインテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

### 本書は取扱説明書ホルダーに保管すること

必要なときにいつでも参照できるよう、本書は、ベースの底面にある取扱説明書ホルダーに保管しておいてください。

取扱説明書ホルダーに上手く入らない場合は、シートカバーの内側に入れておきます。下図のように、側面側に入れてください。

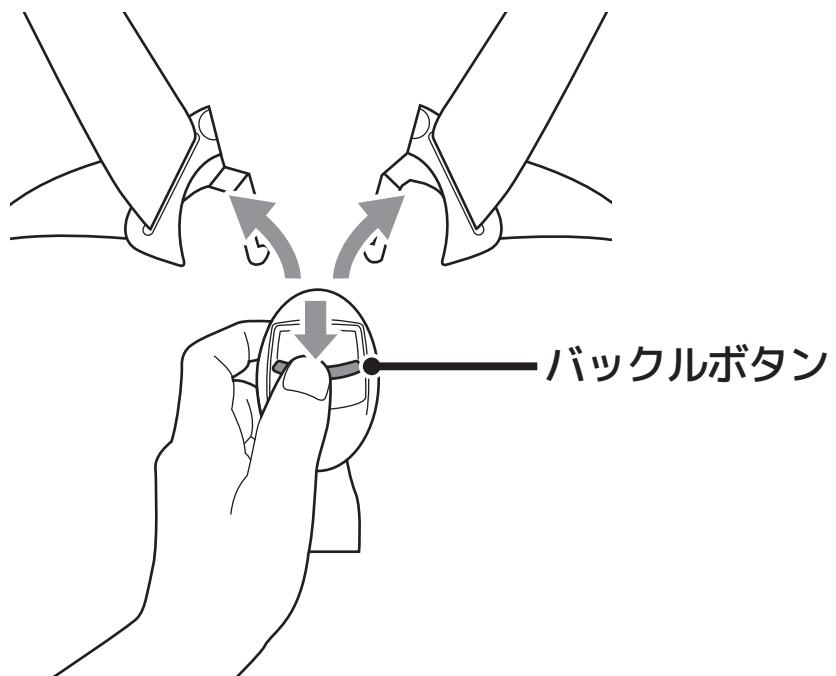
**重要**



# 緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品のバックルボタンを押し下げてハーネスを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させて、直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、本製品のISOFIXコネクターを、ISOFIX固定バーから外して本体ごと脱出させてください。または、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。



# ソフトパッドの使用

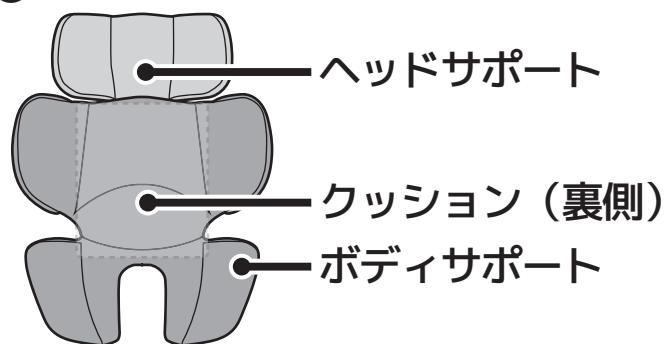
より快適に、安全にご使用いただくため、本製品ではお子さまの成長や着衣の状態に合わせて着脱、調節できるソフトパッドが付属しています。

ソフトパッドを、取り付け、取り外し、調節してご使用ください。

ソフトパッドは、本製品を後ろ向きにした状態で使用する場合のみ使用します。前向きにして使用する場合は、ソフトパッドは使用しないでください。

## ●身長60cmまで（後ろ向きで使用）

1



ヘッドサポート

クッション（裏側）

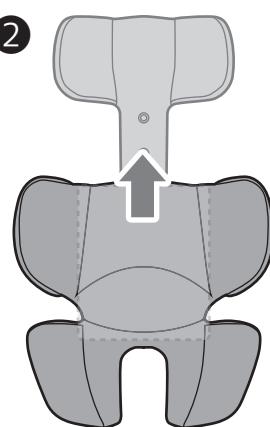
ボディサポート

お子さまの身長が60cmを超えるまでは、すべてのソフトパッドを取り付けての使用を推奨します。

お子さまの成長、着衣により窮屈になる場合には、以下を参照して、ソフトパッドを調節してください。

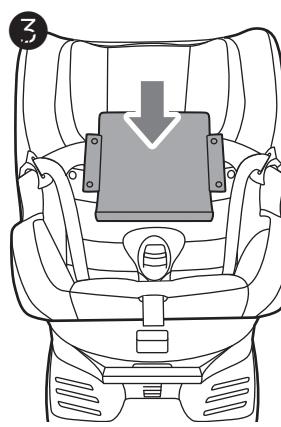
## ●生後6ヵ月以降（後ろ向きで使用する場合）

2



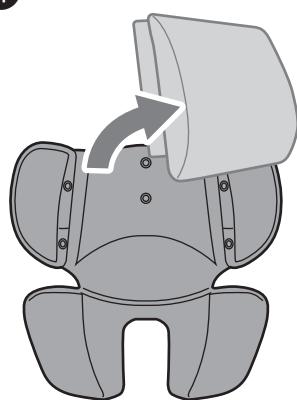
頭部が窮屈な状態になつたら、ヘッドサポートを取り外して使用してください。

3



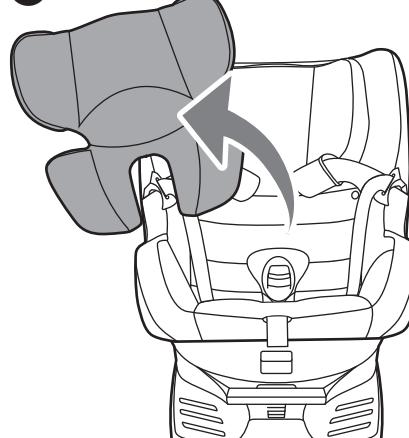
肩、身体が窮屈な状態になつたら、クッションのみの状態で使用することができます。お子さまの背中をより快適な姿勢で支えることができます。

4



身体が窮屈な状態になつたら、裏側のクッションを取り外したボディサポートのみの状態で使用することができます。

5



肩幅が広くなり、窮屈な状態になつたら、すべてのソフトパッドを取り外して使用してください。

# キャノピー

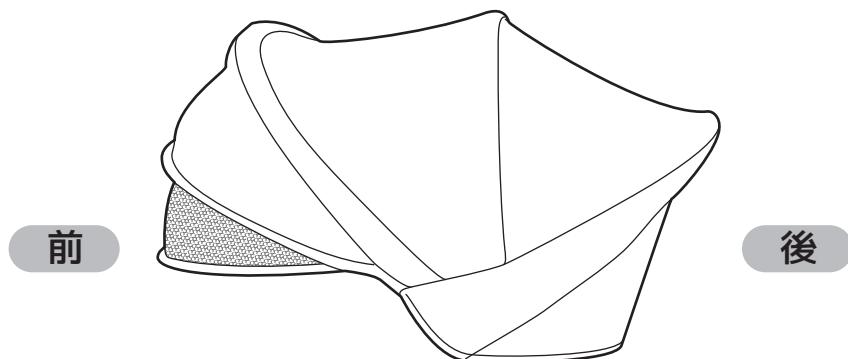
本製品には、お子さまの日よけとして使用するキャノピーが装備されています。キャノピーは、必要に応じて、取り付け、取り外しすることができます。

⚠ 注意

キャノピーを持って本製品を持ち上げないでください。キャノピーを持って本製品を持ち上げるとキャノピーが外れ、本体が落下するおそれがあります。また、破損の原因になりますので、キャノピーに強い力をかけないでください。

## 01

キャノピーには前後があります。下図を参照して前後を確認してください。

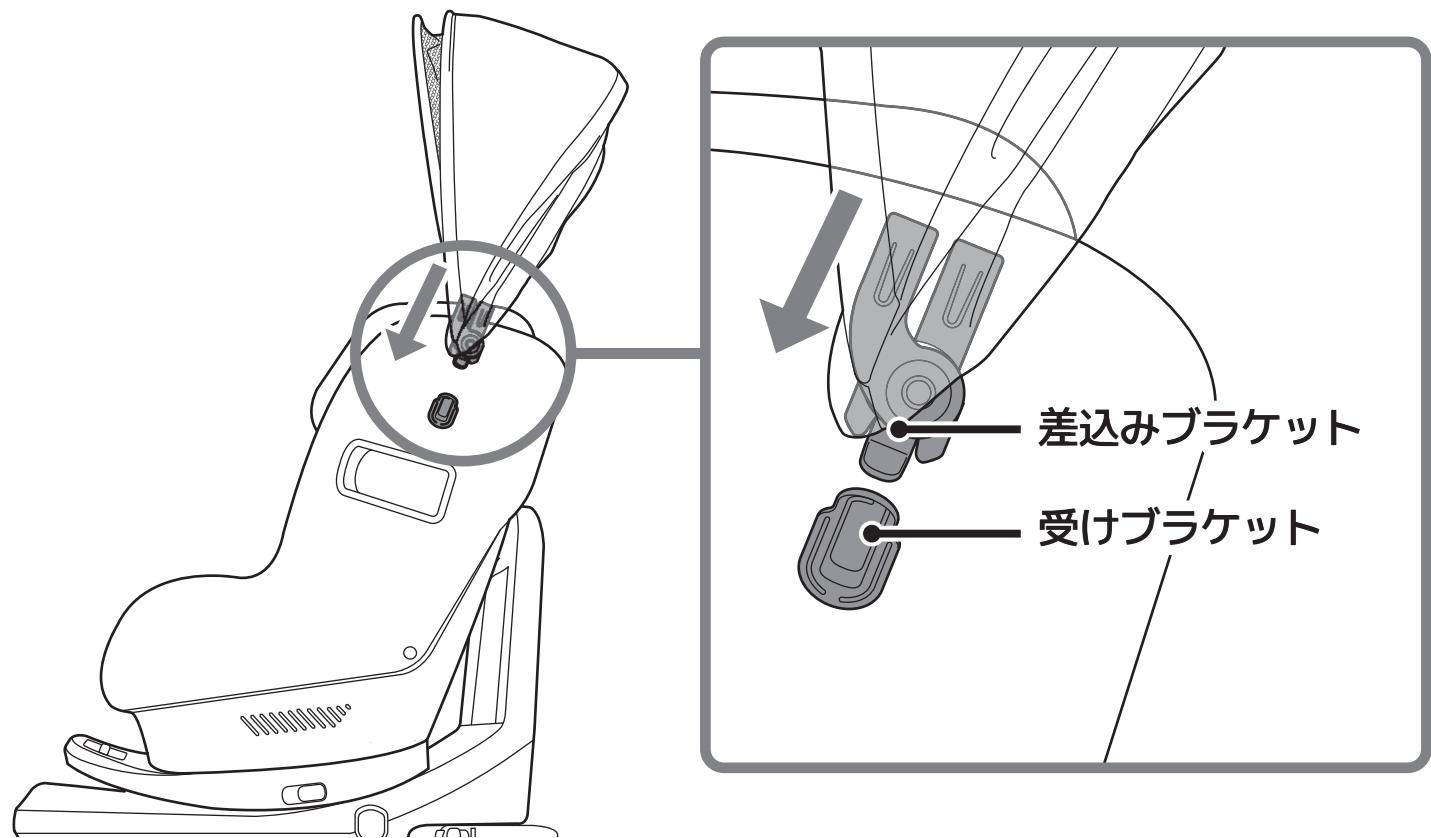


👉 ポイント！

先端がメッシュ地になっている側を、前にして取り付けます。

## 02

キャノピーの差込みブラケットを、シェルの受けブラケットの溝に合わせてしっかりと差し込みます。左右とも同じようにしてください。

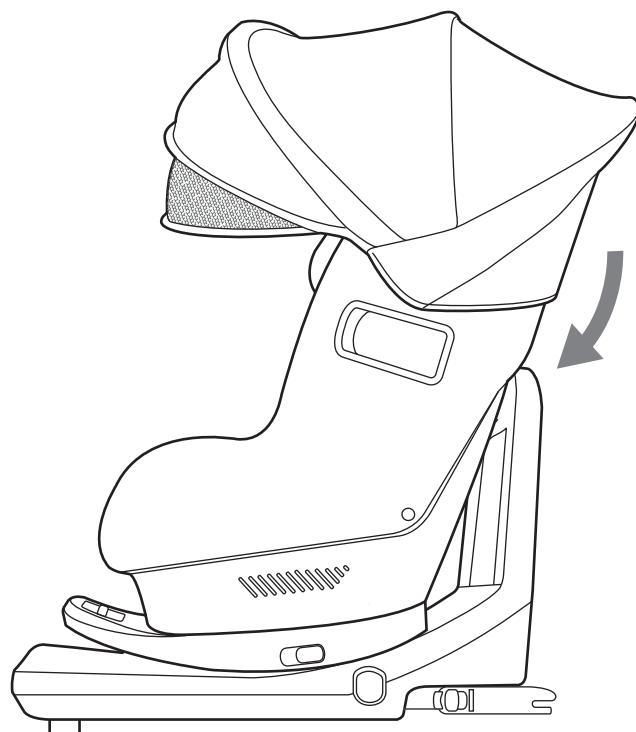


**ポイント！**

キャノピーをたたんで束ねて操作すると、差し込みやすくなります。

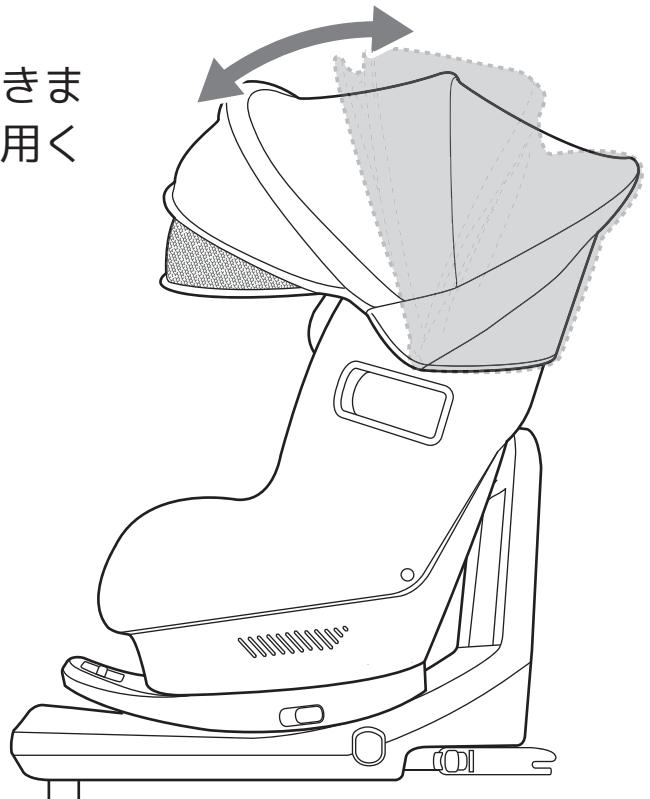
## 03

キャノピーの後部を、シェルの背面に掛けておきます。



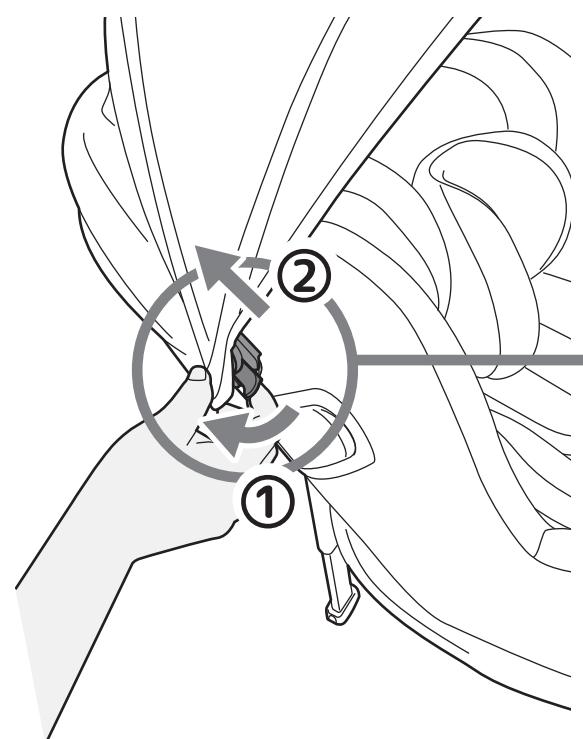
## 04

キャノピーは、前後に開閉することができます。日差しの状態に応じて調節してご使用ください。



## 05

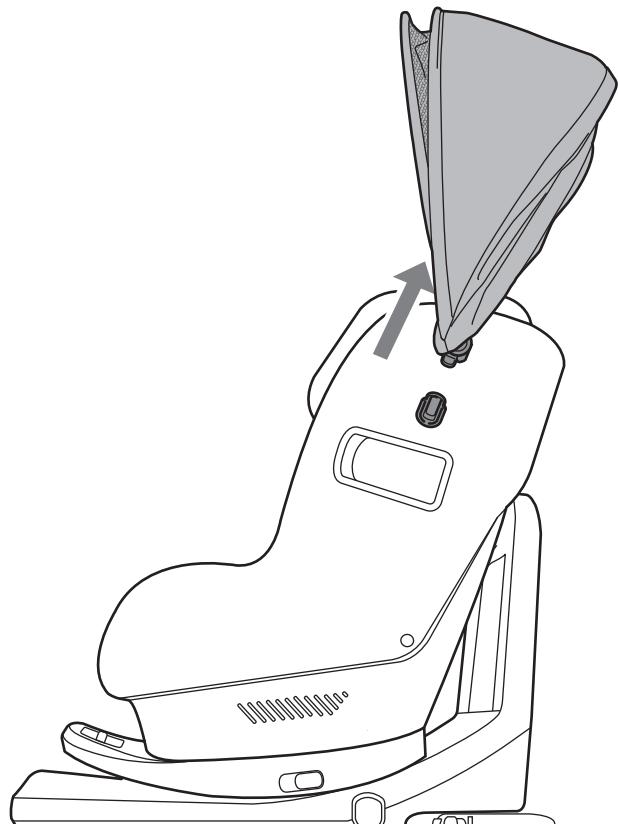
取り外すには、①差込みブラケットの先端のレバーを外側に押し上げて、②差込みブラケットを抜きます。左右とも同じようにしてください。



差込みブラケットの取り外しは、操作が固めです。ケガをしない  
ように注意して操作してください。

## 06

キャノピーを取り外します。



取り外したキャノピーは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。歪みの原因になりますので、自動車のトラン

**△注意** クの中などの熱くなる場所は避け、寒暖差、湿気の少ない室内で保管してください。また、キャノピーが歪むおそれがありますので、キャノピーの上に他のものを乗せたりしないでください。

# 基本的な使いかた

ここでは、後ろ向き使用時、前向き使用時に共通する本製品の基本的な使用方法について説明しています。実際にご使用になるには、お子さまの体重や体格、月齢に合わせて本製品を調節してください。



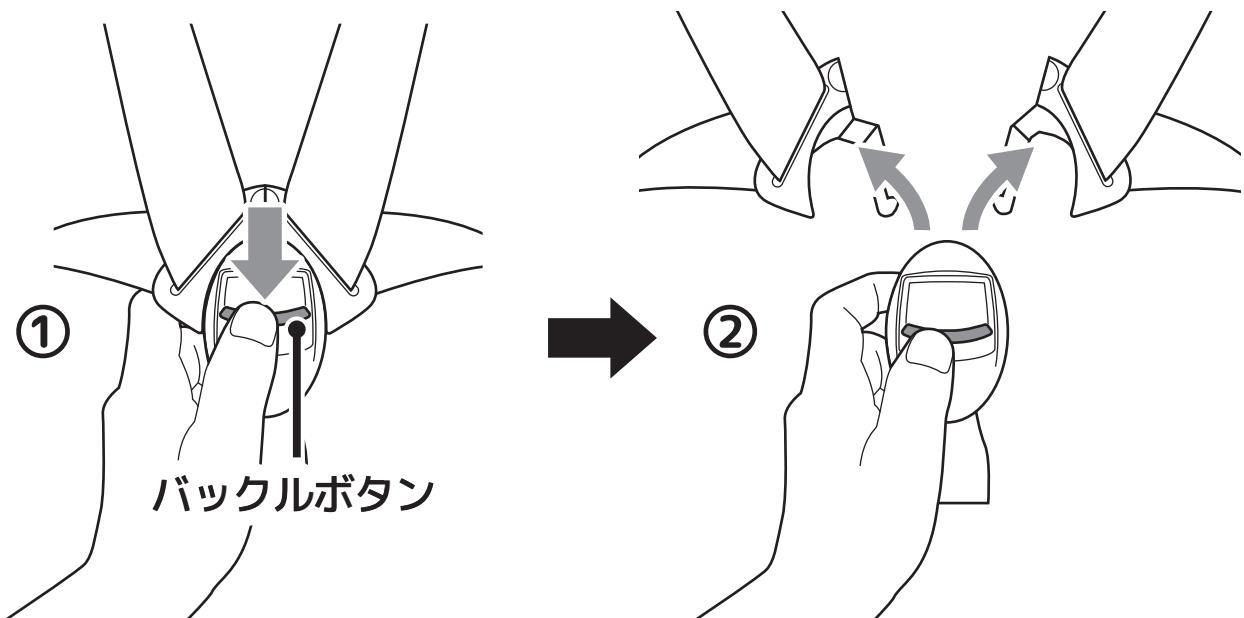
本書の指示に従い、適切に使用してください。不適切な使用は、思わぬ事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じて適切に使用してください。

## バックルの使いかた

### バックルの外しかた

01

①バックルボタンを押し下げるとき、②差込みタングが外れます。



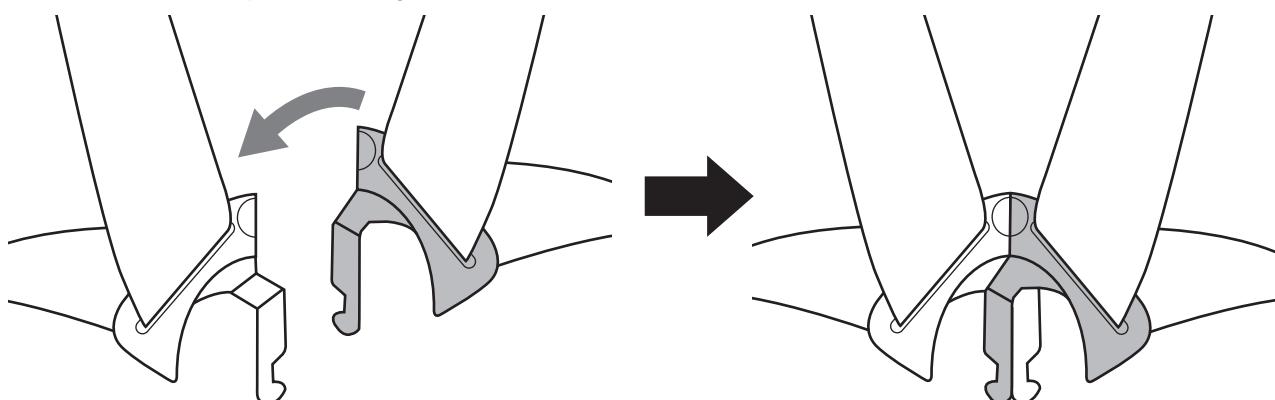
ポイント！

安全のため、バックルボタンは操作が固めになっています。

# バックルの留めかた

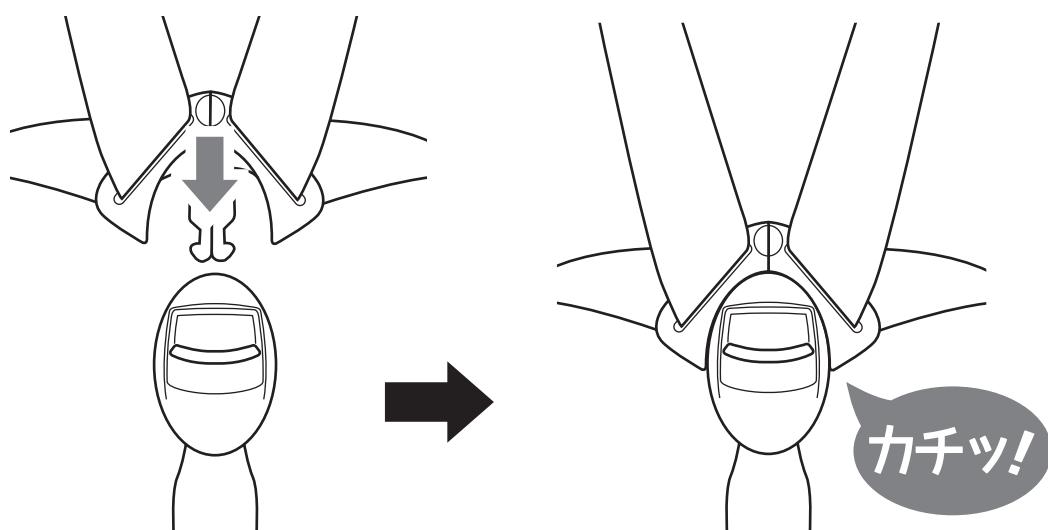
## 01

左の差込みタングの上に右の差込みタングを重ねます。ハーネスをねじらないようにしてください。



## 02

そのまま、差込みタングを、受けバックルに差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。



## 03

軽く肩ベルトを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

### ポイント！

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないとき、保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

⚠️ **危険**

バックルは確実に留めて使用してください。バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

⚠️ **注意**

バックルを清潔に保ってください。バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう注意してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

## 肩ベルトの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてハーネスでお子さまをしっかりと固定できるよう、肩ベルトの長さを調節します。

⚠️ **危険**

肩ベルトは、必ず適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

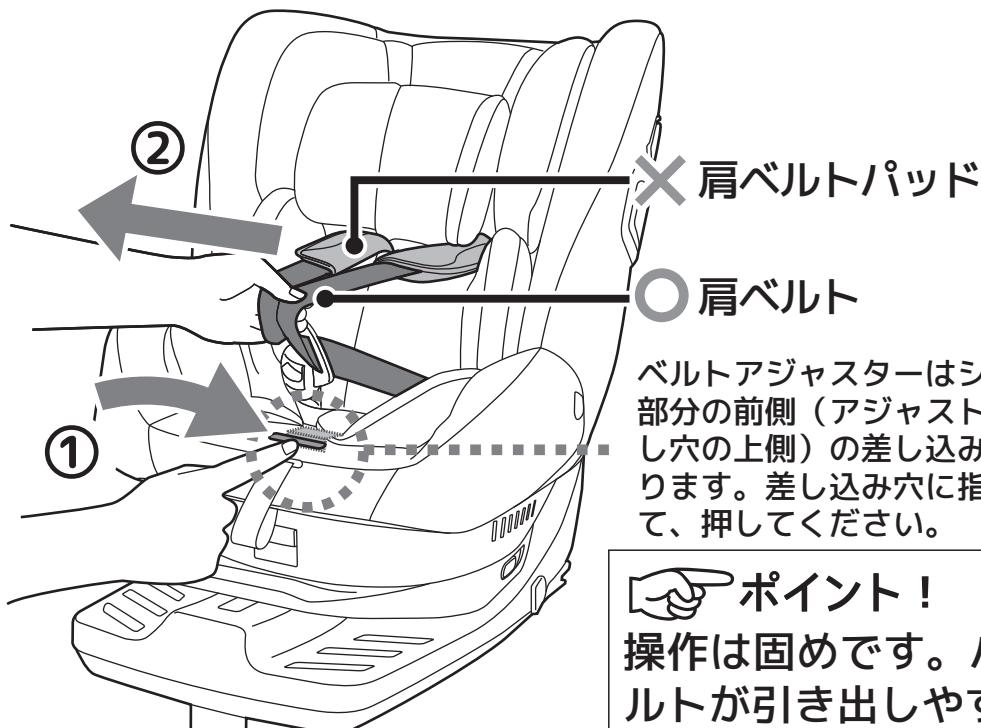
⚠️ **注意**

肩ベルトは左右同じ長さに調節してください。左右で肩ベルトの長さが異なると、ハーネスが所定の機能を発揮できないおそれがあります。

# ゆるめかた

## 01

シェルの前端のアジャスターべルトの上にある①ベルトアジャスター（穴の中ありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②左右の肩ベルトを束ねて持って、ゆっくりと手前に引き出します。**肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができません**のでご注意ください。



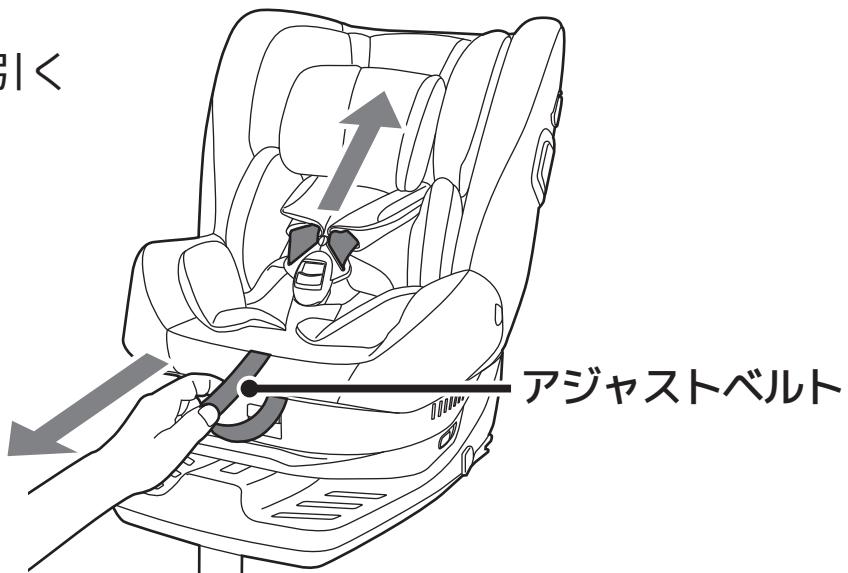
# 締めかた

## 01

アジャストベルトを手前に引くと、肩ベルトが締まります。



**ポイント！**  
安全のため、アジャストベルトは操作が固めになっています。



アジャストベルトはゆっくりと引いてください。勢いよく強くア  
**①注意** ジャストベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれ  
があります。

# ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

ヘッドレストと肩ベルトの高さは連動しています。ヘッドレストの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。

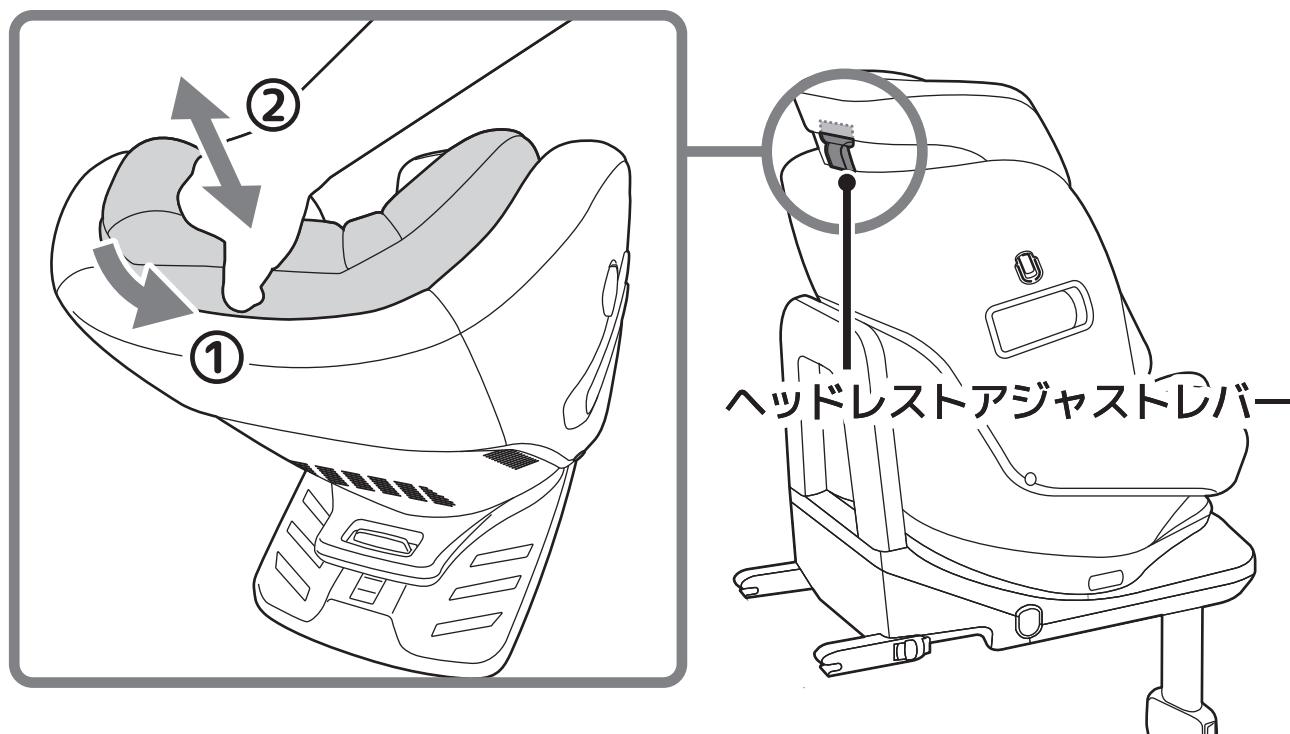
お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストと肩ベルトの高さを適切に調節してください。



肩ベルトの高さを適切に調節してください。肩ベルトの高さは、お子さまの身長、体格、月齢に合わせ、必ず、適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

## 01

①ヘッドレストの上端部（ヘッドレストアジャストレバー）を下図のように握りながら、②ヘッドレストを上下にスライドさせて、ヘッドレストの高さを調節します。適当な高さで握った手を放して軽く上下に動かすと「カチッ」と音がしてヘッドレストが固定されます。ヘッドレストの高さは8段階で調節できます。





## ポイント！

ヘッドレスト（肩ベルト）の適切な高さは、後ろ向き使用時、前向き使用時で異なります。それぞれ以下を参照してください。

参照 P84 ▶後ろ向きで使用する▶お子さまを乗せる▶ 07

参照 P94 ▶前向きで使用する▶お子さまを乗せる▶ 07

## ソフトパッドの使いかた

本製品のソフトパッドは、ヘッドサポート・ボディサポート・クッションで構成されます。

ソフトパッドは、本製品を後ろ向きで使用する場合に取り付けて使用します。前向きにして使用する場合は、ソフトパッドは使用できませんので、すべて取り外してください。

身長が 60cm になる頃までは、すべてのソフトパッドを取り付けての使用を推奨します。

お子さまの成長に合わせてソフトパッドは調節して使用します。

P37 「ソフトパッドの使用」を参照して、適切に調節してください。

参照 P37 ▶ソフトパッドの使用



## ポイント！

ご購入時には、すべてのソフトパッドが取り付けられています。お子さまの体格、成長に合わせて調節して使用してください。

## ソフトパッドの取り外し

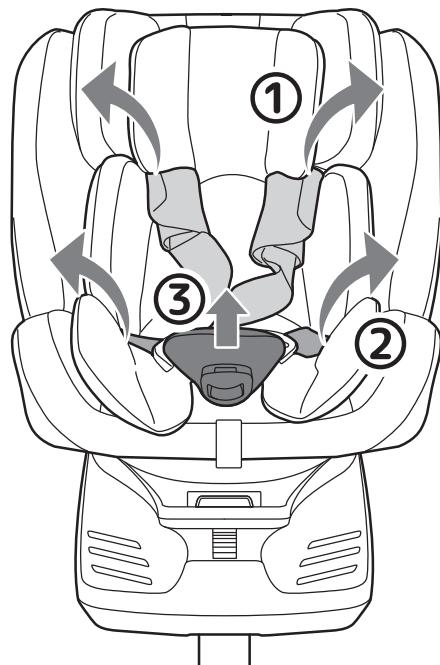
### 01

あらかじめ肩ベルトをゆるめ、バックルを外しておきます。

参照 P45 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶ 01

## 02

①肩ベルト（肩ベルトパッド）、②腰ベルト、③股ベルト、の間からソフトパッドを取り外します。



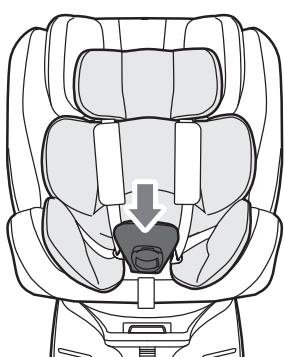
取り外したソフトパッドは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

## 03

ソフトパッド（ボディサポート）の取り付けは逆の手順で行います。取り付け後は、バックルを留め、アジャストベルトを引いて、肩ベルトを締めておきます。



ソフトパッド（ボディサポート）を取り付ける場合は、股ベルト間に、ボディサポート下部のH字部分を通すようにしてください。



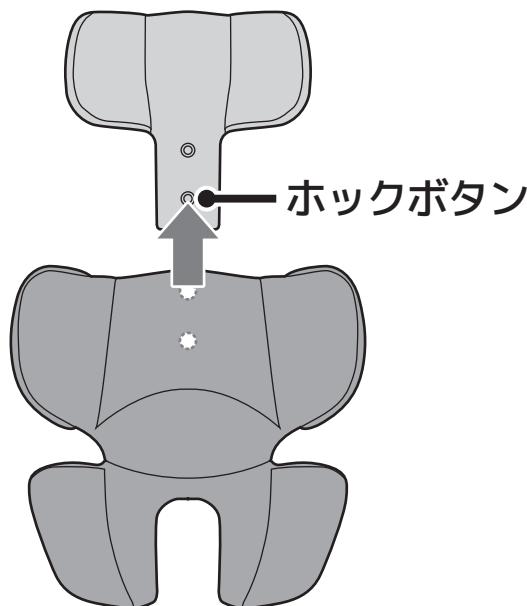
ソフトパッドを調節して使用する場合（以下の項目で記載）も、取り付け、取り外しは同じ手順です。

## ヘッドサポートの取り外し

### 01

ヘッドサポートは、ソフトパッド（ボディサポート）を本体に取り付けた状態でも取り外し、取り付けが可能です。

ヘッドサポートのホックボタン（2カ所）を外して、取り外してください。



#### ポイント！

ホックボタンは、ボディーサポートとクッションの間に挟まれています。

### 02

取り付けは、逆の手順で行います。2カ所のホックボタンを「パチン」と音がするよう、しっかりと留めてください。

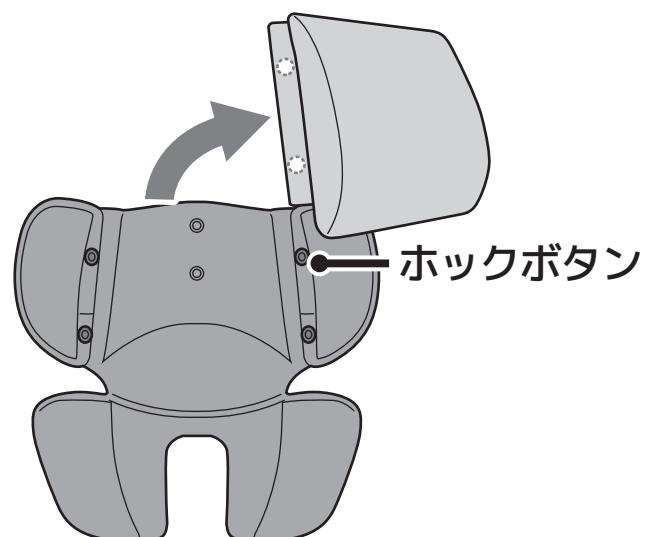
## クッションの取り外し

お子さまの身体が窮屈な状態になったら、ボディサポートからクッションを取り外して使用することができます。

### 01

クッションは、ボディサポートの裏側にホックボタン（4カ所）で取り付けられています。

ホックボタンを外して、クッションを取り外してください。

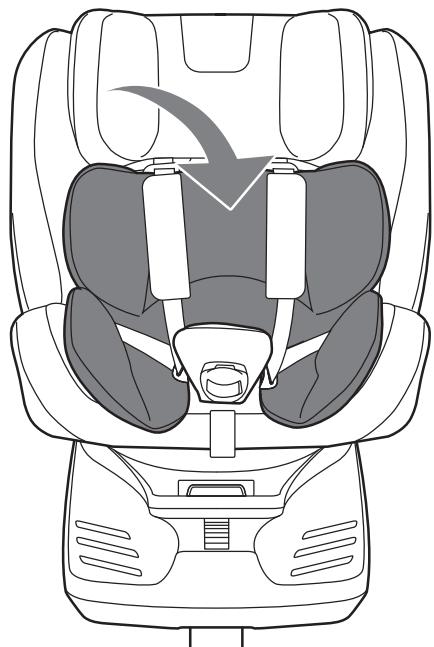


## 02

ボディーサポートのみ、シェルに取り付けます。  
取り付け、取り外しの方法はソフトパッドと同様  
です。

参照

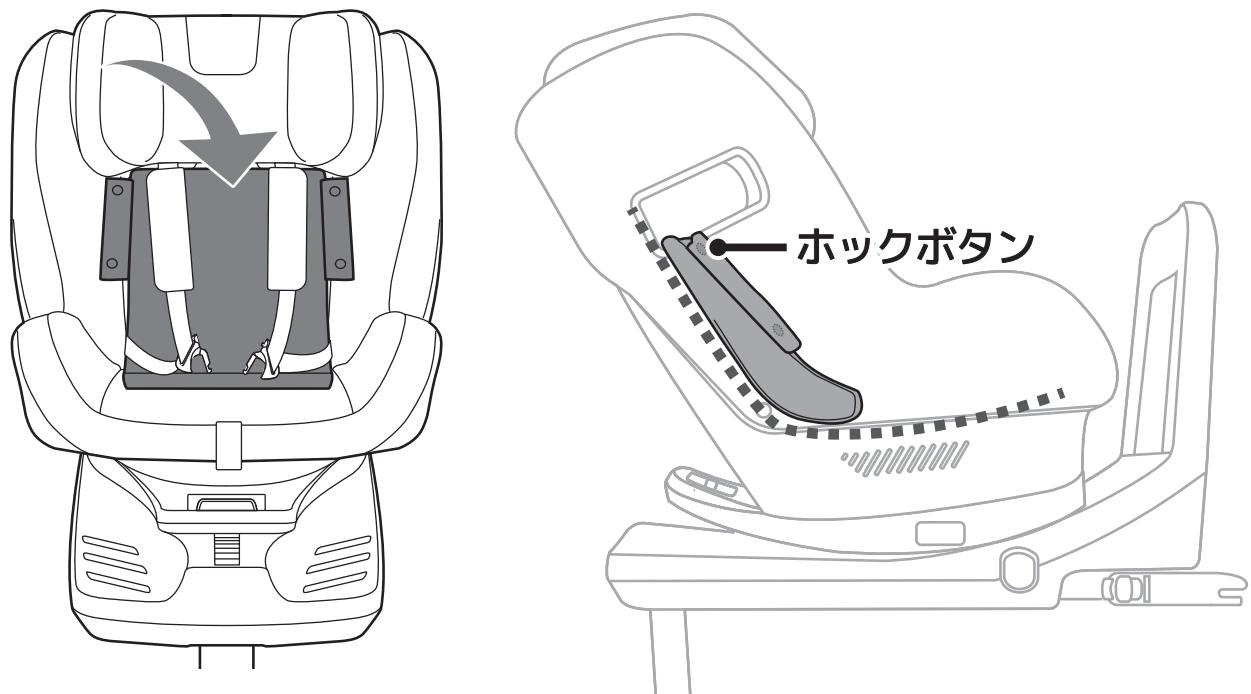
P48 ▶ソフトパッドの使いかた▶ソフトパッドの  
取り外し▶ 03



## 03

クッションは、単体でも使用可能です。リクライニングの状態や、お子さまの体格などに合わせてご使用ください。

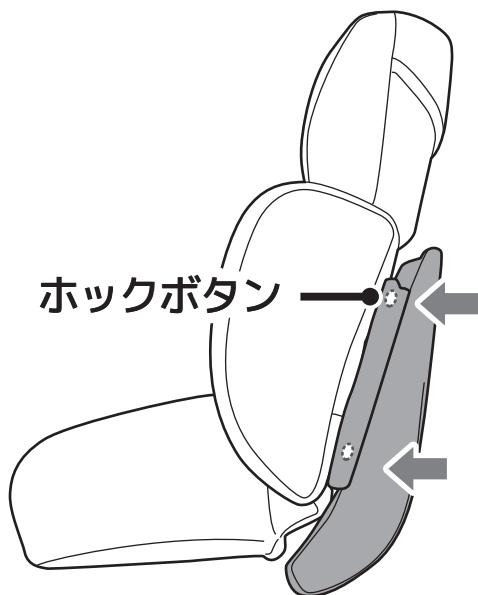
クッションを使用するには、ホックボタンがある側を表にして、下図（右図）を参照してシェル（座席）の腰の位置にクッションの角をあわせて乗せてください。



上図のように、シェルの背もたれと座面の境目の位置にクッションの背面の形状を合わせて乗せます。

## 04

クッションのボディサポートへの取り付けは、逆の手順で行います。  
下図を参照して、正しい向きで取り付けてください。



## サイドインパクトシールド

本製品のシェルには左右にサイドインパクトシールドが装備されています。サイドインパクトシールドは、事故時などの横からの衝撃を緩和する安全機構です。

### 使いかた

サイドインパクトシールドは、本製品を取り付けた自動車の座席のドア側を開いて使用します。反対側（中央座席側）に他の乗員が座る場合、他の乗員側のサイドインパクトシールドは閉じておきます。また、中央席に本製品を取り付けた場合も同様に、他の乗員が座る側のサイドインパクトシールドは閉じておきます。



サイドインパクトシールドは、衝撃を緩和する機構であり、お子さまの固定を補助するものではありません。サイドインパクトシールドの使用に関わらず、お子さまは、適切に調節されたハーネスを装着して固定しなければなりません。

サイドインパクトシールドは、シェルの外側に開いた状態で使用します。本製品のシェルを回転させた際に、シートの構造物やシート背もたれに干渉すると、破損するおそれがありますのでご注意ください。回転時にサイドインパクトシールドがこれらに干渉する場合は、サイドインパクトシールドを閉じてからシェルを回転させてください。

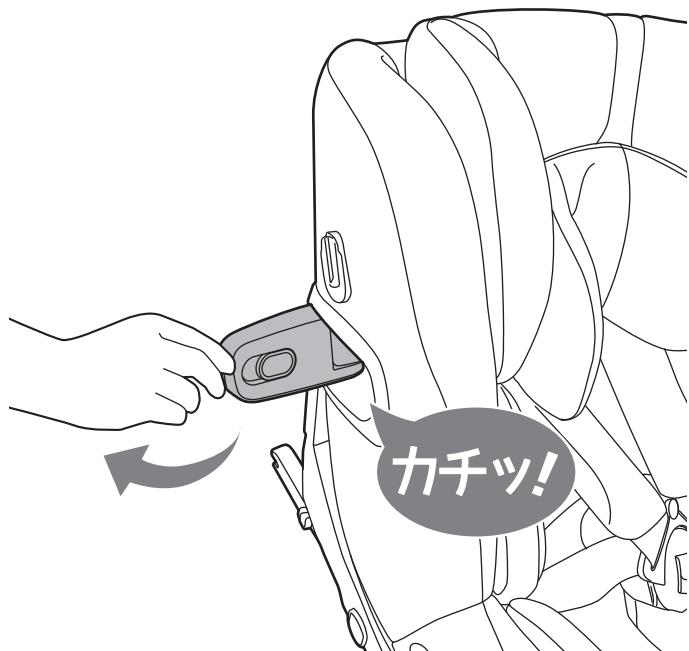
### ⚠ 注意

サイドインパクトシールドを開くと自動車のドアと干渉する場合はサイドインパクトシールドは使用しないでください。または、干渉する操作を行うたびに、サイドインパクトシールドを閉じるようにしてください。

## 開きかた

### 01

サイドインパクトシールドの先端に指をかけて外側に開きます。カチッと音がしてサイドインパクトシールドが開いた状態で固定されていることを確認してください。



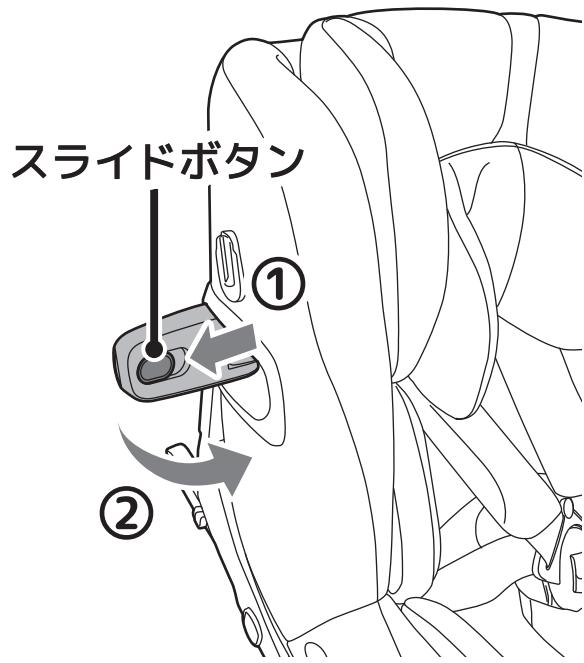
# 閉じかた

## 01

①サイドインパクトシールドのスライドボタンを引いて、②サイドインパクトシールドを閉じます。

### ポイント！

バックルを外した状態、または肩ベルトをゆるめた状態のとき、サイドインパクトシールドが閉じられなくなる場合があります。その際には、バックルを留め、肩ベルトを締めた上で、サイドインパクトシールドを閉じるようにしてください。



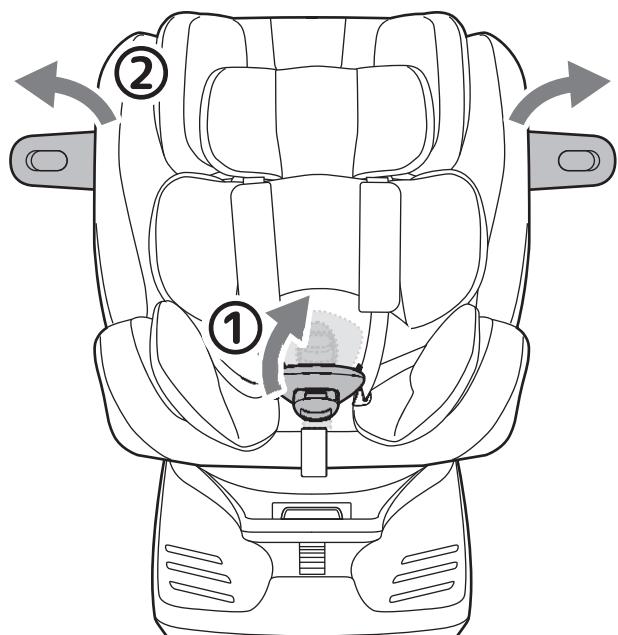
# オート機構

## 01

サイドインパクトシールドは、受けバックル、ハーネスと連動しています。

①受けバックルを後方に動かすと、②左右のサイドインパクトシールドが自動的に開きます。手動でも開閉可能ですが、開き忘れを防止するため、受けバックルと連動してサイドインパクトシールド自動的に開くようになっています。

必要に応じて、閉じる必要のある側のサイドインパクトシールドを閉じてください。



### ポイント！

受けバックルの位置やハーネスの状態によっては、サイドインパクトシールドがオートで開かない場合があります。この場合は、手動で開けるようにしてください。

# 自動車の座席への取り付け・取り外し

お子さまを近づけないようにしてください。安全のため、取り付け、取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

## ⚠️警告

お子さまを乗せた状態で取り付け、取り外しをしないでください。本製品が落下したり思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。

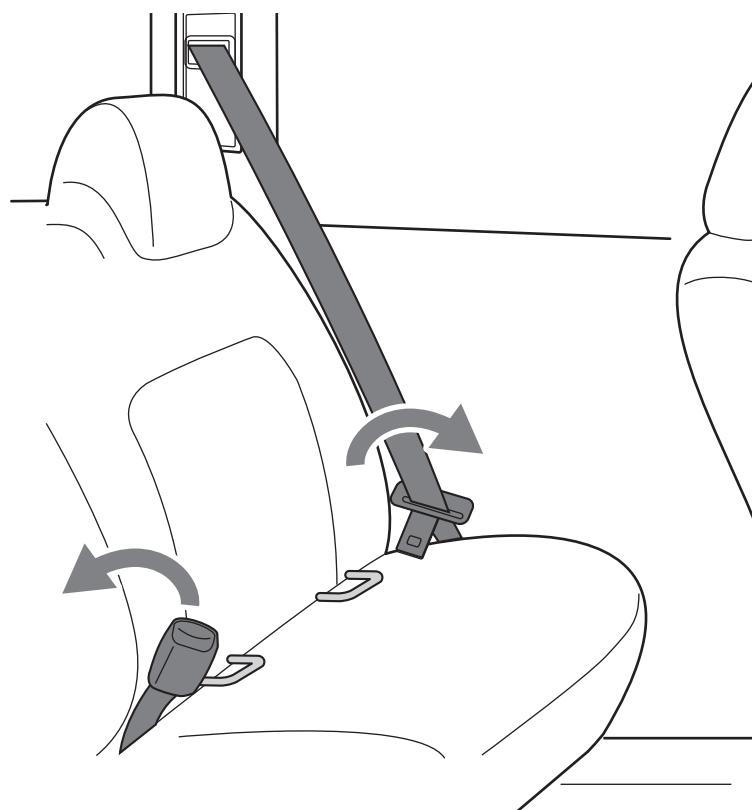
## 取り付けかた

本製品はシェルが回転することにより、後ろ向き、前向きを切り替えて使用することができます。

自動車の座席への取り付けは、後ろ向き、前向きどちらの状態でも可能です。ここでは、前向き状態にしての取り付けを図示していますが、後ろ向き状態にしての取り付けも基本的には同じです。

### 01

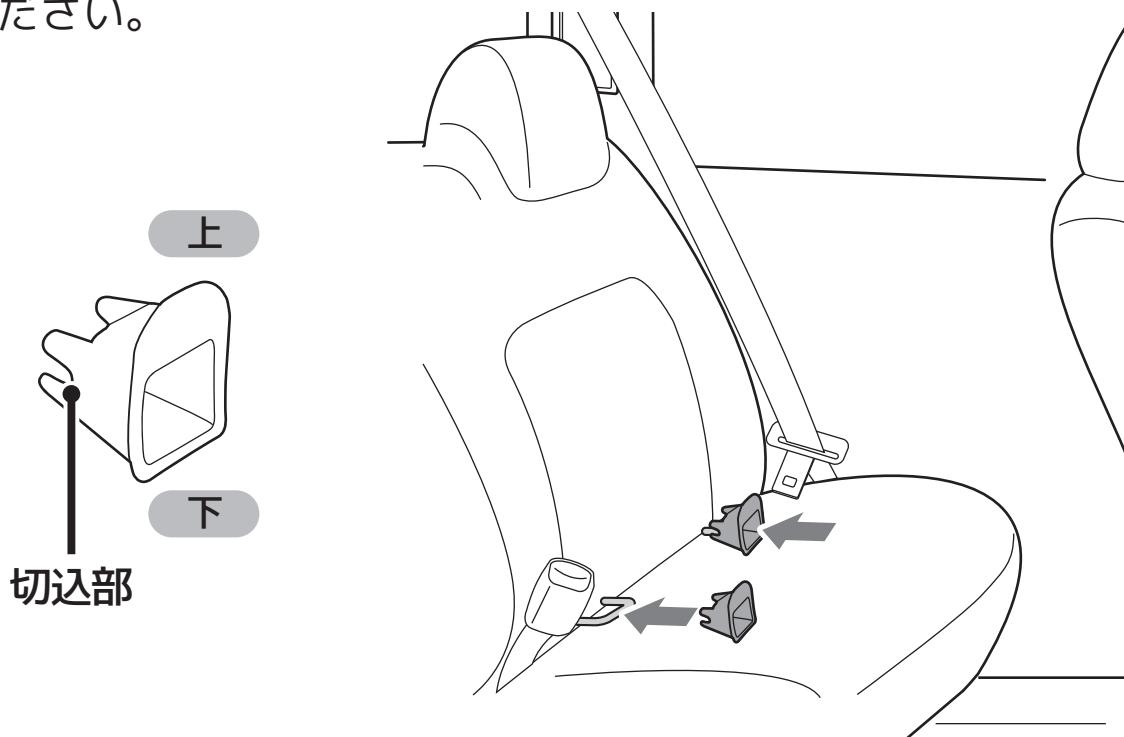
本製品を取り付ける座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



## 02

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定バーに差し込みます。

ISOFIX ガイドには左右はありませんが、上下がありますので上下を間違わないように注意して、切込部を ISOFIX 固定バーに差し込むようにして取り付けてください。



ISOFIX ガイドを取り付けた後で、座席のリクライニングを調節すると、ISOFIX ガイドが挟まれて破損したり、座席の表皮にキズが付くおそれがあります。

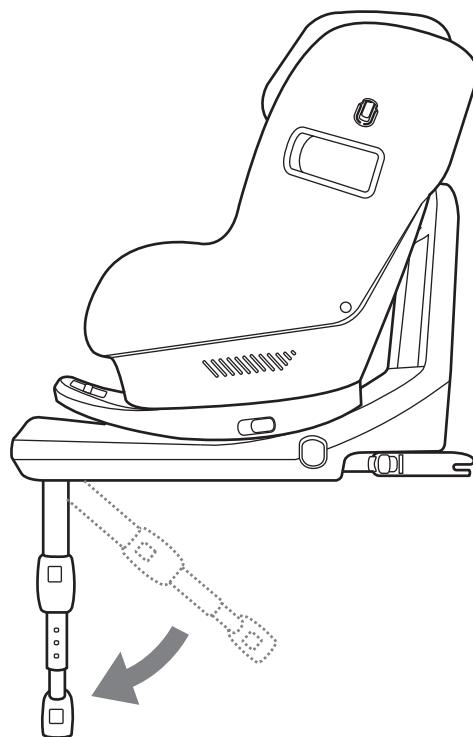
### ポイント！

車種によっては、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることができますが、ISOFIX 固定バーの周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

ISOFIX 固定バーは、シート座面とシート背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げるか、ISOFIX 固定バーが見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定バーにカバーが掛けられている場合がありますので、自動車の取扱説明書をご確認ください。

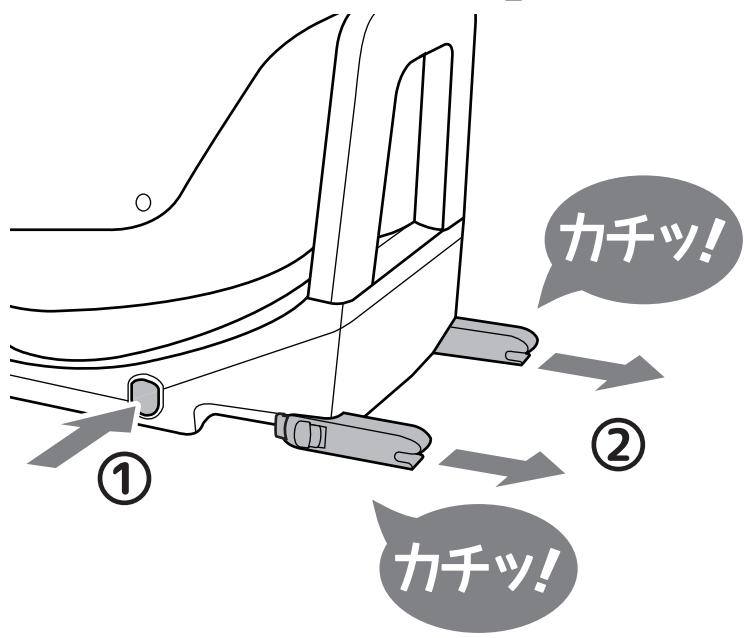
## 03

サポートレッグを完全に開きます。



## 04

ベース下部左右の① ISOFIX アジャストボタンを押して、② ISO-FIX コネクターを引き出します。最後まで引き出して「カチッ」と音がするよう固定してください。

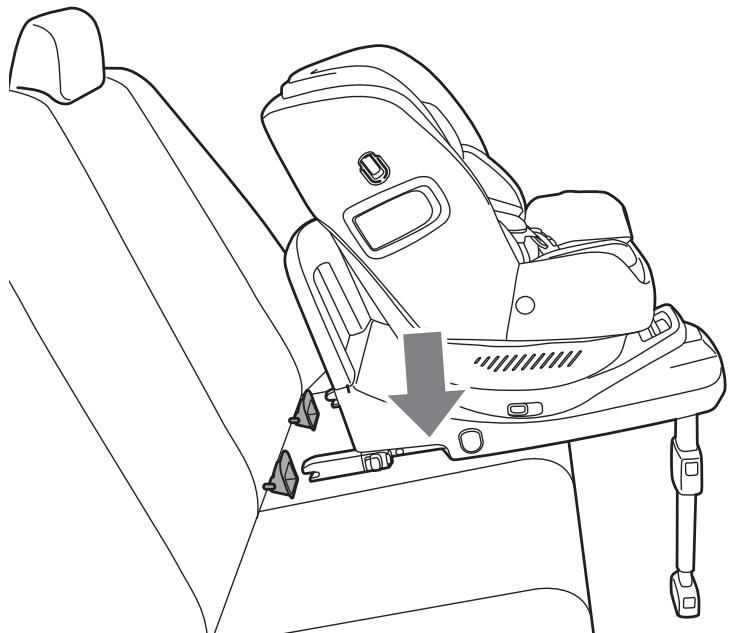


### ポイント！

ISOFIX コネクターをあらかじめ引き出しておいた方が、操作がしやすくなります。シート座面に乗せてから ISOFIX コネクターを引き出すと、シート座面の生地の種類によっては、ISOFIX コネクターが押し戻されことがあります。

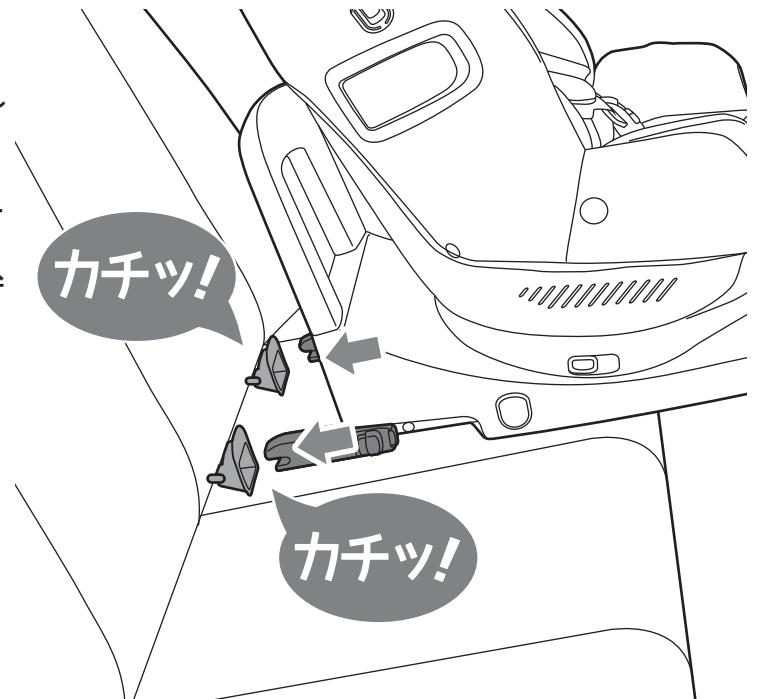
## 05

本製品をシート座面に乗せます。



## 06

左右の ISOFIX コネクターを、それぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。カチッと音がして ISOFIX 固定バーに固定されるまでしっかりと差し込んでください。



### ポイント！

シート生地の仕様によっては、摩擦により ISOFIX コネクターが本体側に押し戻されることがあります。

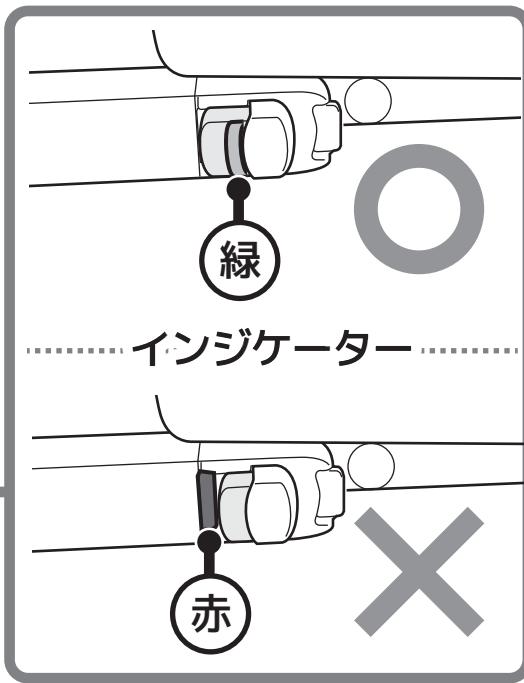
その場合 ISOFIX コネクターを持つなどして、ISOFIX コネクターを少し浮かせた状態にして差し込んでください。

自動車の座席のヘッドレストが本製品のシェルに干渉する場合は、ヘッドレストの角度を調節するか、ヘッドレストを取り外してください。ヘッドレストを取り外した場合はそのまま車内に放置せず、トランクの中など安全な場所に収納してください。

## 07

左右の ISOFIX コネクターのインジケーターが両方とも完全に緑色になっていることを確認してください。どちらか一方でも赤色の状態では、本製品が正しく固定されていません。

本製品を手前に引いてみて、左右の ISOFIX コネクタが抜けたり、インジケーターが赤色になつたりしないことを確認してください。



左右の ISOFIX コネクターが確実に ISOFIX 固定バーに取り付けられていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車の座席から外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 危険

ISOFIX コネクターの左右のインジケーターのいずれか一方でも緑色になつていない場合、本製品は正しく取り付けられていない状態ですので、固定時に左右とも「カチッ」と音がして、かつ、左右両方のインジケーターが緑色になるよう取り付け直してください。

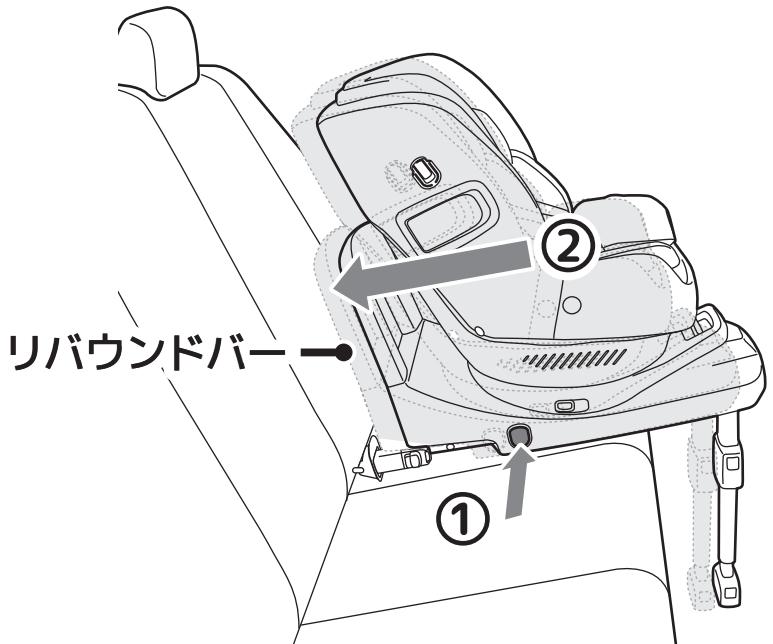
### ポイント！

ISOFIX コネクターのインジケーターを確認するため、明るい場所で作業するか、懐中電灯で照らすなどしてください。

また、ISOFIX コネクターのインジケーターが緑色になっている場合でも、念のため、しっかりと固定されているかどうか、軽く本製品を動かして確認するようにしてください。

## 08

ベースの左右の① ISOFIX アジャストボタンを押して、②本製品をシート背もたれ側に押し付けます。リバウンドバーが、シート背もたれに接する程度に押し付けてください。



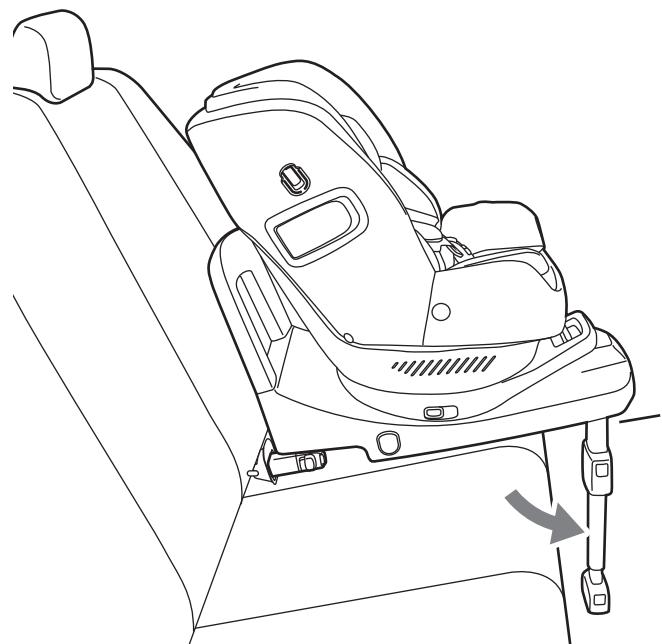
本製品は必要以上には押し付けないでください。サポートレッグが自動車のシート座面の先端部に極端に押し付けられると、ベー  
**△警告** スがシート座面から浮いたり、サポートレッグが正常に機能しなくなるおそれがあります。サポートレッグと自動車のシートの先端の間にはすき間をあけてください。

### ポイント！

ISOFIX コネクターは、ISOFIX アジャストボタンを使い、調節することができます。押し付けすぎた場合は、同じ手順で手前に引き出すことができます。長さを調節した後は、左右の ISOFIX アジャストボタンが元に戻り、ISOFIX コネクターが固定されていることを確認してください。

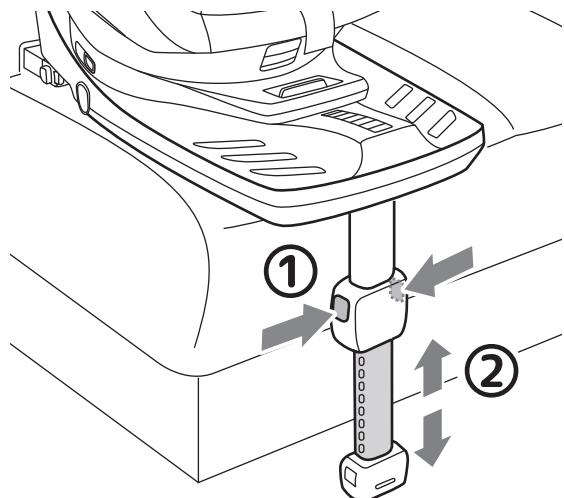
## 09

サポートレッグが完全に開いていることを確認します。

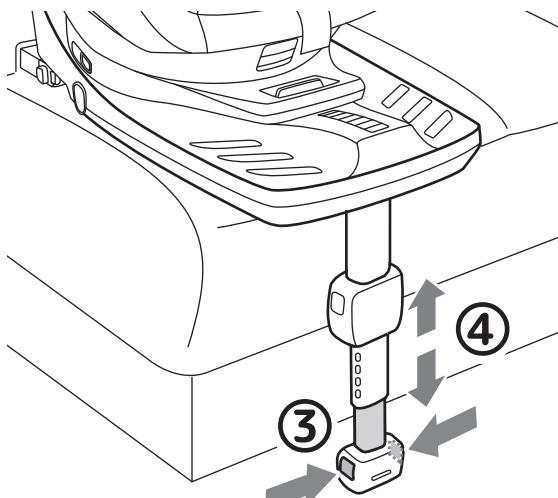


## 10

サポートレッグ左右の①レッグアジャストボタンをつまんで、②サポートレッグの先端が床面に接するようにします。③サポートレッグの先端のアジャストボタンつまんで調節し、④サポートレッグの先端が完全に床面に接するように調節してください。

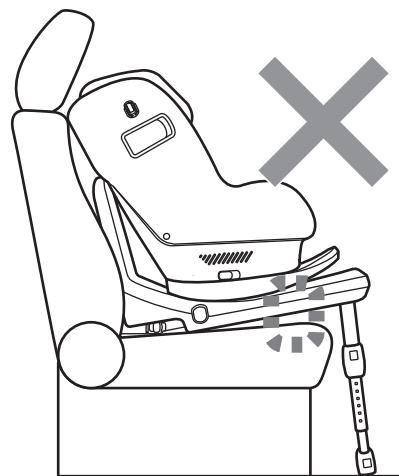
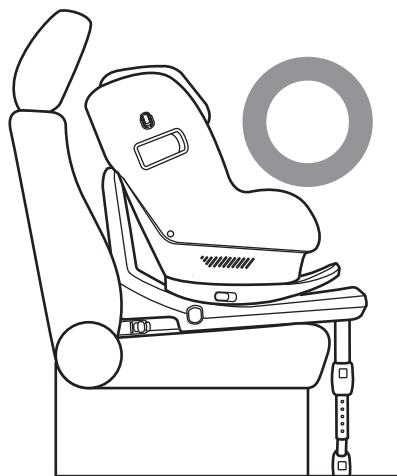


レッグアジャストボタン



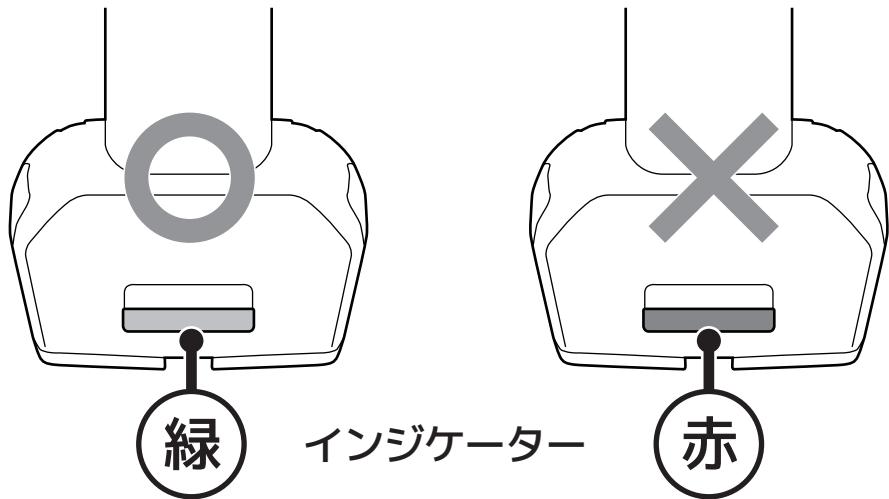
アジャストボタン

サポートレッグを長くし過ぎると、ベースの前端がシートの座面から浮いてしまいます。サポートレッグは、必ず先端が床面に接するようにしなければなりませんが、ベースが浮かないように調節してください。



## 11

サポートレッグ先端のインジケーターが完全に緑色になっていることを確認します。赤色の場合は、インジケーターが完全に緑色になるまで、サポートレッグを調節してください。



### ポイント！

サポートレッグの長さは、24段階で調節可能です。適切な長さになるよう、レッグアジャストボタンとアジャストボタンでの調節を組み合わせてください。

サポートレッグが完全に床面に接地すると、インジケーターは完全に緑色になります。赤色の場合や赤色が半分以上表示されている場合は、サポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節して、インジケーターが緑色になるようにしてください。



サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

## 12

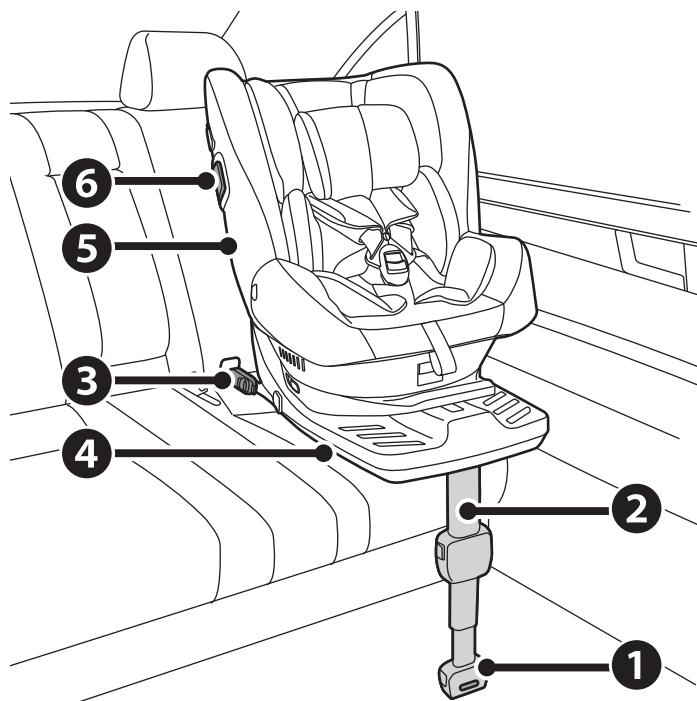
サイドインパクトシールドを開いて、サイドインパクトシールドがドアに干渉しないことを確認します。

本製品を設置した座席の隣に他に乗員が座る場合は、他の乗員側のサイドインパクトシールドは閉じておくようにします。

参照 P53 ▶サイドインパクトシールド▶閉じかた▶01

## 13

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、正しい状態になるよう操作しなおしてください。



### チェックリスト

- ① サポートレッグの先端が床面に接していること。  
サポートレッグのインジケーターが緑色になっていること。  
サポートレッグの接する床面が平らで安定していること。  
サポートレッグの下、周辺に物品が置かれていないこと。
- ② サポートレッグが完全に開かれていること。
- ③ 左右の ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定バーに固定され、ISOFIX コネクターのインジケーターが左右とも完全に緑色になっていること。
- ④ 本製品の底面がシート座面に接していること。
- ⑤ 本製品がシート背もたれ側に押し込まれていること。
- ⑥ 自動車のドア側のサイドインパクトシールドが開かれ、本製品を設置した座席の隣に他に乗員が座る場合は、他の乗員側のサイドインパクトシールドが閉じられていること。

# 取り外しかた

## 01

ベース下部左右の① ISOFIX アジャストボタンを押して、②本製品を手前側に引き出します。最後まで引き出してください。

 ポイント！

ISOFIX コネクターは、同時に左右両方操作して取り外します。

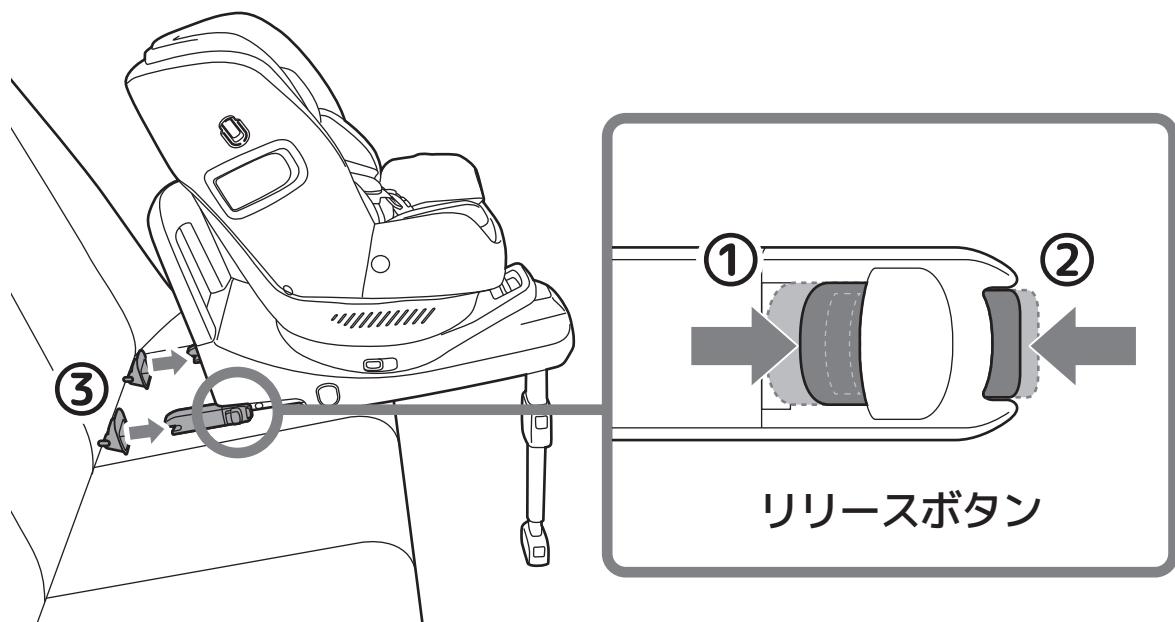


## 02

ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定バーから取り外します。

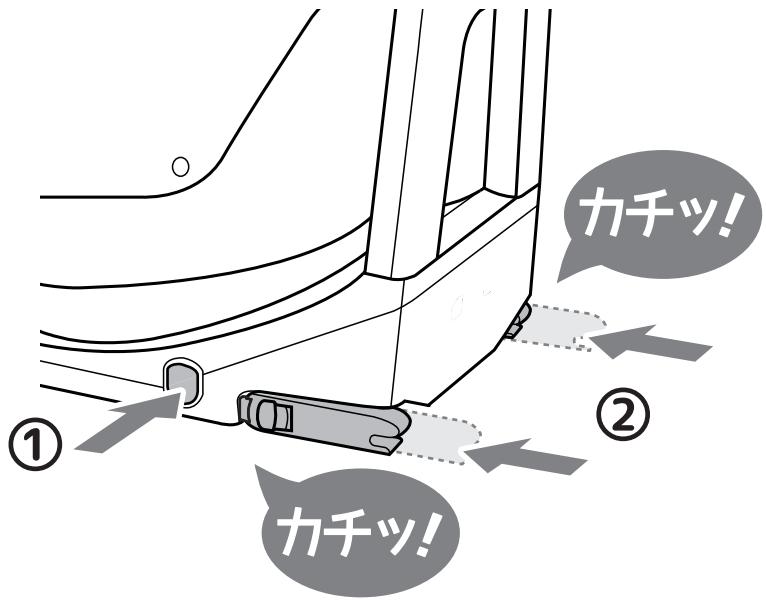
ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。

①のリリースボタンを押しながら、同時に②のリリースボタンを押して ISOFIX コネクターのロックを解除して、③ ISOFIX 固定バーから抜きます。  
左右の ISOFIX コネクターを同時に操作してください。

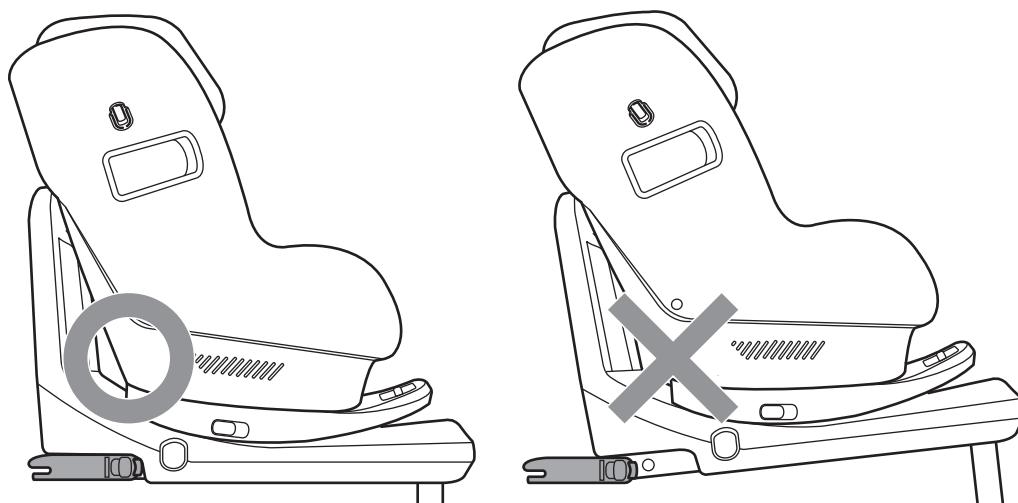


## 03

① ISOFIX アジャストボタンを押して、② ISO コネクターをベース側に収納します。最後まで収納してください。

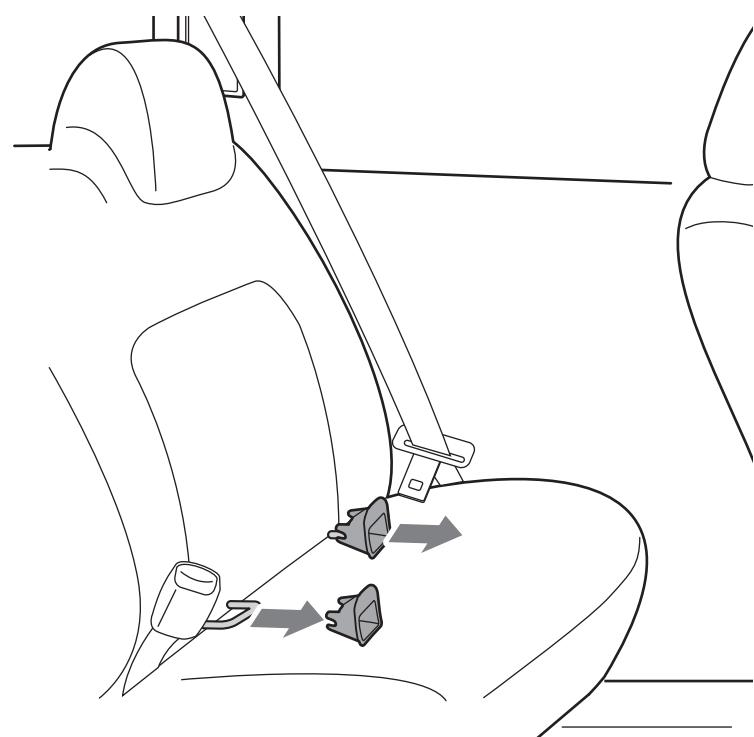


**⚠ 注意** 本製品の破損、またケガを防ぐためにも、本製品を自動車のシートから取り外した場合は、ISOFIX コネクターはベースに収納するようにしておきます。



## 04

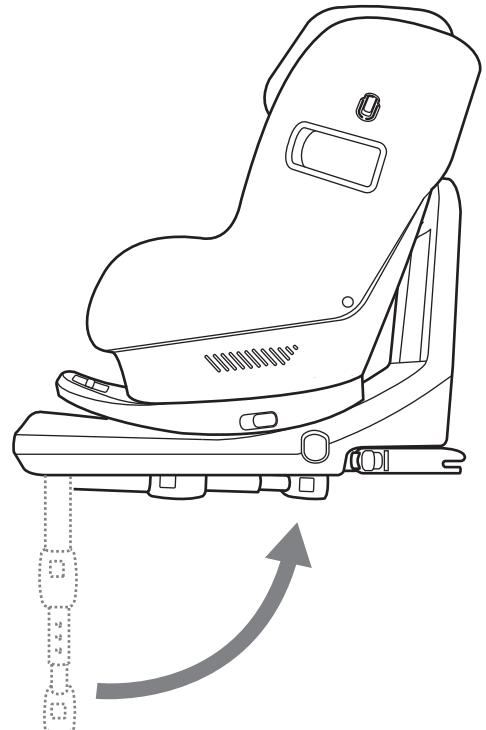
ISOFIX ガイドを取り外します。  
ISOFIX ガイドはなくさないよう、  
大切に保管してください。



ISOFIX ガイドが紛失、破損したり、乗員がケガをするおそれがあります。ISOFIX ガイドは、必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。

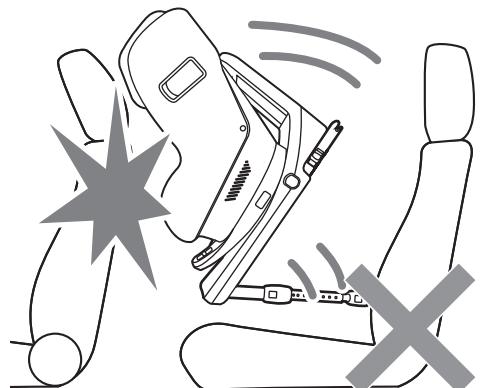
## 05

車外に出し、サポートレッグを閉じておきます。

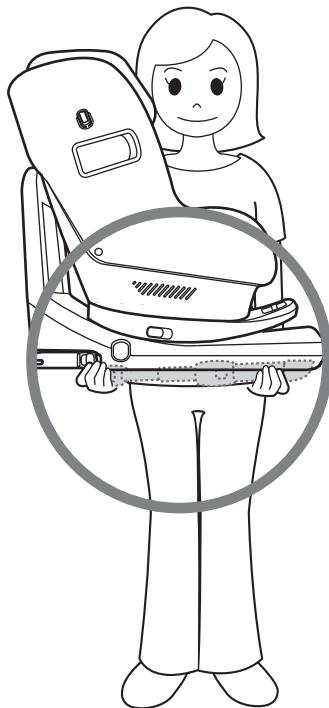


本製品を座席から取り外したら、そのままにせず車外に出してください。本製品が正しく固定されていない状態で車内に置かれていると、交通事故や急制動の際に本製品等が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

### 警告



サポートレッグが突然開いてケガをするおそれがありますので、  
⚠️注意 本製品を持ち運ぶ際には、手でサポートレッグを支えて持ち運ぶ  
ようにしてください。



## シェルの回転

本製品は、シェルが回転することにより、自動車の進行方向に対して後ろ向き、前向きを切り替えて使用することができます。

また、シェルを回転させると、よりスムーズにお子さまの乗せ降ろしができます。

前向きから後ろ向き、後ろ向きから前向きの回転では、注意する事柄に異なる部分がありますのでご注意ください。

### 👉 ポイント！

シート背もたれの角度、ドアの形状、車内の構造物、また、本製品のリクライニングの状態、ヘッドレストの高さ等の要因により、スムーズに回転できない場合があります。実際にお子さまを乗せて回転させる前に、これらの要素を確認して、ひっかかりなどがある場合には、その原因を取り除いて使用するようにしてください。

# シェルを回転させる場合の注意事項

## △危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### シェルは安全を確認してゆっくりと回転させてください

お子さまが、シートベルトにひっかかったり、お子さまの手足が座席と本製品の間にかかっていたりすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、サイドインパクトシールドが座席やドアに引っかかって破損するおそれがあります。シェルを回転させる際には、安全を確認して、ゆっくりと回すようにしてください。



### 前向きでの使用には制限があります

前向きでの使用には制限がありますので、ご注意ください。使用するシェルの向きは、基準により定められています。使用できるお子さまの条件を必ず守ってください。

参照 P8 ▶使用できるお子さまの条件

### シェルは、前向き、後ろ向きのいずれかの向きで固定して使用すること

本製品は、お子さまの乗せ降ろしのときや、前向き、後ろ向きの切り替えの際に、シェル（座席）を回転させることができます。

実際に使用される場合は、お子さまの身長、体重、月齢に応じて、シェルは、前向き、後ろ向きのいずれかの向きで、確実に固定しなければなりません。シェルを横向きなど中間位に向けた状態では絶対に使用しないでください。





以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

## 走行中はシェルを回転させないこと

走行中にシェルを回転させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。シェルの回転は、安全な場所に自動車を停めた状態で行ってください。

## 可動部に手指を置かないこと

回転するシェルに、手や指を挟むおそれがあります。回転操作する際は、回転させる方も安全を確認して、可動部分に手を置いたり指を差し入れたりしないようにして操作してください。



以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることができることを示します。

## シェルは、常に固定しておくこと

お子さまが乗っていない場合でも、シェルは後ろ向き、前向きのいずれかで固定しておいてください。取り付け、取り外しの作業中や、自動車の走行中にシェルが動くと思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 無理に回転させないこと

座席や自動車の構造物が干渉して、回転できない場合は、無理に回転させないでください。自動車の座席や構造物に傷がついたり、本製品が破損するおそれがあります。

# 自動車のシートの調節

本製品を正しく取り付けた状態でスムーズにシェルを回転できるかをあらかじめ確認します。

シェルの回転時に、シート背もたれや座席のヘッドレストとシェルが干渉する場合があります。その場合、以下のように対応してください。

スムーズに回転する場合には、以下の操作は必要ありません。

## ヘッドレストに干渉する場合

座席のヘッドレストを取り外してください。

この場合、取り外したヘッドレストはそのまま車内に置かず、必ず自動車のトランクなど安全な場所で保管するようにしてください。

## ヘッドレストが外せない場合

### シート背もたれと干渉する場合

ISOFIX アジャストボタンを操作して、本製品をシート背もたれから少し離して回転させてください。

回転後、ISOFIX アジャストボタンを操作して、本製品をシート背もたれに押し込んでください。

参照 P59 ▶取り付けかた▶ 08



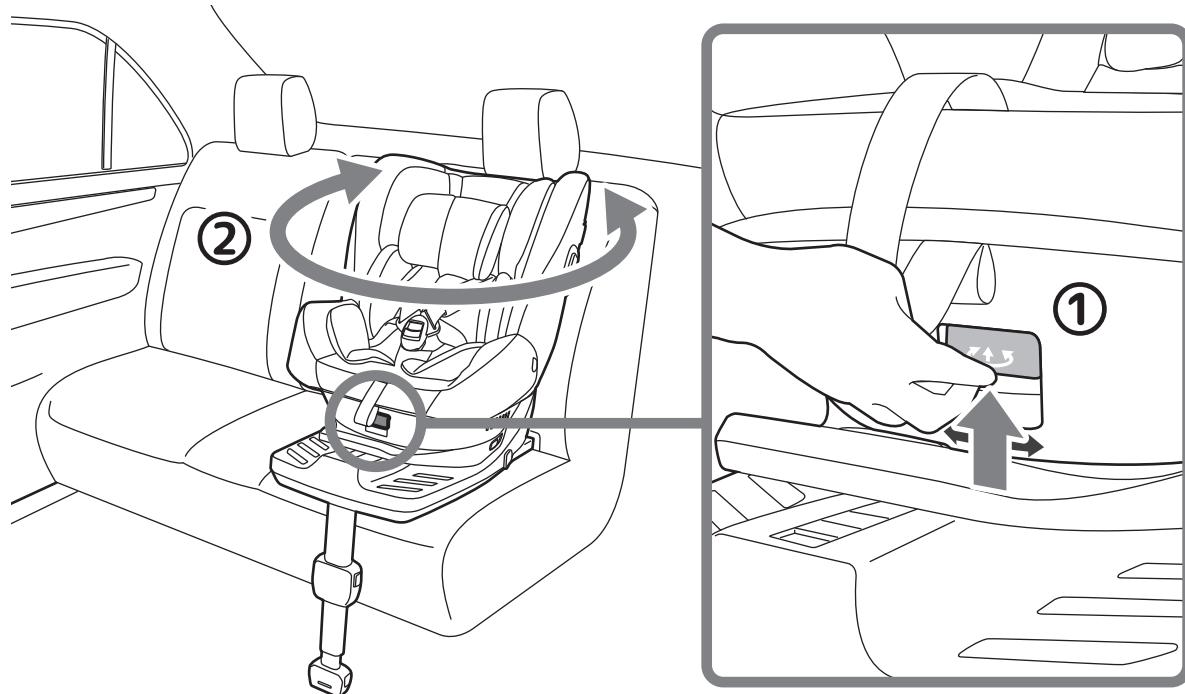
この操作を繰り返すと、シート座面に傷をつけるおそれがあります。あらかじめご了承ください。

# 前向きから後ろ向きに回転させる

## 01

①回転レバーを押し上げて、②シェルを回転させます。シェルは左右、どちらにも回転します。

お子さまに注意して操作してください。



### ポイント！

後ろ向きで使用している場合、後ろ向きから前向きに回転させるには、スマートライド™ロックオフの操作が必要になります。

参照 P75 ▶後ろ向きから回転させる▶ 05

リクライニングが「1」または「2」に調節されていると、シェルの先端部がリバウンドバーに干渉して回転しにくくなります。3～7に調節すると回転がスムーズに行えます。

参照 P77-78 ▶リクライニングの使いかた

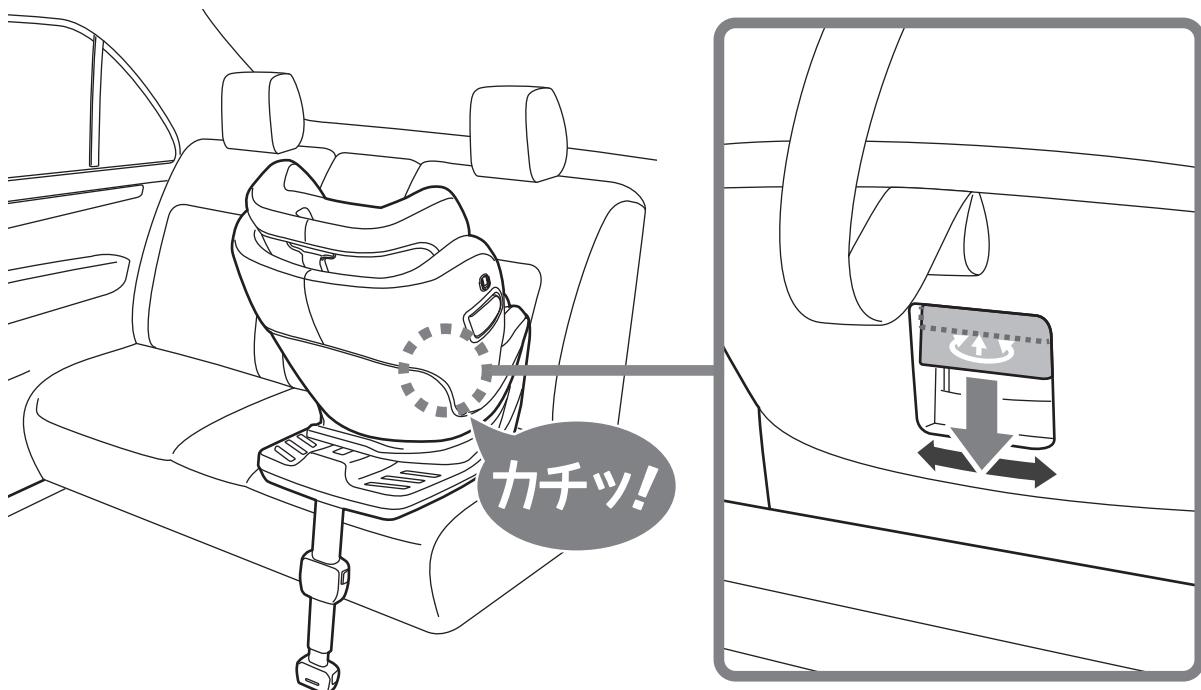
## 02

お子さまを乗せ降ろしする場合は、ドア側に横向きにします。横向きの状態ではシェルは固定されませんので、乗せ降ろしの際はご注意ください。



## 03

そのまま、後ろ向きになるまで回転させると、カチッと音がしてシェルが後ろ向きで固定されます。



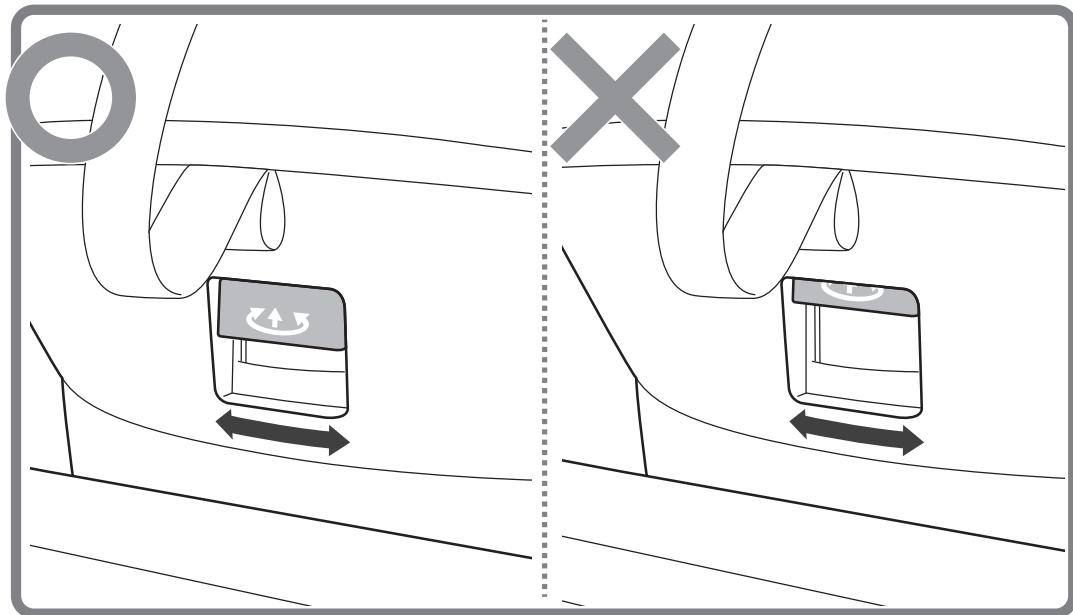
## 04

シェルを動かしてみて、完全に後ろ向きで固定されていることを確認してください。



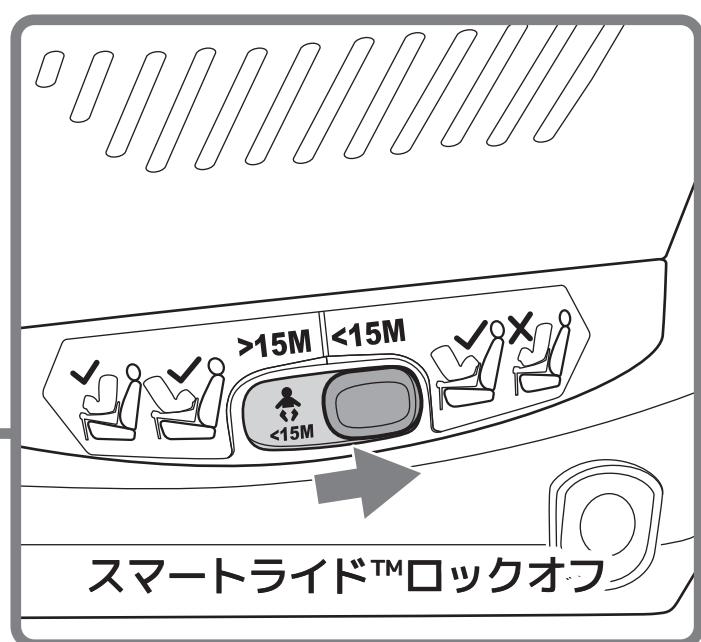
## ポイント！

回転レバーが上がったままの状態では、シェルは固定されていません。後ろ向きの状態では回転レバーが見えませんので、軽くシェルを動かして動かないことを確認します。



## 05

後ろ向きで使用する場合（お子さまの身長が76cm以上かつ生後15カ月を超えるまで）は、①スマートライド™ロックオフをスライドさせて、②「<15M」に切り替えてください。





## ポイント！

スマートライド™ロックオフを「< 15M」に切り替えると、シェルは後ろ向きから横向きにまでしか回転しません。

## 06

回転操作をした後、ISOFIX コネクターのインジケーター（左右）と、サポートレッグのインジケーターが、すべて完全に緑色の状態になっていることを確認してください。

## 後ろ向きから回転させる

本製品は、お子さまの身長が 76cm 以上かつ生後 15 カ月を超えるまでは、前向きにして使用することはできません。

このため、前向きから回転させる場合と異なり、安全のために回転が途中で止まる構造になっています。

後ろ向きから前向きへの回転の場合、狭い空間に手を差し入れるので、ケガしないように注意して操作してください。

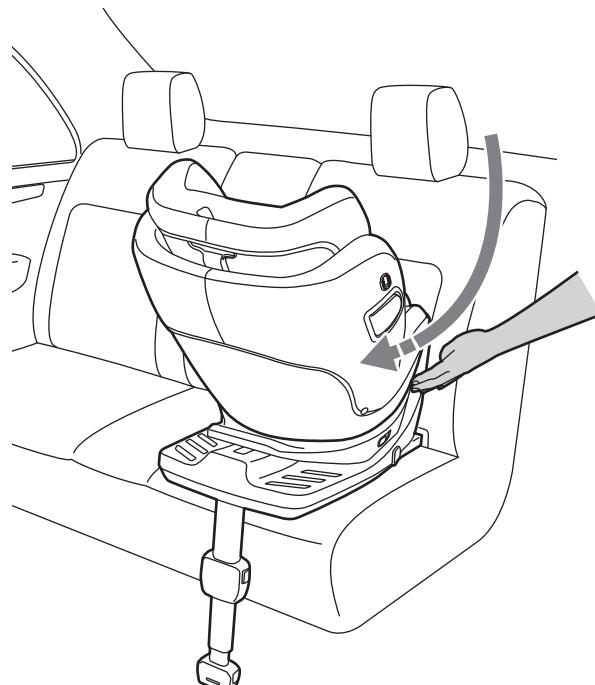


## ポイント！

以下の操作は、スマートライド™ロックオフが「< 15M」に切り替えられている状態での操作方法です。

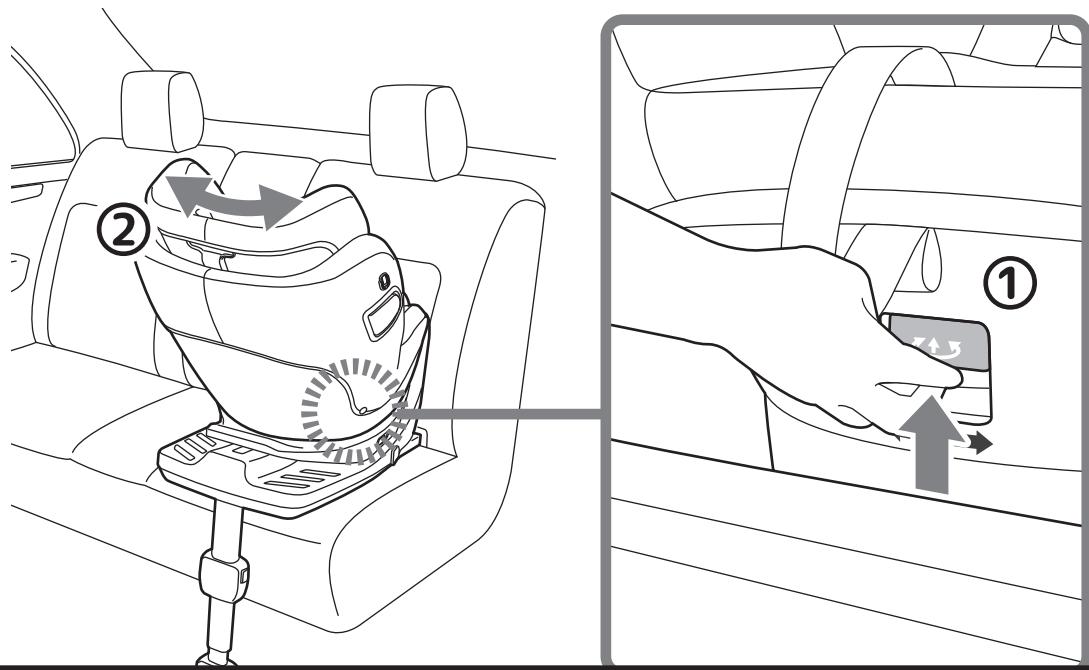
## 01

リバウンドバーとシェルの間から手を差し入れます。



## 02

①回転レバーを押し上げて、②シェルを少しだけ回転させてロックを解除します。シェルは左右、どちらにも回転するので、回転させたい側に少しだけ回転させてください。



すき間に手を入れたままシェルを回転させないでください。手  
が本製品の構造物や自動車の構造物に挟まれてケガをするおそれ  
があります。

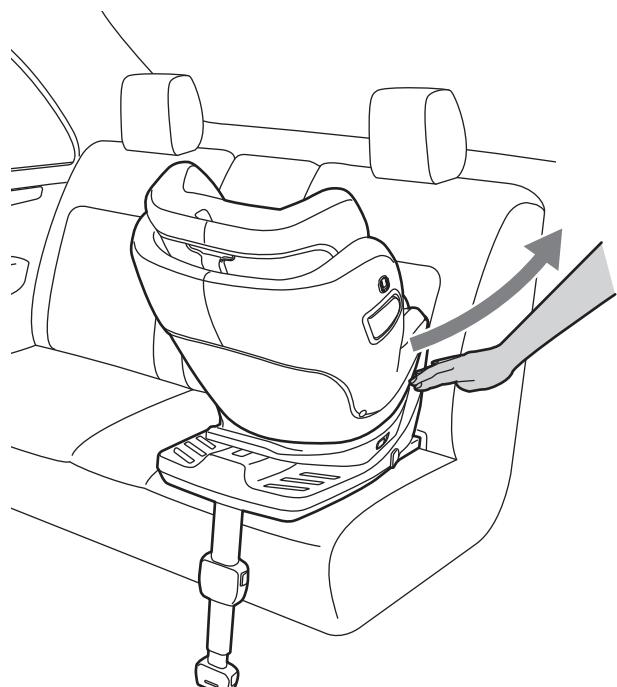
## 03

ロックが解除されたら、回転レバーから手を離して、すき間から手を抜きます。

### ポイント！

リクライニングが「1」または「2」に調節されていると、シェルの先端部がリバウンドバーに干渉して回転しにくくなります。3～7に調節すると回転がスムーズに行えます。

参照 P77-78 ▶リクライニングの使いかた



## 04

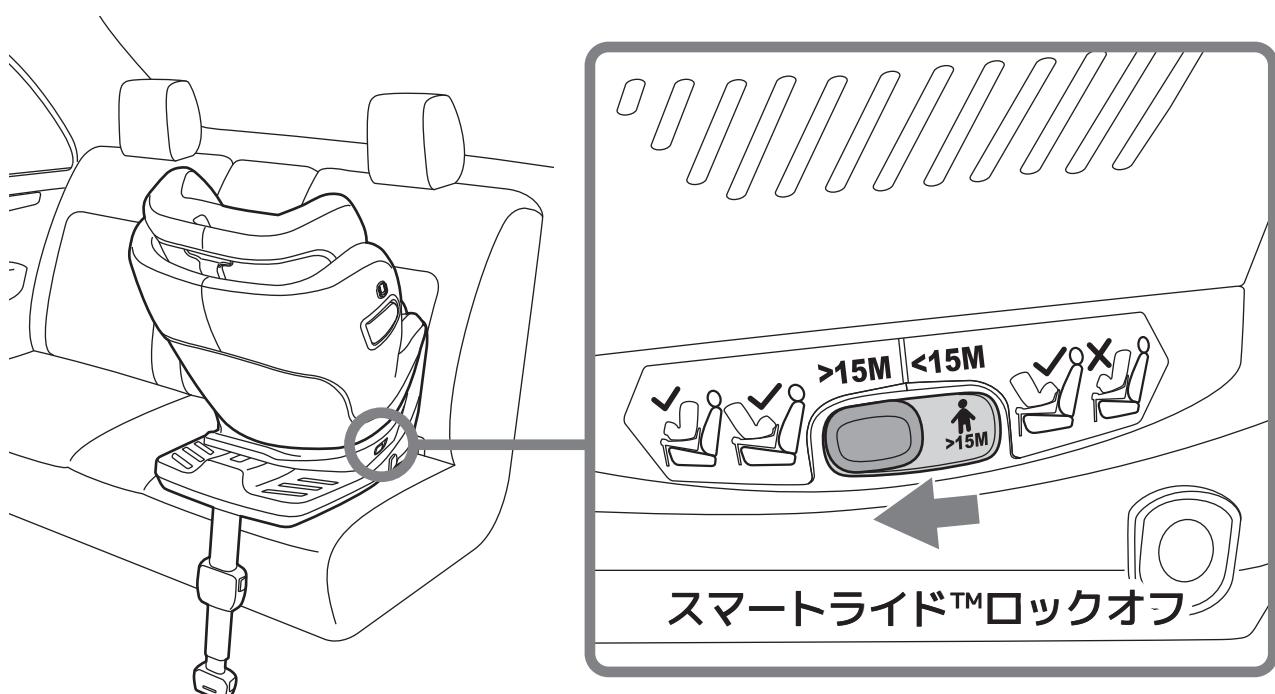
そのまま、お子さまに注意してシェルを回転させます。  
お子さまを乗せ降ろしする場合は、自動車のドア側に横向きにします。横向きの状態ではシェルは固定されませんので、乗せ降ろしの際はご注意ください。



## 05

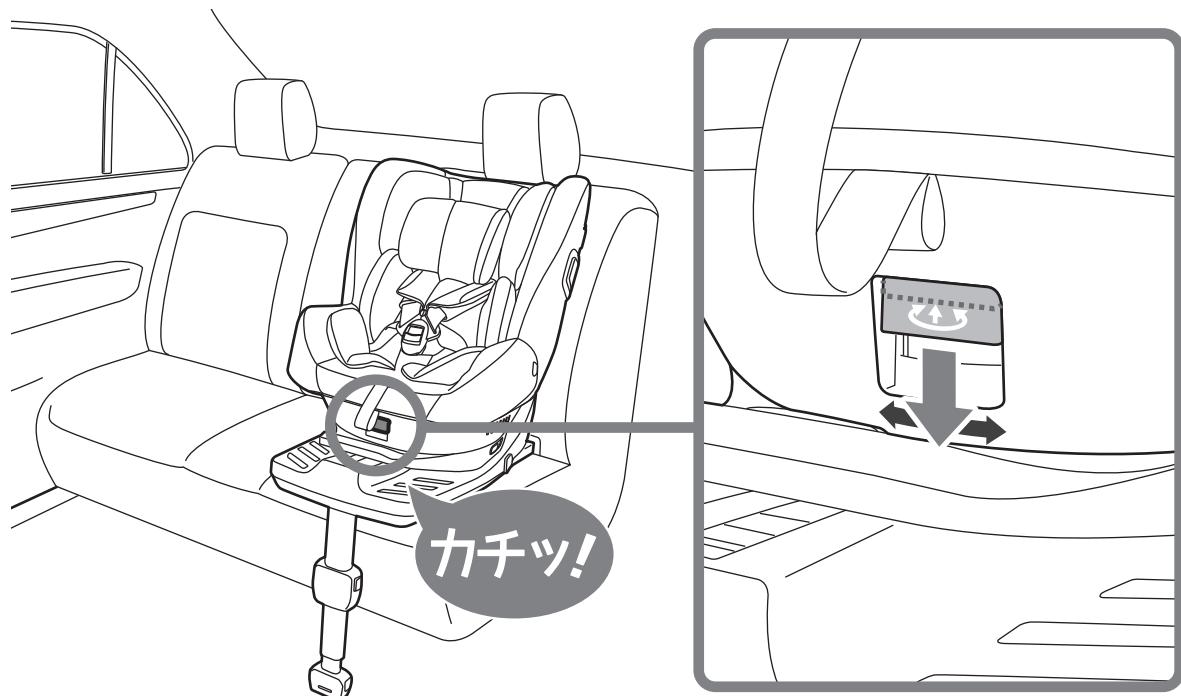
スマートライド™ロックオフの操作 (< 15M) により、後ろ向きからの回転の場合、横向きまでしか回転しません。お子さまが成長して前向きで使用可能な条件になるまでは、そのままで使用してください。

前向きに切り替える場合は、①スマートライド™ロックオフをスライドさせて、②「> 15M」に切り替えてください。



## 06

前向きにするには、回転レバーを操作して、そのまま前向きになるまで回転させてください。カチッと音がしてシェルが前向きで固定されます。



## 07

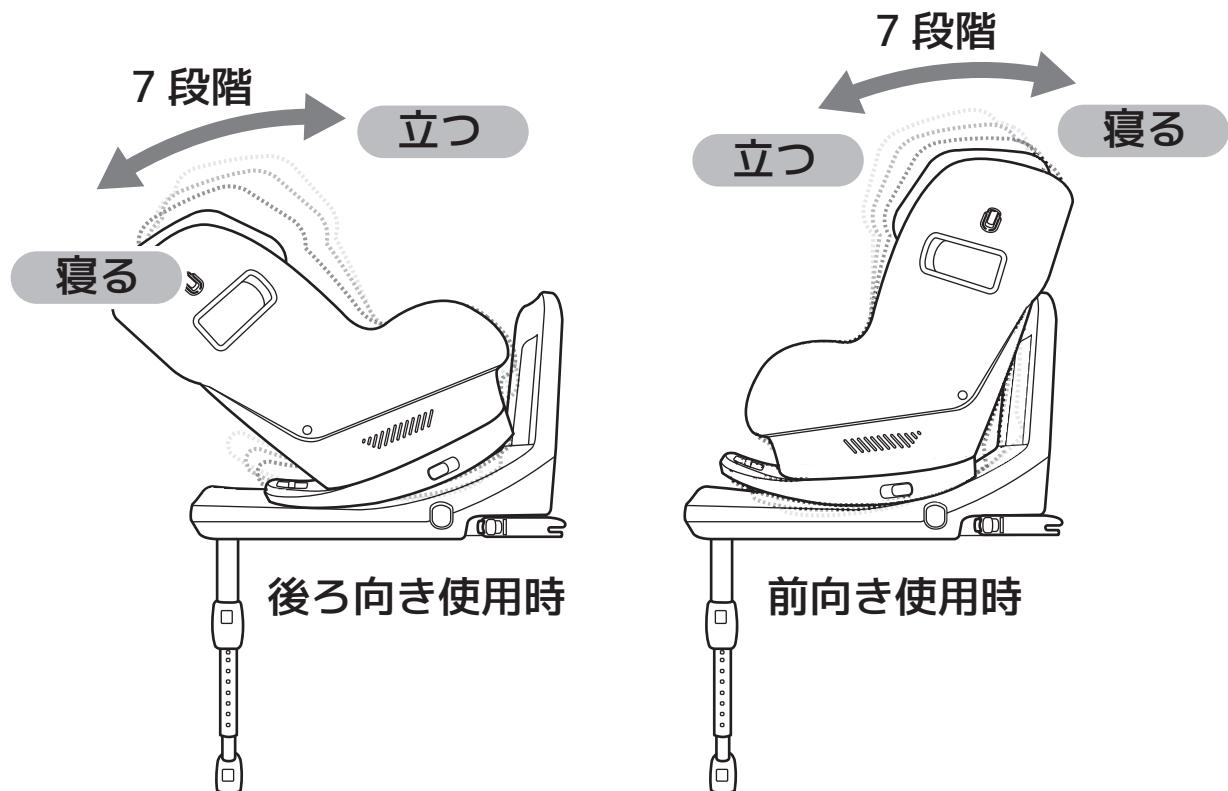
シェルを動かしてみて、完全に前向きで固定されていることを確認してください。

## 08

回転操作をした後、ISOFIX コネクターのインジケーター（左右）と、サポートレッグのインジケーターが、すべて完全に緑色の状態になっていることを確認してください。

# リクライニングの使いかた

本製品には、シェル（座席）の角度を変えるリクライニング機構が装備されています。リクライニングは、7段階で調節可能です。後ろ向き、前向きとも7段階で調節して使用することができます。お子さまの月齢の低い間は、お子さまの姿勢が立ちすぎないようにご注意ください。



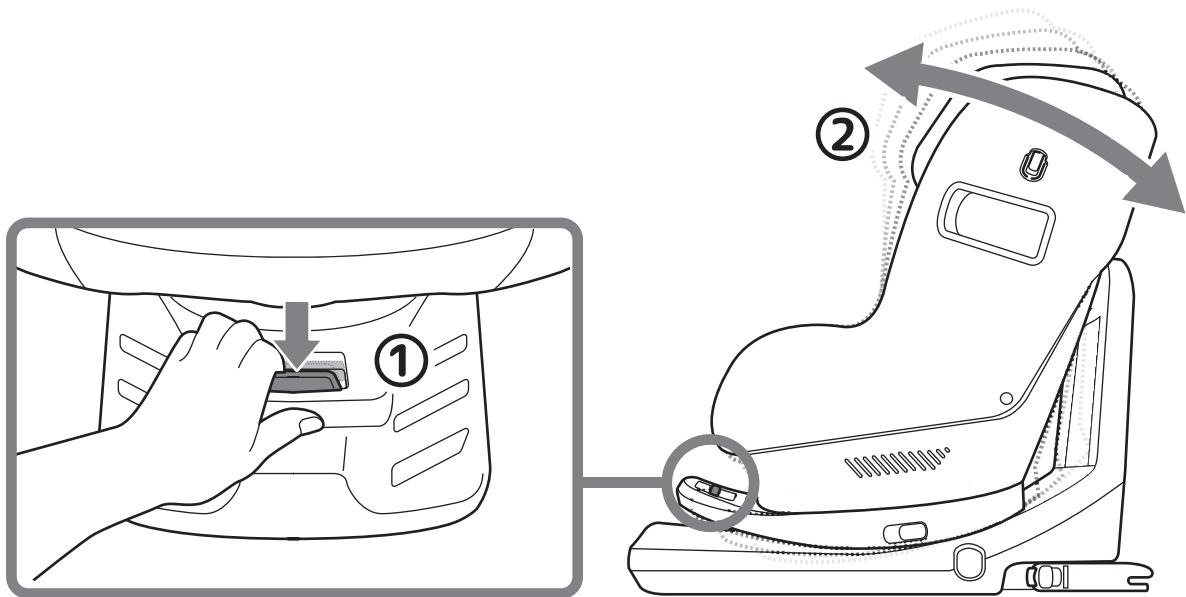
## 危険

リクライニングの調節をすると、サポートレッグに影響して、長さが不適切になる場合があります。リクライニングの調節後は、必ずサポートレッグのインジケーターを確認して、必要に応じてサポートレッグを再調節してください。

参照 P60-61 ▶取り付けかた▶ 10-11

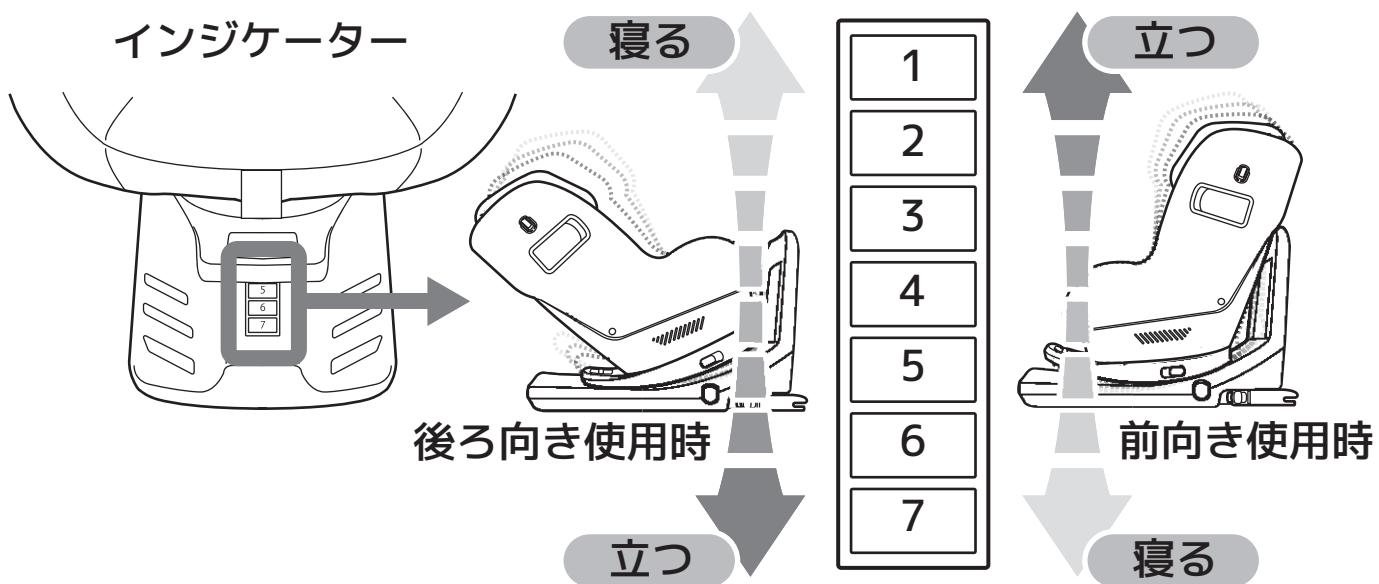
## 01

①リクライニングレバーを握り前後に動かして、②シェルの角度を調節します。7段階のいずれかの角度で固定してください。



## 02

前向き使用時、後ろ向き使用時、いずれも7段階でリクライニングを調節することができます。インジケーターでリクライニングの段階を確認することができます。



## 03

リクライニングを調節した後、サポートレッグが正しい状態になっているかを確認してください。

参照 P60-61 ▶取り付けかた▶ 10-11

# お子さまの乗せかた

後ろ向き、前向きでは、お子さまの適切な乗せかたに異なる部分があります。

## 後ろ向きで使用する

本製品をシート（座席）に取り付けてからお子さまを乗せてください。  
⚠️ 警告 さい。お子さまを乗せたまま本製品を取り付けないでください。お子さまが落下するおそれがあります。

### 準備

#### 01

お子さまの月齢、体格に合わせてソフトパッドを適切に調節します。

参照 P37 ▶ソフトパッドの使用

参照 P47-51 ▶ソフトパッドの使いかた

#### 👉 ポイント！

お子さまの身長が 60cm を超えるまでは、すべてのソフトパッドを取り付けて使用することをお勧めします。

#### 02

本製品が正しく自動車の座席に取り付けられていることを確認してください。

参照 P62 ▶取り付けかた▶ 13

#### 03

お子さまの成長、シート座面の角度（傾斜）に応じて、本製品のリクライニングの角度を調節してください。

参照 P77-78 ▶リクライニングの使いかた

## 04

左右の座席に取り付けた場合は、ドア側のサイドインパクトシールドを開きます。本製品の隣の座席に他の乗員が座る場合には、他の乗員側のサイドインパクトシールドは閉じておきます。

参照 P53 ▶サイドインパクトシールド▶閉じかた▶01

## お子さまを乗せる

### 01

必要に応じて、お子さまを乗せやすい方向にシェルを回転させてください。

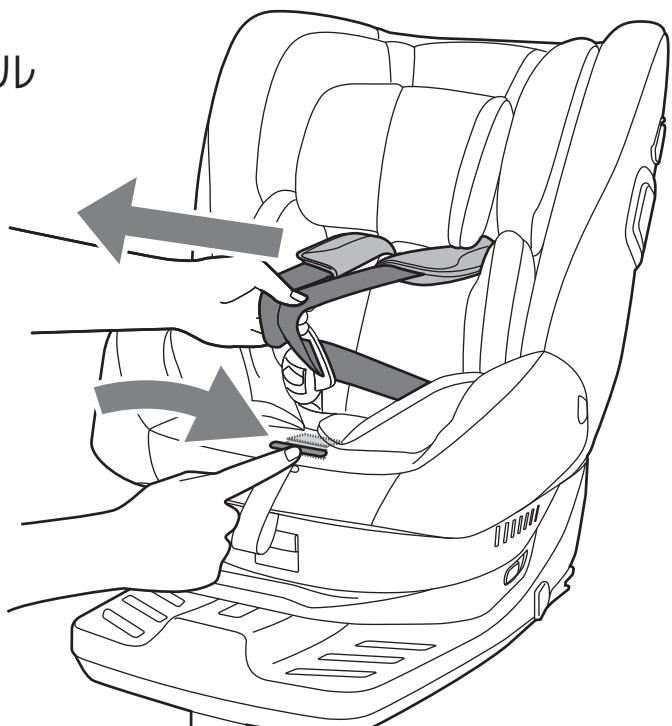
参照 P66-76 ▶シェルの回転

#### ポイント！

後ろ向きで使用する場合（お子さまの身長が76cm以上かつ生後15ヵ月を超えるまで）は、スマートライド™ロックオフをスライドさせて、「15M」に切り替えてください。

### 02

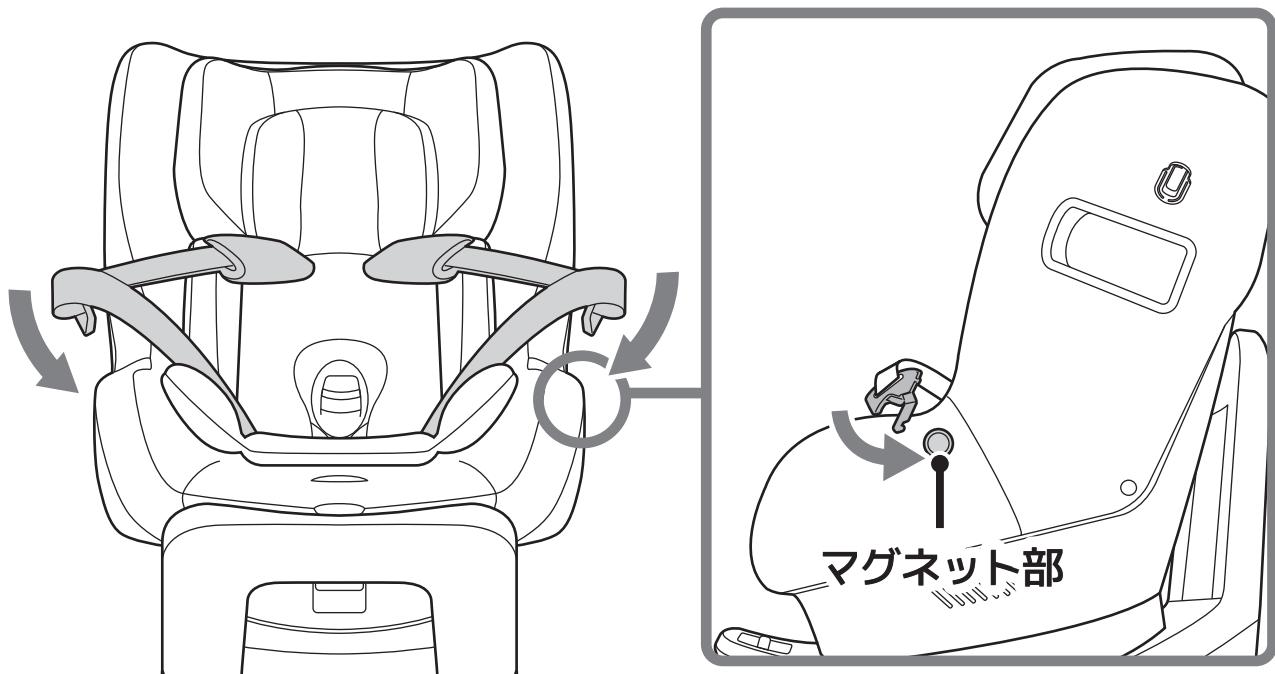
あらかじめ肩ベルトをゆるめ、バックルを外しておきます。



参照 P45 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

## 03

お子さまが、受けバックルや差込みタングの上に座らないよう、股ベルト（受けバックル）を前側に倒し、左右の差込みタングを外側に出して、それぞれシェル側面のマグネット部に留めておきます。



**⚠️警告** マグネット部には、磁石が用いられています。電子医療機器を装着された方には影響を与える可能性がありますので、ご注意ください。

**⚠️注意** マグネット部には、磁気に影響を受けるもの（プリペイドカード、磁気テープ、磁気カード、切符）を近づけないでください。記憶情報が破壊されたり、磁化されて使用できなくなるおそれがあります。

## 04

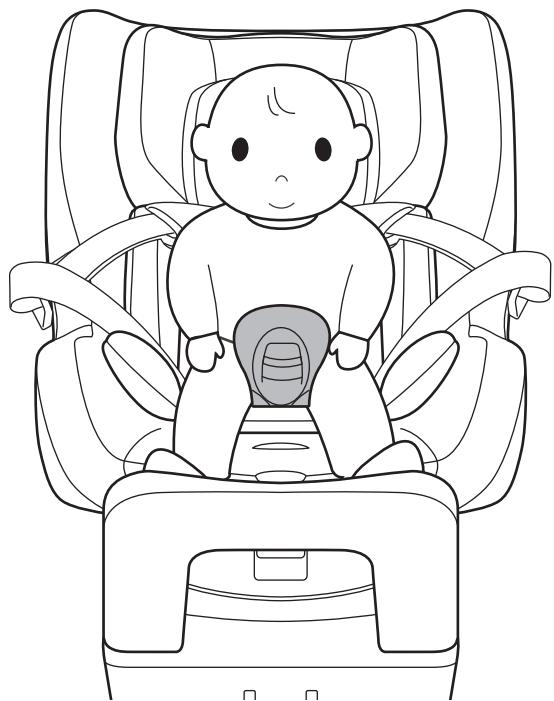
お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。

### ポイント！

受けバックルを操作すると、サイドインパクトシールドが開く場合があります。都度サイドインパクトシールドを閉じても、受けバックルの操作次第では、開くことがありますので、肩ベルトなどが調節されて、お子さまが完全にハーネスで固定されるまでは、開いたままで操作を続けてください。

参照

P53 ▶サイドインパクトシールド▶閉じかた▶01

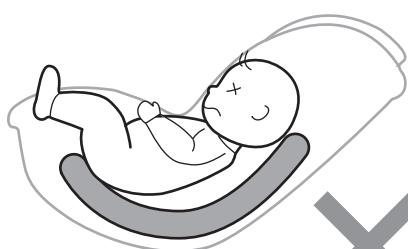


### ポイント！

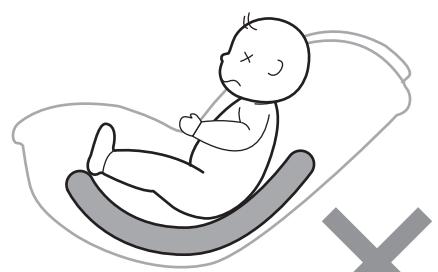
お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

ソフトパッドを調節したり、リクライニングを操作したりするなどして、お子さまを正しい姿勢で乗せてください。誤った姿勢で

**危険** 乗っていると、お子さまを正しく固定できず、事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

参照 P37 ▶ソフトパッドの使用

参照 P77-78 ▶リクライニングの使いかた

## 05

肩ベルトが十分にゆるんでいることを確認します。

左右の差込みタングをマグネット部から外して、肩ベルトにお子さまの腕を通します。

ハーネスにねじれがないことを確認して、肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、腰ベルトがお子さまの骨盤の位置を通るようにして、カチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。



腰ベルトは、お子さまの骨盤の位置を通るようにしてください。

**△危険** 腹部や、太ももの位置に腰ベルトが通っていると、事故や衝撃を受けた際に大変危険です。

**△警告**

ハーネスをねじらないようしてください。ハーネスにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルトにねじれがないことを確認してください。

ポイント！

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、肩ベルトをさらにゆるめてからバックルを留めます。

次に記載の、肩ベルトの高さの調節をおこなうと、さらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

## 06

肩ベルトの高さを確認、調節します。

ハーネスが締め付けられている場合は、さらに肩ベルトをゆるめてください。

参照 P45 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

**危険** 後ろ向き使用時と前向き使用時では適切な高さが異なります。使用するシェルの向きに合わせて、適切な高さで調節してください。

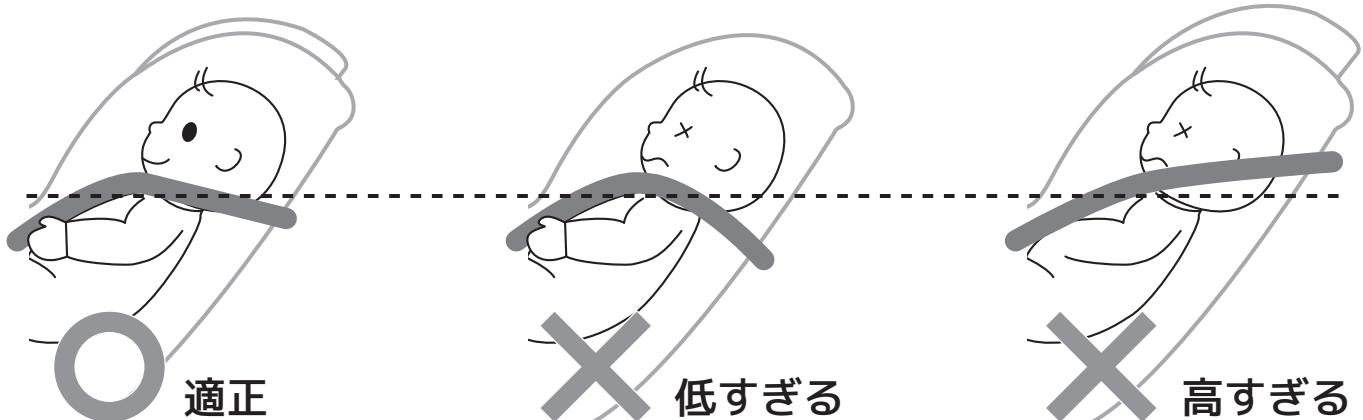
### ポイント！

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適正な高さになっているかを使用毎に確認するようにしてください。

ソフトパッドを調節した場合は、肩ベルトの高さ調節が必要となります。また、お子さまの成長に合わせて、適宜調節してください。

## 07

肩ベルトは、お子さまの肩の位置と水平になる高さに調節してください。肩ベルト（ヘッドレスト）の高さは8段階で調節可能ですので、後ろ向きで使用する場合は、肩ベルトの高さが、お子さまの肩の高さと水平になるように調節してください。完全に水平な高さにならない場合は、お子さまの肩の位置に最も近く、かつお子さまの肩の位置より低い段階に調節します。



参照 P46-47 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

## ⚠ 危険

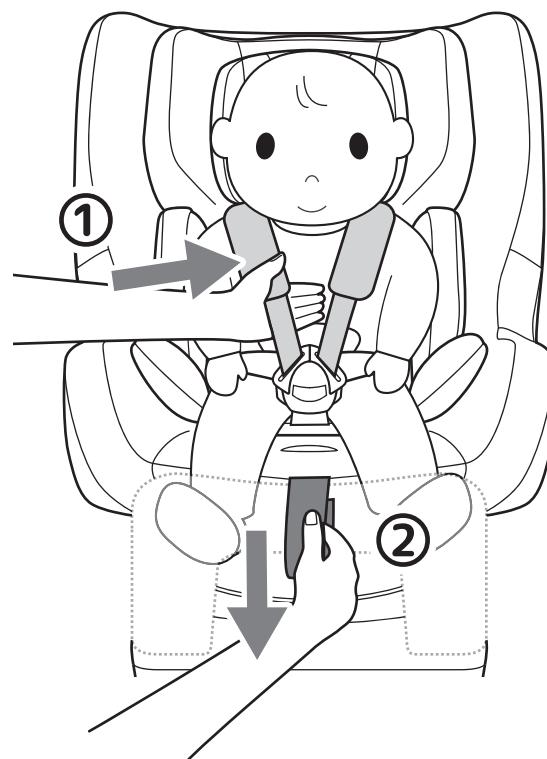
肩ベルトの高さは適切に調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

## ⚠ 注意

肩ベルトの高さ調節は、お子さまに負担がかからないように、やさしく、ゆっくりと操作してください。

## 08

肩ベルトとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターべルトをゆっくりと引いて、締めつけます。  
差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで締め付けるようにします。



### ポイント！

締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、肩ベルトをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P45 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

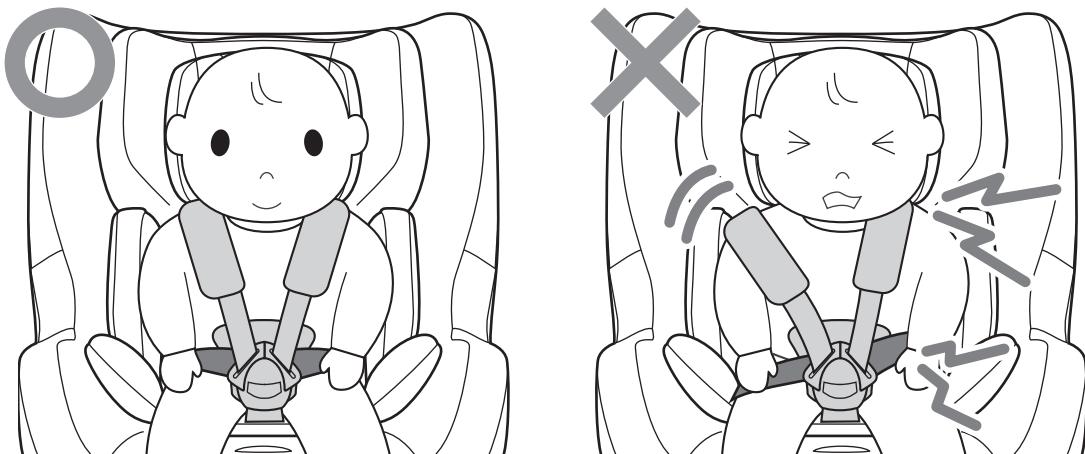
肩ベルトが強く締まりすぎるおそれがありますので、アジャスターべルトを、勢いよく引っ張らないでください。

強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、  
**△危険** 強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず、適切な強さで締め付けるようにしてください。

## 09

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

肩ベルト（肩ベルトパッド）が、お子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の位置を通るよう、必ず確認して、正しくなるように調節してください。

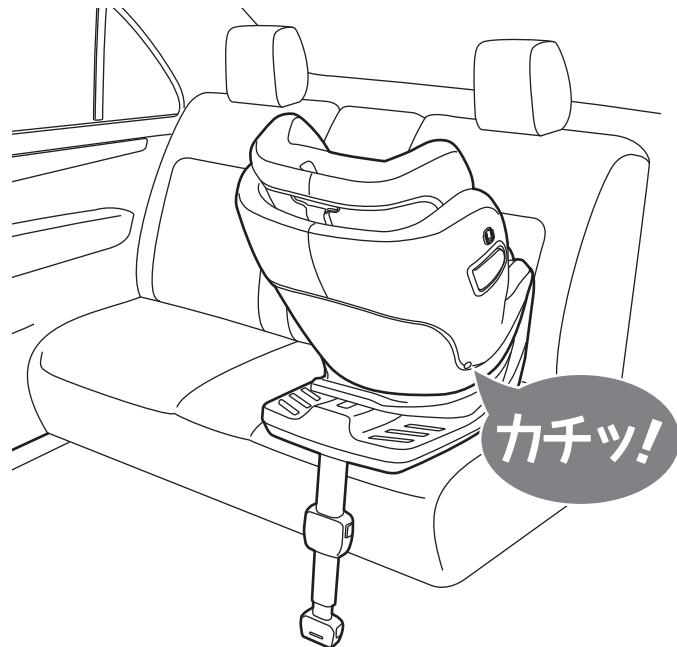


ハーネスは必ず正しい状態で装着してください。肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていたりすると、事故や衝撃を受け

**△危険** た際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか、通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスは必ず正しい状態にして、使用中もハーネスがずれたりしていないか適宜確認するようにしてください。

## 10

シェルを後ろ向きに回転させて、固定します。カチッと音がしてシェルが後ろ向きで固定されるまで回転させてください。  
固定されたら、シェルを軽く動かして、回転しないことを確認します。



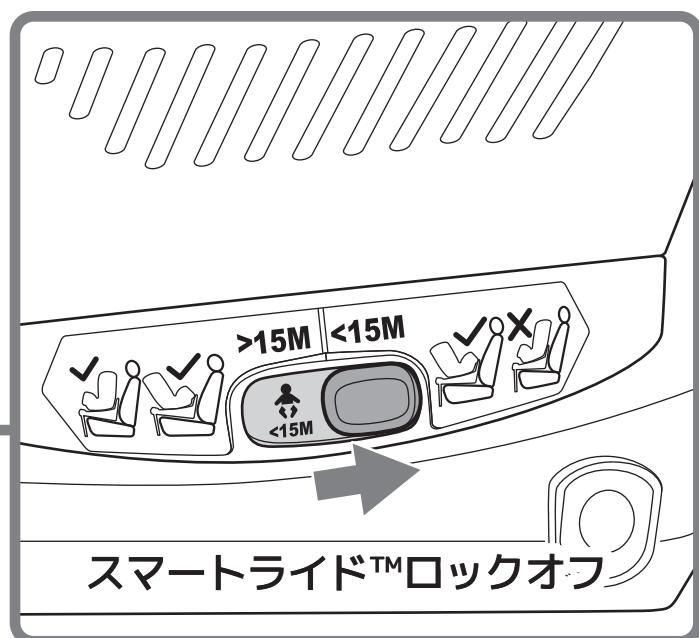
参照 P70-73 ▶前向きから後ろ向きに回転させる▶ 01-06

シェルを確実に固定すること。シェルを後ろ向きで確実に固定さ

**△危険** せて使用してください。固定されていないと、使用中にシェルが回転して思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 11

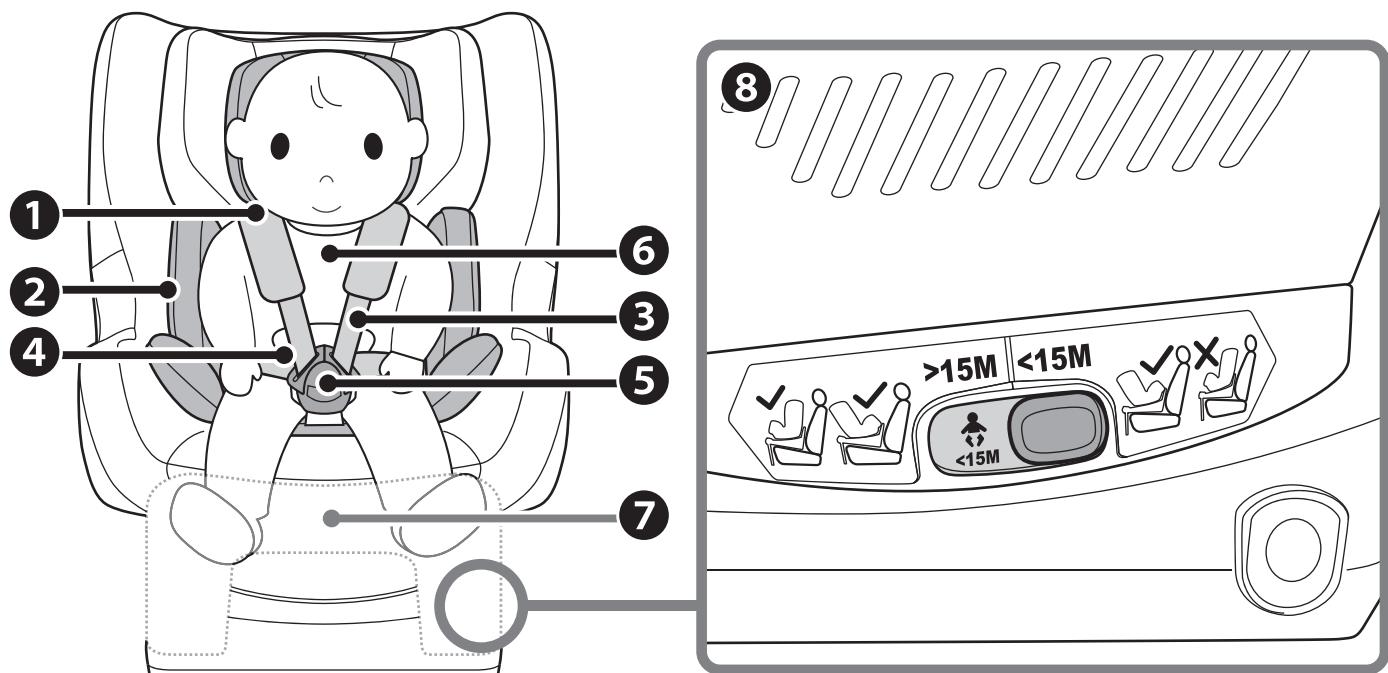
お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ生後 15 カ月以上になるまではスマートライド™ロックオフを操作して「< 15M」に切り替えてください。



## 12

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっているか確認してください。

正しい状態になっていない部分をやり直して、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



### チェックリスト

- ① 肩ベルトの高さが適正に調節されていること
- ② ソフトパッドが正しく取り付けられていること（生後 6 カ月頃まで体格が合う場合はすべてのソフトパッドを取り付けての使用を推奨します）
- ③ ハーネスが適正に締め付けられていること
- ④ ハーネスにねじれがないこと
  - 肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること
  - 腰ベルトがお子さまの骨盤の位置を通っていること
- ⑤ バックルがしっかりと留まっていること
- ⑥ お子さまが正しい姿勢で座っていること
- ⑦ リクライニングが適切に調節されていること
- ⑧ お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ生後 15 カ月以上になるまでは、スマートライド™ロックオフを「< 15M」にしてご使用ください。

## 13

ISOFIX コネクターのインジケーター（左右）と、サポートレッグのインジケーターが、すべて完全に緑色になっていることを確認してください。

## 14

お子さまを降ろすには、降ろしやすい方向にシェルを回転させます。バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。お子さまを降ろした後、バックルを留めておいてください。

**お子さまを勢いよく降ろさないようにしてください。勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトに引っかかるないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。**

## 15

お子さまを降ろした後、シェルは、後ろ向きに戻して固定しておいてください。

### 前向きで使用する

お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ月齢 15 カ月以上になったら、シェルを前向きにして使用することができます。

体重 18kg 以下、身長 105cm 以下の間、本製品を使用することができます。

**月齢が 15 カ月を超えても、お子さまの身長が 76cm 以上になる  
までは、後ろ向きでのみ使用可能です。前向きでは絶対に使用しないでください。**

### ポイント！

お子さまの体格が合えば、本製品の使用可能な期間（体重 18kg 以下、身長 105cm 以下の間）、後ろ向きの状態でも使用することができます。

## 準備

### 01

本製品が正しく自動車の座席に取り付けられていることを確認してください。

参照 P62 ▶取り付けかた▶ 13

## 02

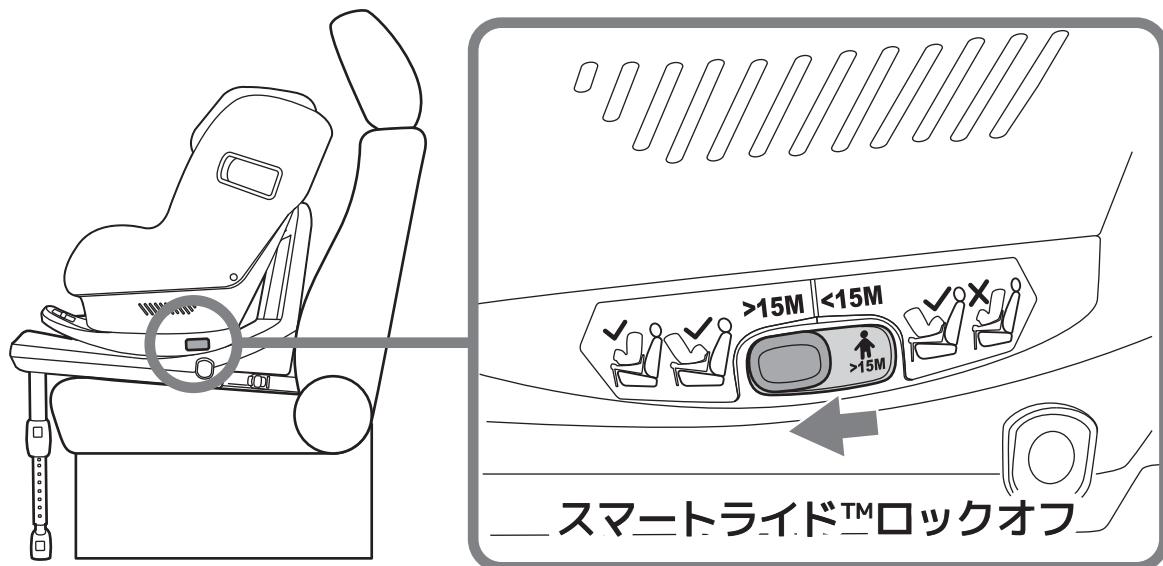
前向きで使用する場合は、ソフトパッドは、すべて取り外してください。

参照

P47-51 ▶ソフトパッドの使いかた

## 03

スマートライド™ロックオフを「> 15M」に切り替えてください。



ポイント！

スマートライド™ロックオフが「< 15M」に調節されていると、シェルを前向きに回転させることができません。

## 04

左右の座席に取り付けた場合は、ドア側のサイドインパクトシールドを開きます。本製品の隣の座席に他の乗員が座る場合には、他の乗員側のサイドインパクトシールドは閉じておきます。

参照

P53 ▶サイドインパクトシールド▶閉じかた▶01

# お子さまを乗せる

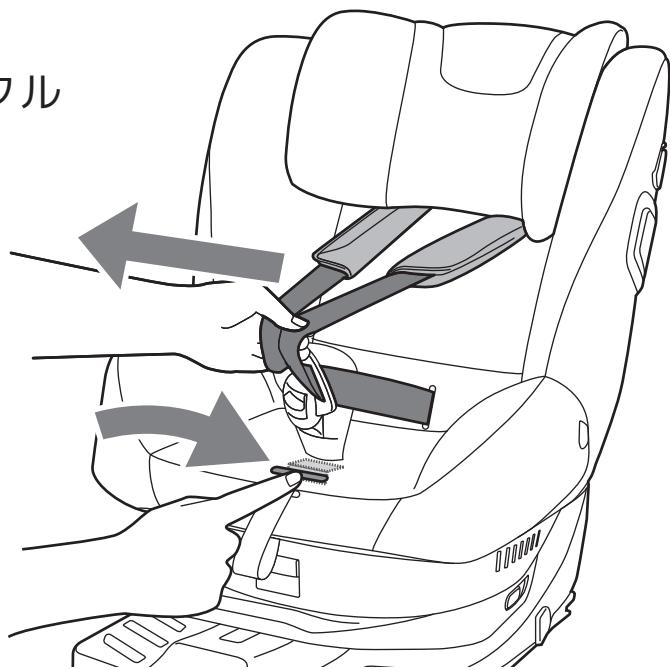
## 01

必要に応じて、お子さまを乗せやすい方向にシェルを回転させてください。

参照 P66-76 ▶シェルの回転

## 02

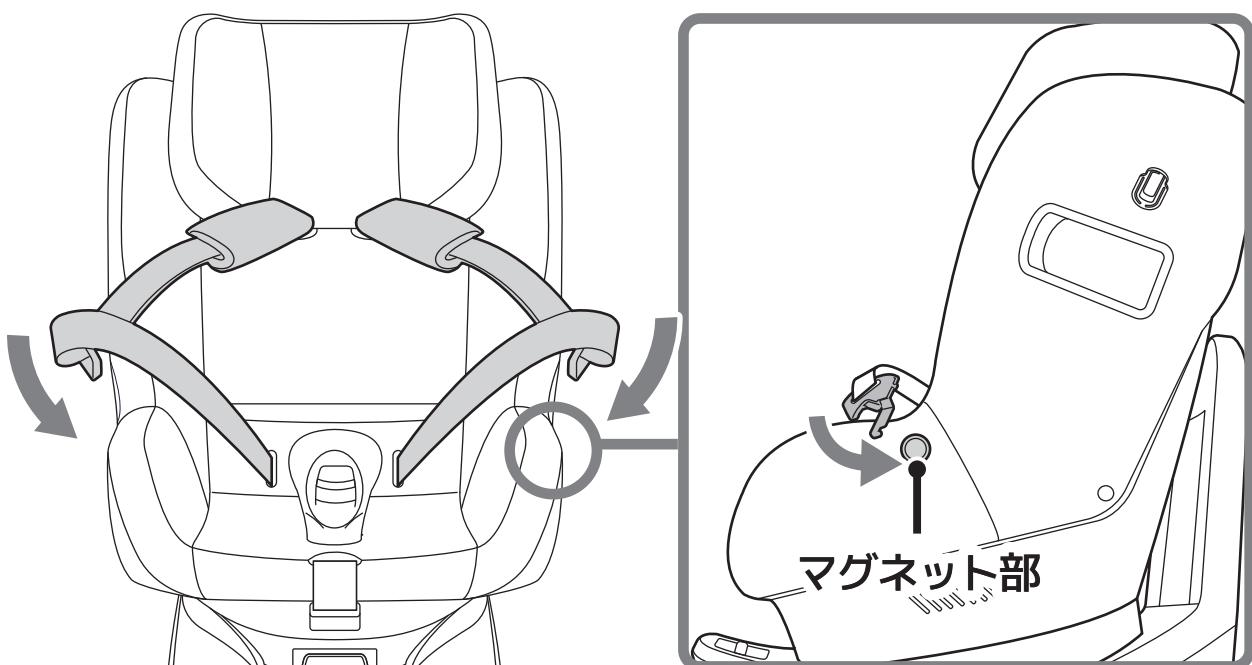
あらかじめ肩ベルトをゆるめ、バックルを外しておきます。



参照 P45 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

## 03

お子さまが、受けバックルや差込みタングの上に座らないよう、股ベルト（受けバックル）を前側に倒し、左右の差込みタングを外側に出して、それぞれシェル側面のマグネット部に留めておきます。



マグネット部には、磁石が用いられています。電子医療機器を装着された方には影響を与える可能性がありますので、ご注意ください。

マグネット部には、磁気に影響を受けるもの（プリペイドカード、磁気テープ、磁気カード、切符）を近づけないでください。記憶情報が破壊されたり、磁化されて使用できなくなるおそれがあります。

## 04

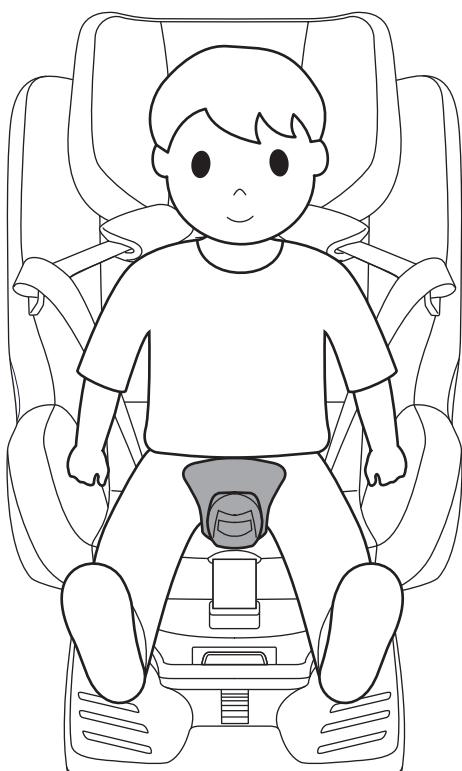
お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。

### POINT！

受けバックルを操作すると、サイドインパクトシールドが開く場合があります。都度サイドインパクトシールドを閉じても、受けバックルの操作次第では、開くことがありますので、肩ベルトなどが調節されて、お子さまが完全にハーネスで固定されるまでは、開いたままで操作を続けてください。

参照

P53 ▶サイドインパクトシールド▶閉じかた  
▶01



### POINT！

お子さまは楽な姿勢で座させてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

⚠️ **危険**

リクライニングを調節するなどして、お子さまを正しい姿勢で乗せてください。誤った姿勢で乗っていると、お子さまを正しく固定できず、事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

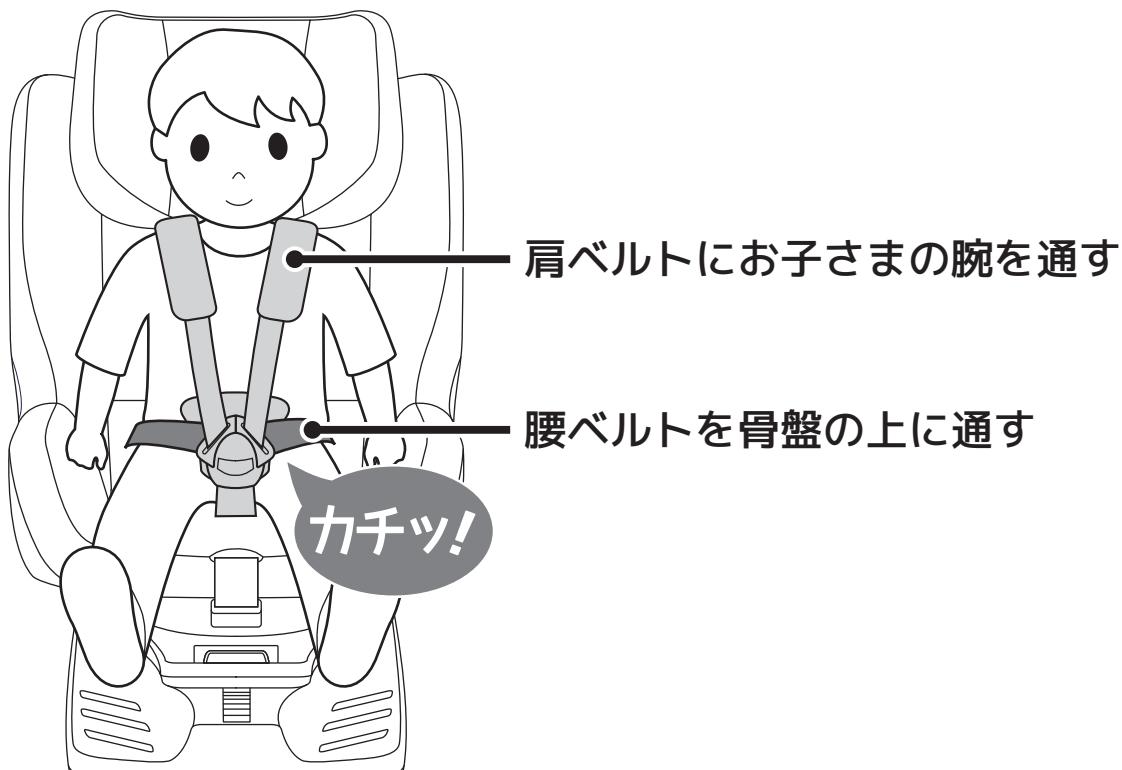
参照 P77-78 ▶リクライニングの使いかた

## 05

肩ベルトが十分にゆるんでいることを確認します。

左右の差込みタングをマグネット部から外して、肩ベルトにお子さまの腕を通します。

ハーネスにねじれがないことを確認して、肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、腰ベルトがお子さまの骨盤の位置を通るようにして、カチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。



腰ベルトは、お子さまの骨盤の位置を通るようにしてください。

⚠️ **危険** 腹部や、太ももの位置に腰ベルトが通っていると、事故や衝撃を受けた際に大変危険です。

⚠️ **警告**

ハーネスをねじらないようしてください。ハーネスにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルトにねじれがないことを確認してください。



## ポイント！

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、肩ベルトをさらにゆるめてからバックルを留めます。

次に記載の、肩ベルトの高さの調節をおこなうと、さらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

## 06

肩ベルトの高さを確認、調節します。

ハーネスが締め付けられている場合は、さらに肩ベルトをゆるめてください。

参照 P45 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

## 07

肩ベルトは、お子さまの肩の位置と水平になる高さに調節してください。前向き使用時には、必ずお子さまの肩の位置と水平になるようにします。



参照 P46-47 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節



## ポイント！

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適正な高さになっているかを使用毎に確認するようにしてください。

お子さまの成長に合わせて、適宜調節してください。

## ⚠ 危険

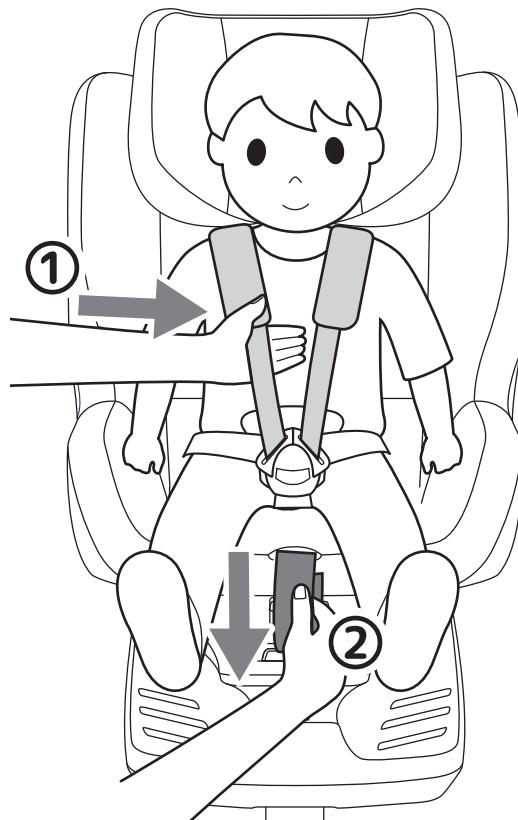
肩ベルトの高さは適切に調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

## ⚠ 注意

肩ベルトの高さ調節は、お子さまに負担がかからないように、やさしく、ゆっくりと操作してください。

## 08

肩ベルトとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターべルトをゆっくりと引いて、締めつけます。  
差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで締め付けるようにします。



### POINT!

締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、肩ベルトをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P45 ▶肩ベルトの長さ調節▶ゆるめかた▶01

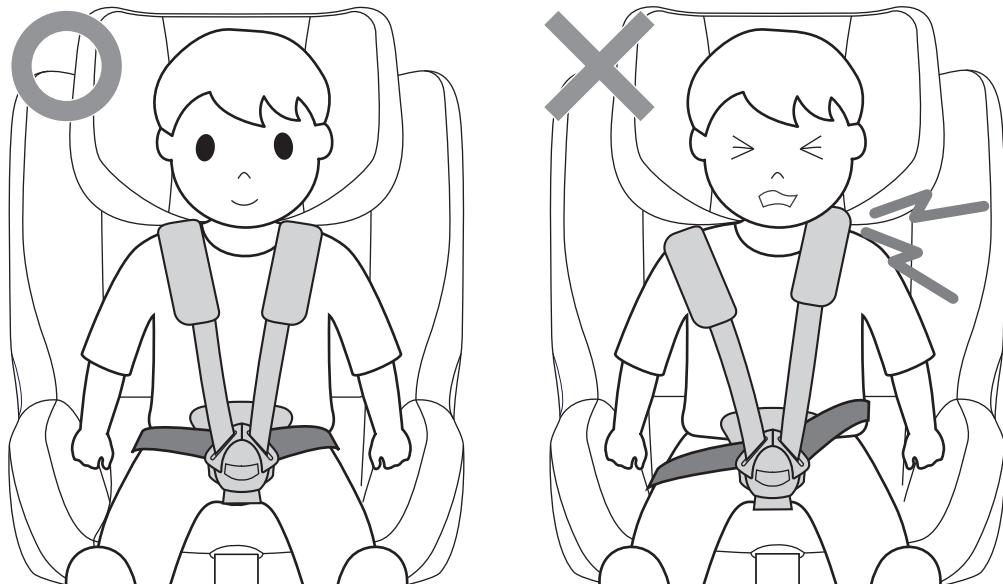
肩ベルトが強く締まりすぎるおそれがありますので、アジャスターべルトを、勢いよく引っ張らないでください。

強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、  
**△危険** 強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず、適切な強さで締め付けるようにしてください。

## 09

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

肩ベルト（肩ベルトパッド）が、お子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の位置を通り、必ず確認して、正しくなるように調節してください。



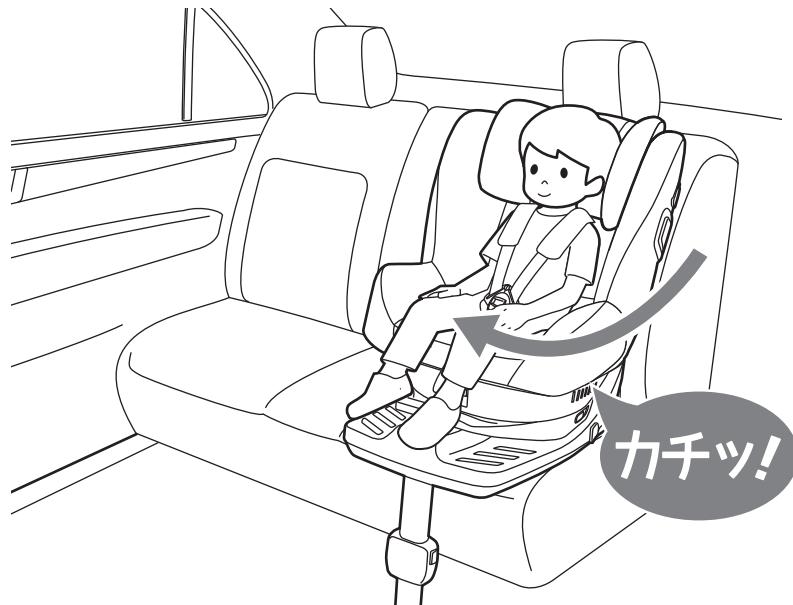
ハーネスは必ず正しい状態で装着してください。肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていたりすると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか、通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。

**△危険** ハーネスは必ず正しい状態にして、使用中もハーネスがずれたりしていないか適宜確認するようにしてください。

## 10

シェルを前向きに回転させて、固定します。カチッと音がしてシェルが前向きで固定されるまで回転させてください。

固定されたら、シェルを軽く動かして、回転しないことを確認します。



### ポイント！

前向きに回転できない場合は、スマートライド™ロックオフの状態を確認してください。

参照 P90 ▶前向きで使用する▶準備▶ 03

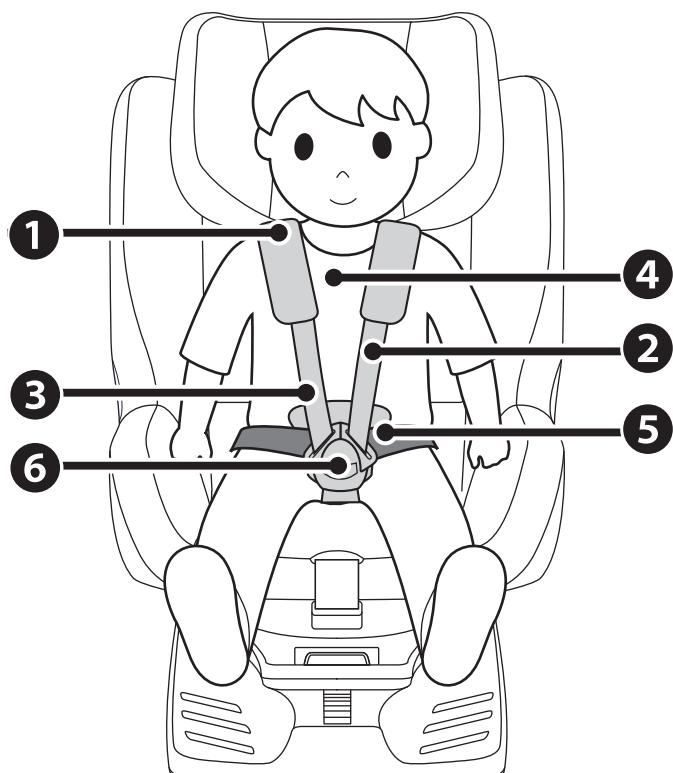
### 危険

シェルを確実に固定すること。固定されていないと、使用中にシェルが回転して思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 11

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっているか確認してください。

正しい状態になっていない部分をやり直して、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



### チェックリスト

- ①肩ベルトの高さが適正に調節されていること
- ②ハーネスが適正に締め付けられていること
- ③ハーネスにねじれがないこと
- ④お子さまが正しい姿勢で座っていること  
  ソフトパッドがすべて取り外されていること
- ⑤肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること  
  腰ベルトがお子さまの骨盤の位置を通っていること
- ⑥バックルがしっかりと留まっていること

## 12

ISOFIX コネクターのインジケーター（左右）と、サポートレッグのインジケーターが、すべて完全に緑色になっていることを確認してください。

## 13

お子さまには、バックルを触らないよう言い聞かせてください。



バックルはお子さまには外しにくいよう、操作がかたために設計されていますが、お子さまが成長すると、自ら外してしまうおそれがあります。

### △危険

本製品の使用中は、乗降り時を除いてバックルに触れないよう、バックルを外さないよう、普段から言い聞かせるようにしてください。

## 14

お子さまを降ろすには、降ろしやすい方向にシェルを回転させます。

バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

お子さまを降ろした後、バックルを留めておいてください。

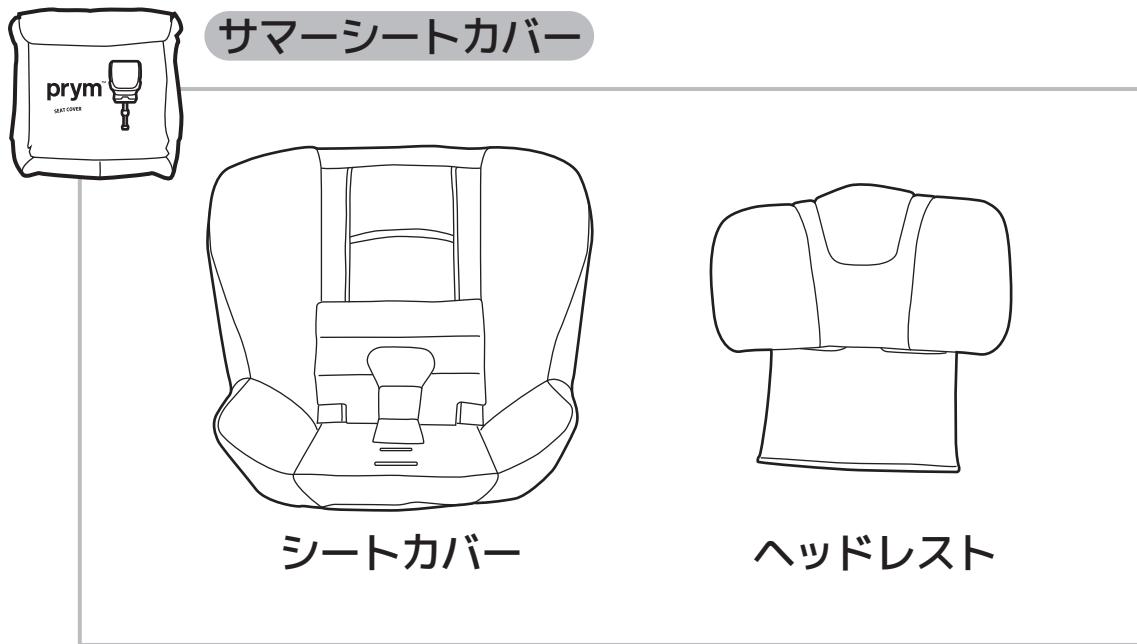
お子さまを勢いよく降ろさないようにしてください。勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトに引っかかるないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

### △警告

お子さまを降ろした後、シェルは、後ろ向き、前向きのいずれかで固定しておいてください。

# サマーシート

本製品には、夏場に使用する通気性を高めたサマーシートカバーが付属しています。また、洗い替えに使用可能なヘッドレストのカバー（予備）も付属しています。



サマーシートへの着せ替え、ヘッドレストのカバーの交換の操作は、製品に取り付けられているシートカバー、ヘッドレストのカバーの取り付け、取り外しと同様です。「お手入れのしかた」を参照してください。

参照 P105-113 ▶シートカバーの取り外し

# お手入れのしかた

本製品では、お手入れのため、ソフトパッド、シートカバー、肩ベルトパッドを取り外すことができます。

サマーシートも同様にしてお手入れしてください。

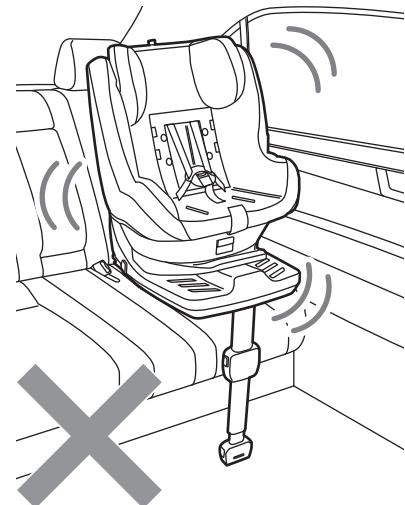
お手入れ後は、取り外したシートカバー、肩ベルトパッドを必ず元に戻してください。ソフトパッドは、お子さまの成長に応じて、適切に調節して取り付けなおしてください。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

## 部品を取り外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外して使用しないでください。シートカバー やウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に本製品に貼られているラベルやシールも、基準により定められた安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。



## お手入れ中の本製品は、お子さまの手の届かない場所に置いておくこと

お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。お手入れ等のため、カバー類やパッド類、クッション類を外したら、取り付け直すまでの間は、お子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

また、取り外したシートカバー、肩ベルトパッド、ソフトパッドも同様にお子さまの手の届かない場所に置くようにしてください。

## 内部機構に手を加えないこと

シートカバーを取り外すと、シェルの内部機構が見える状態になります。ハーネスの機構や、その他の機構に手を加えたり、触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、カバー類を取り外したシェルには、ビニール袋を被せるなどしておいてください。

# ソフトパッド・肩ベルトパッド・シートカバー

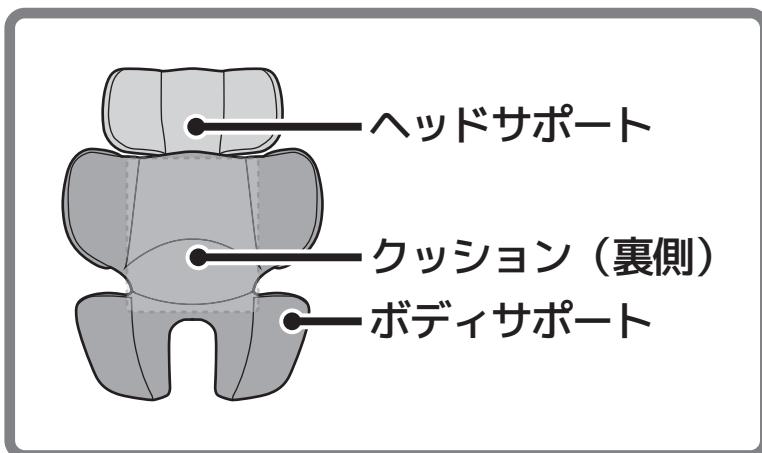
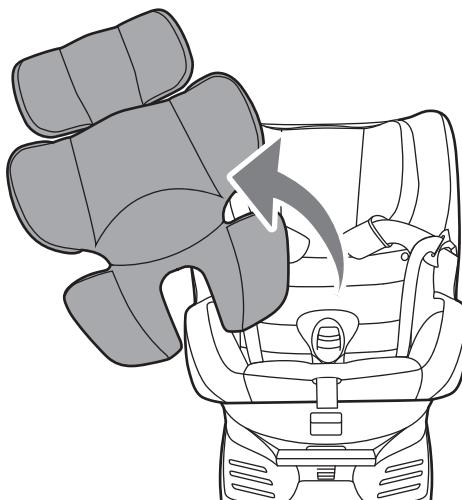
## ポイント！

取り付け直す際の参考になりますので、以下の各項目（取り外し）を行う際に、各作業をデジタルカメラや、携帯電話、スマートフォンなどで写真を撮っておくと、後から操作が確認できて便利です。

## ソフトパッドの取り外し

### 01

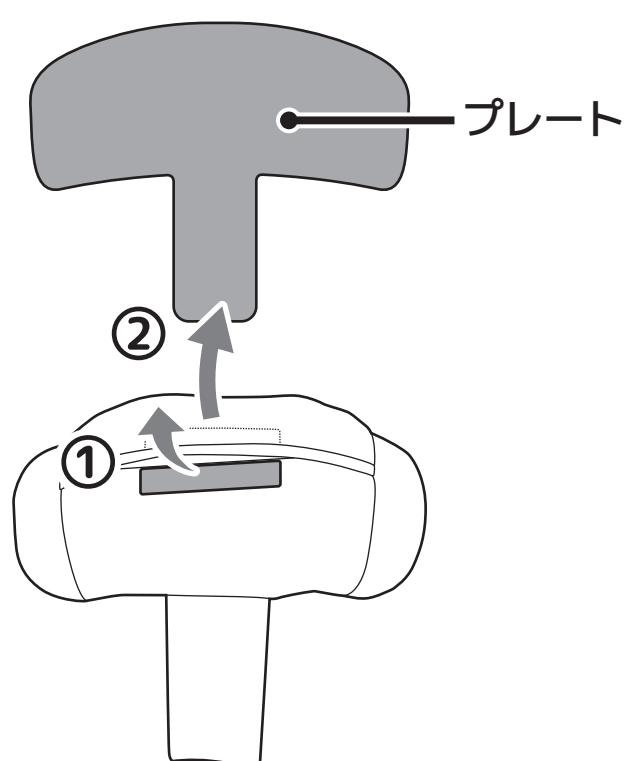
ソフトパッドを取り付けて使用している場合は、ソフトパッドを取り外してください。



参照 P47-51 ▶ソフトパッドの使いかた

### 02

ヘッドサポートをボディサポートから外して、①裏側の面ファスナーを外し、②中のプレートを取り外します。



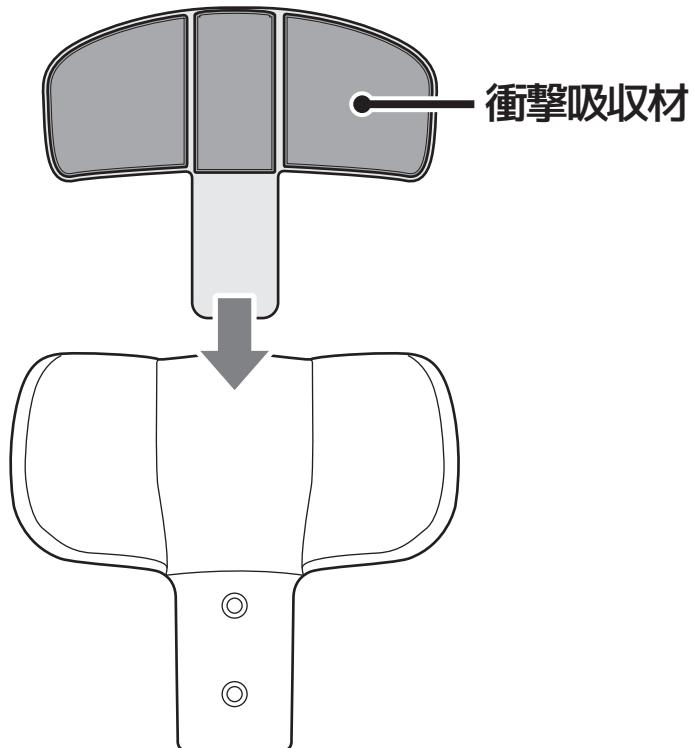


プレートは、洗濯できません。ヘッドサポートを洗濯する場合は、プレートを取り外してください。

## 03

プレートには向きがあります。衝撃吸収材の貼ってある側を表側（お子さまの頭部側）にして、ヘッドサポートに取り付けてください。

プレートを取り外した状態のままでヘッドサポートを使用しないでください。



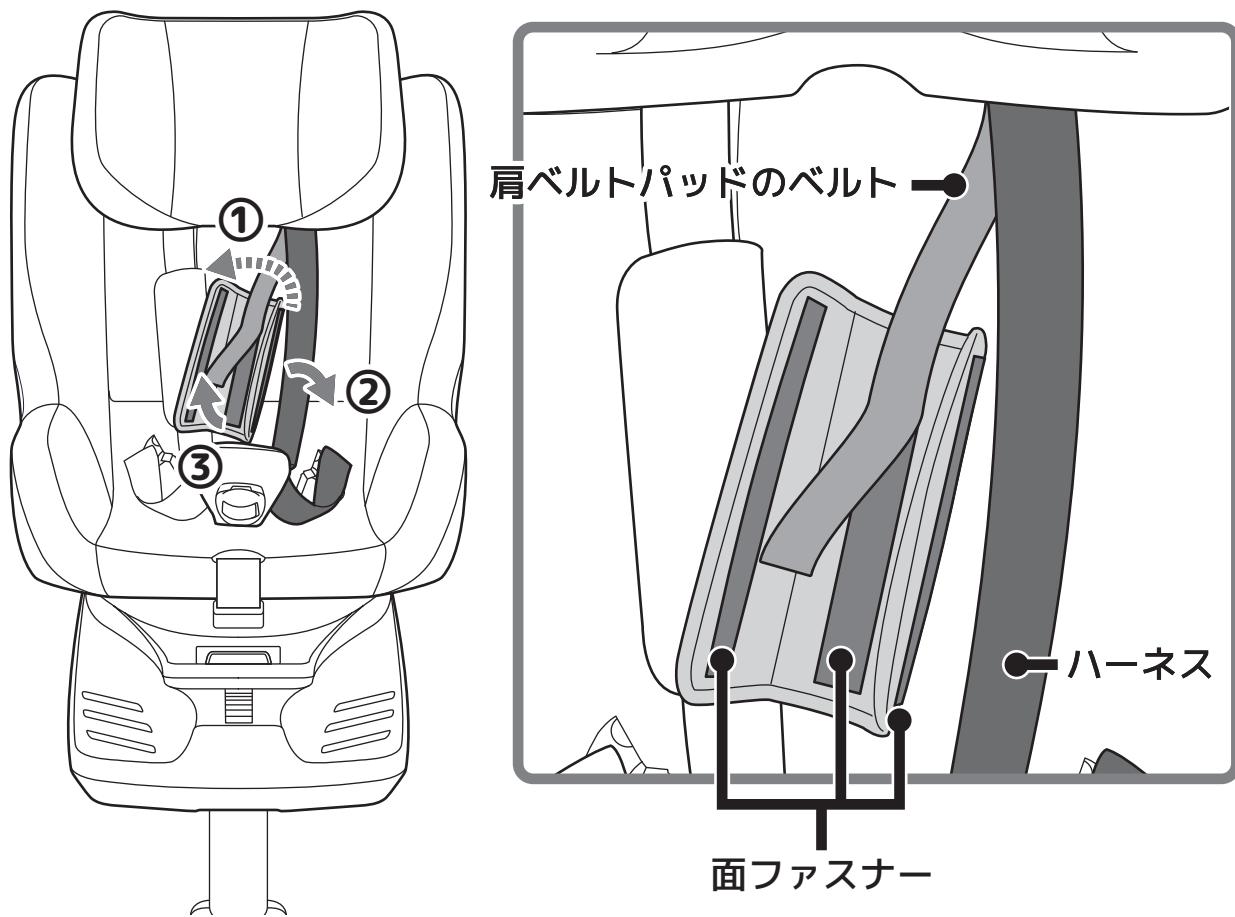
プレートに貼り付けられている衝撃吸収材を外さないでください。

# 肩ベルトパッドの取り外し

## 01

バックルを外し、①肩ベルトパッドの面ファスナーを開き、②ハーネスを取り外します。

③肩ベルトパッドのベルトの面ファスナーを外して、肩ベルトパッドを取り外します。



### ポイント！

肩ベルトパッドは、ハーネスには固定されていません。肩ベルトパッドのベルトに固定されています。肩ベルトパッドの上部分では、ハーネスは肩ベルトパッドのベルトの上に重ねられています。

# シートカバーの取り外し

## 01

シェルの左右でシートカバーを留めているホックボタンと溝にはめられているプラスチックのプレートを外します。



## 02

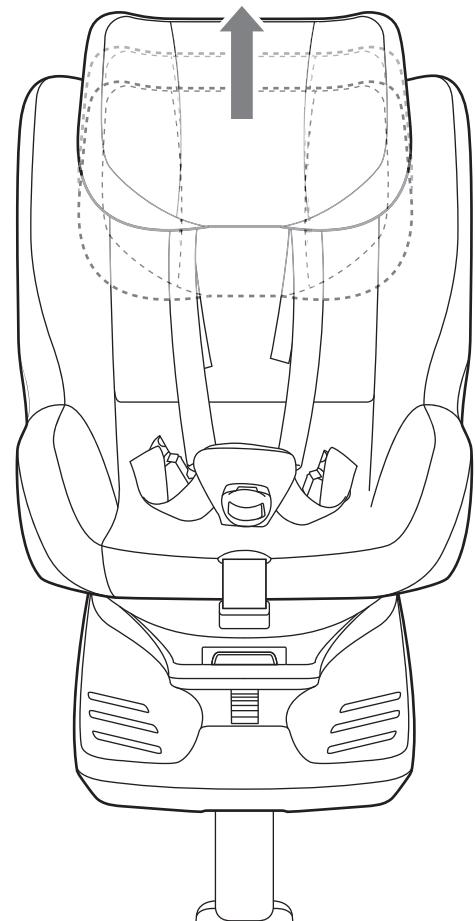
ヘッドレストを最も高い位置に調節します。

参照

P46-47 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

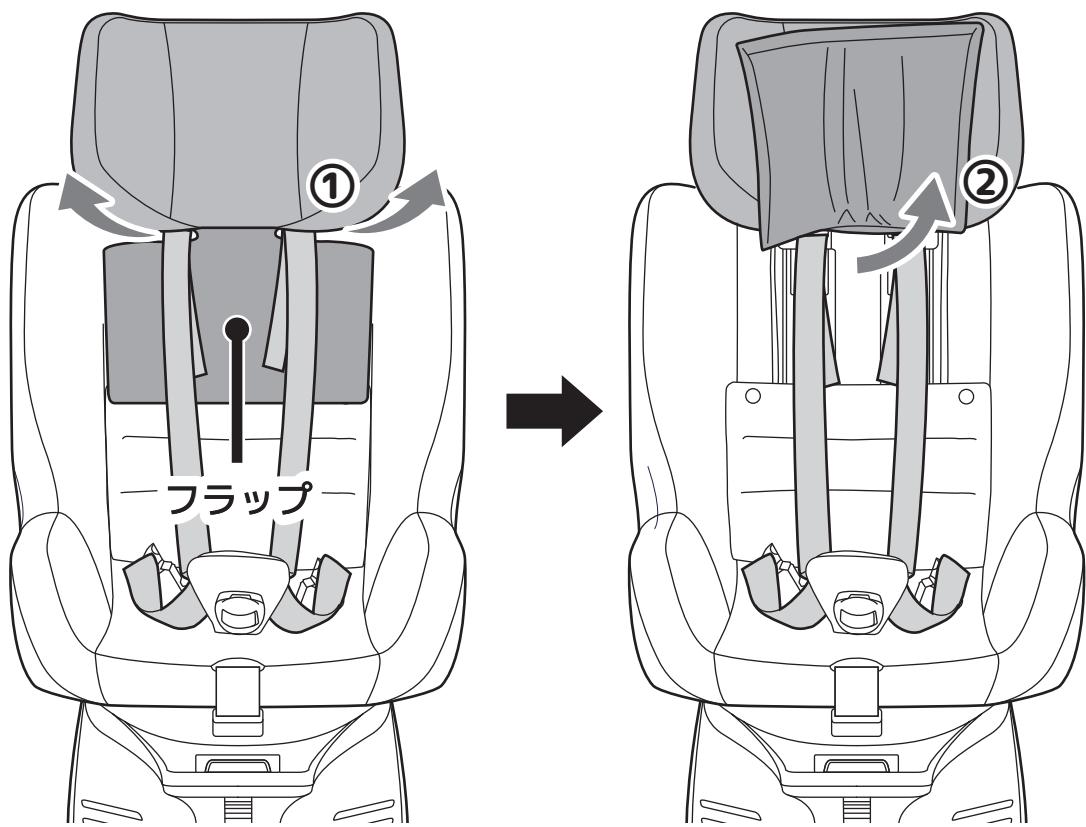


ヘッドレストを上げないと、ヘッドレストのシートカバーの取り外しが困難です。



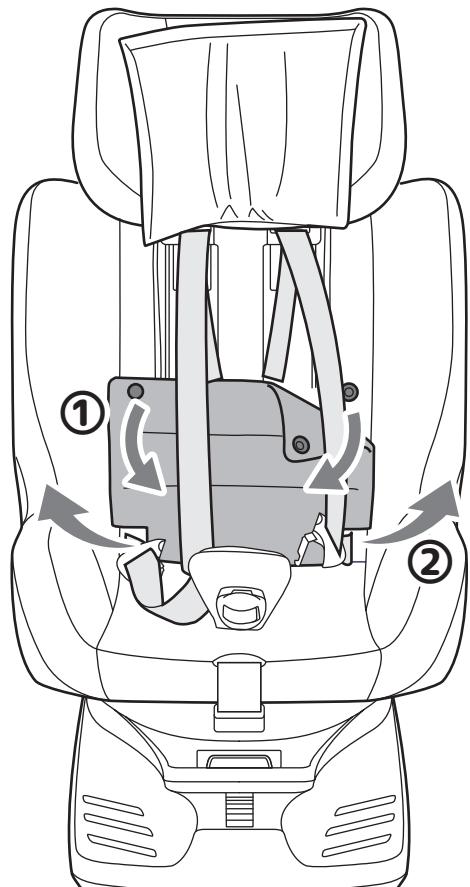
## 03

ヘッドレストの下部のフラップから、①左右の肩ベルト（肩ベルトパッドのベルト）を抜いて、②プラップをめくり上げます。



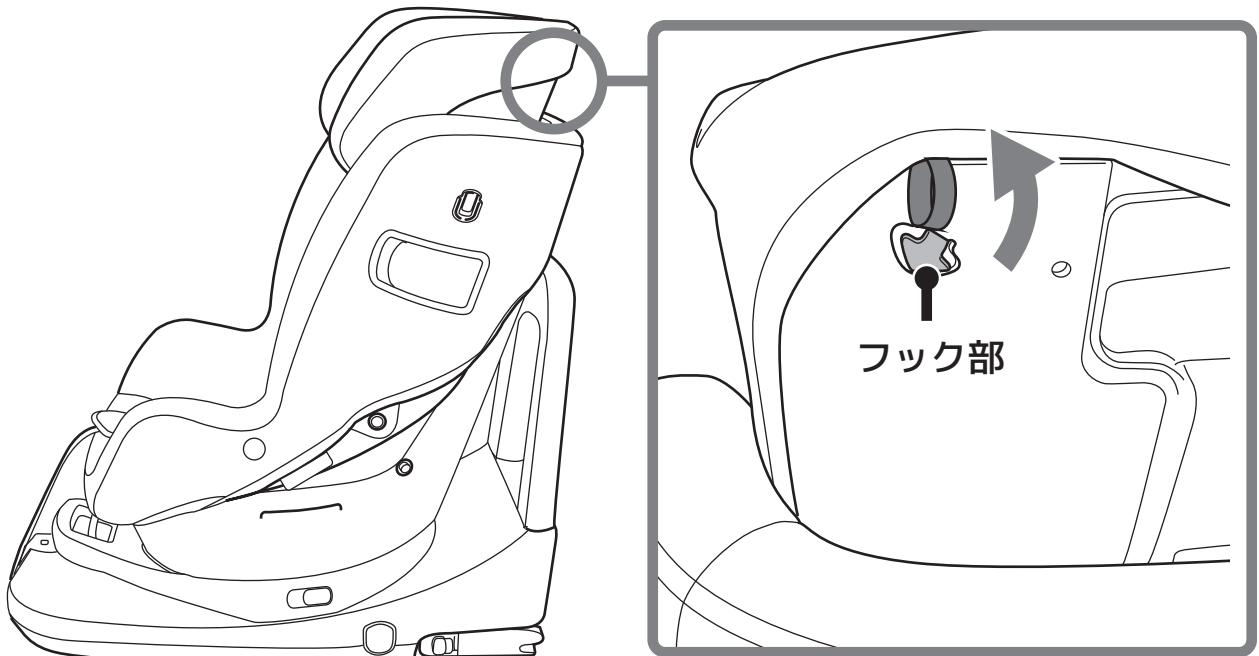
## 04

①シートカバーの背中部分を留めている左右のホックボタンを外し、②腰ベルトを下部のすき間部分から抜きます。



## 05

ヘッドレスト背面上部の2か所（ヘッドレストアジャストレバーの左右）のフック部に掛けられているヘッドレストのシートカバーのゴムバンドを取り外します。左右とも取り外してください。



**ポイント！**  
ヘッドレストを高い位置に調節しないと、この操作はできません。

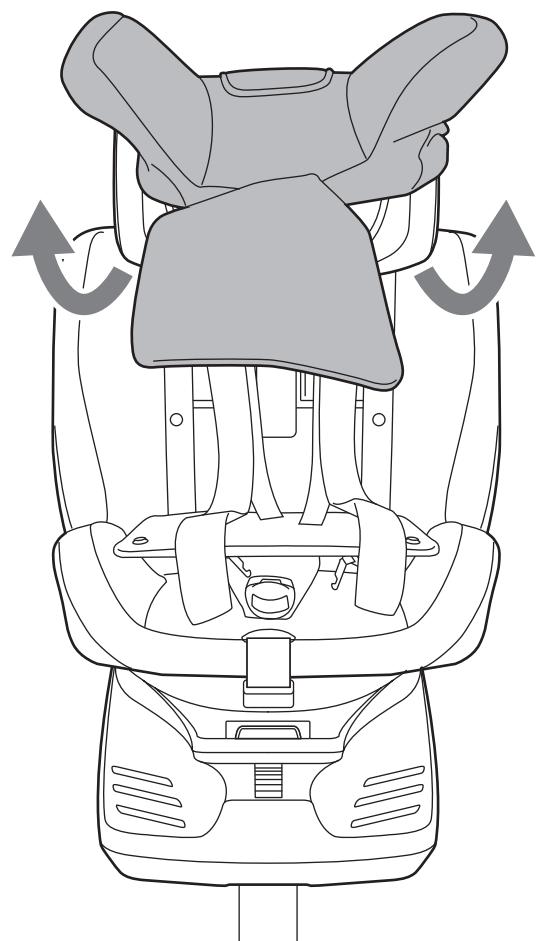
## 06

ヘッドレストのシートカバーを取り外します。

ヘッドレストに貼り付けられている緩衝吸収材（発砲ウレタン）は絶対に取り外さないでください。

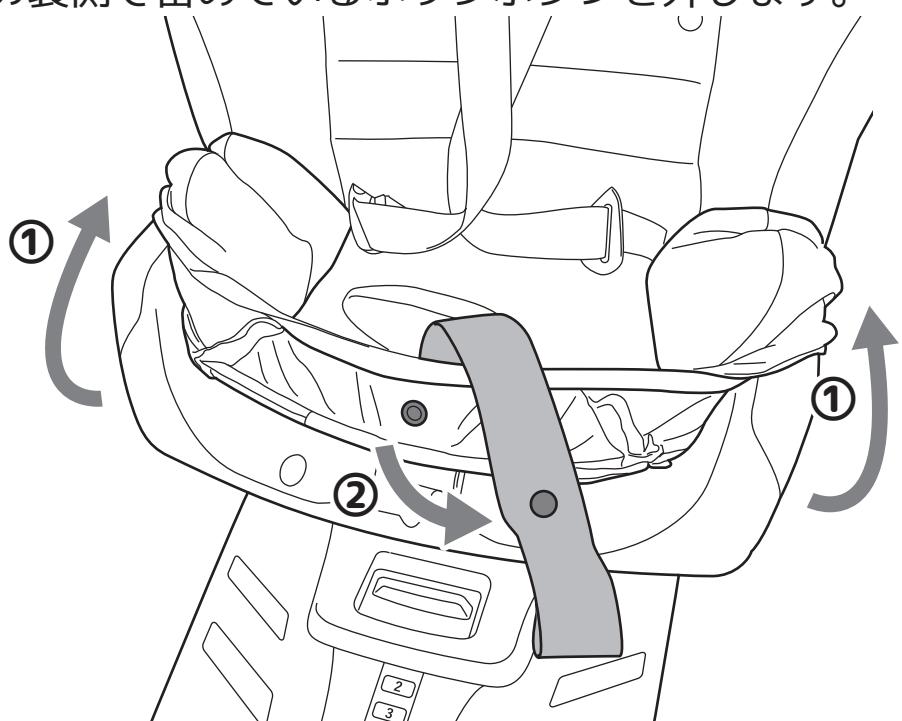


**危険** 発砲ウレタンが溶解するおそれがありますので、お手入れの際には水のみ使用し、洗浄剤は使用しないでください。



## 07

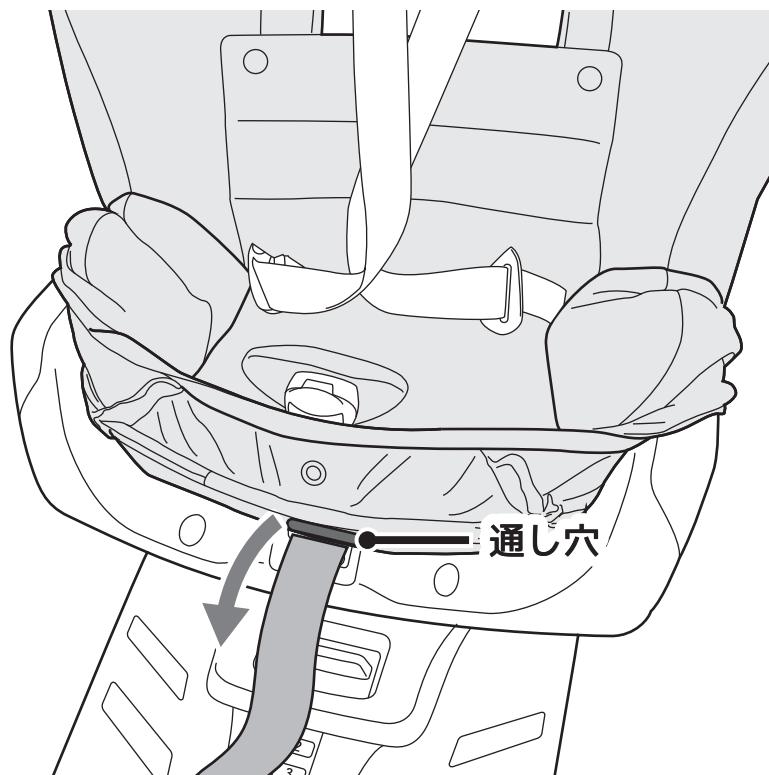
①シェルの先端部のシートカバーの生地をめくり、②アジャストベルトをシートカバーの裏側で留めているホックボタンを外します。



**ポイント！**  
アジャストベルトの先端部は、シートカバー裏側にホックボタンで留められています。シートカバーの取り付けの際には、ご注意ください。

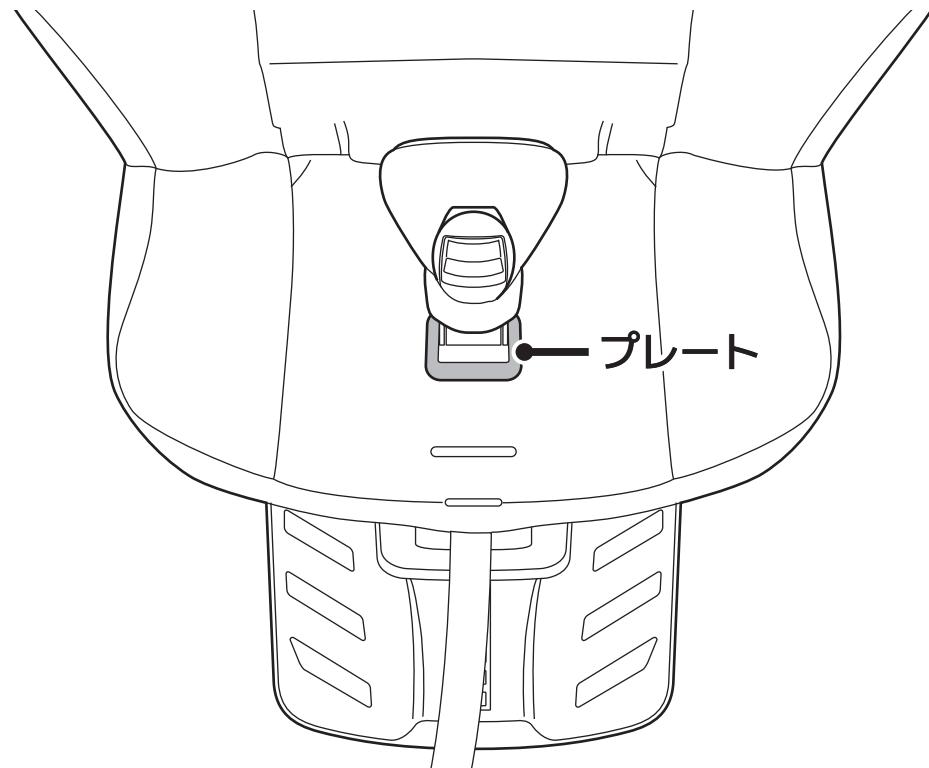
## 08

シェルカバーの先端部の通し穴から、アジャストベルトを抜き出します。

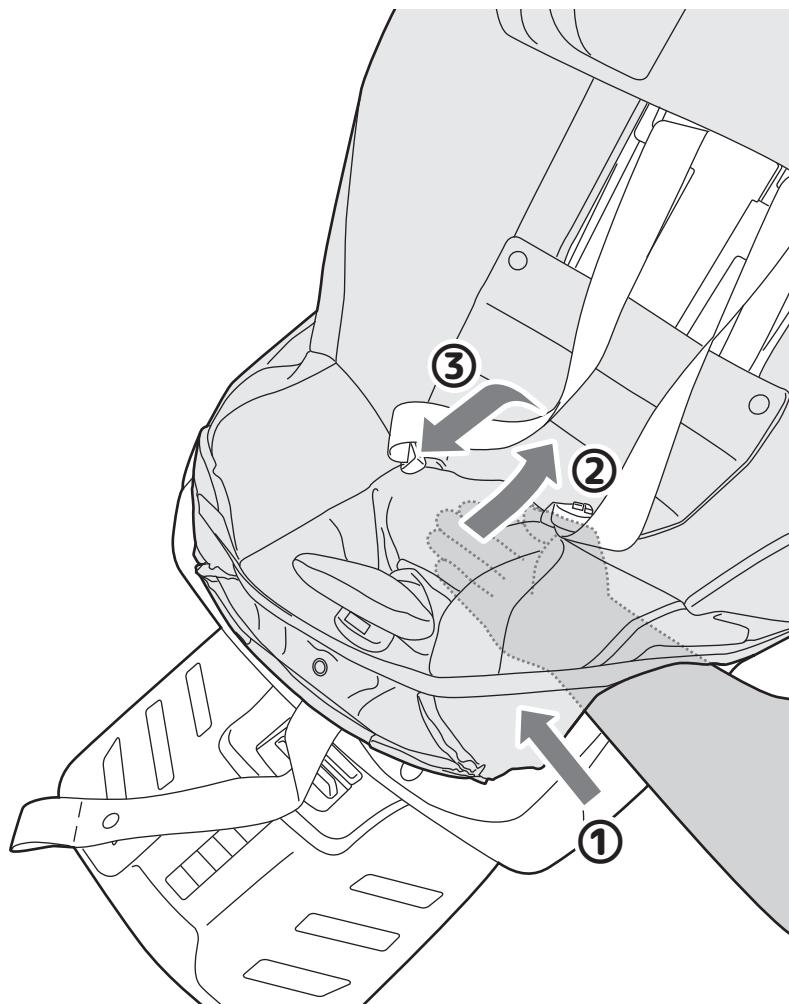


## 09

受けバックル部から、シートカバーを抜きます。



下図のように、①めくったシートカバーの部分に、慎重に手を差し入れて、②シートカバーを、後ろ側に引き上げるようにしてずらして、③シートカバーを少し上げるようにしながら、前方向に抜き取ります。

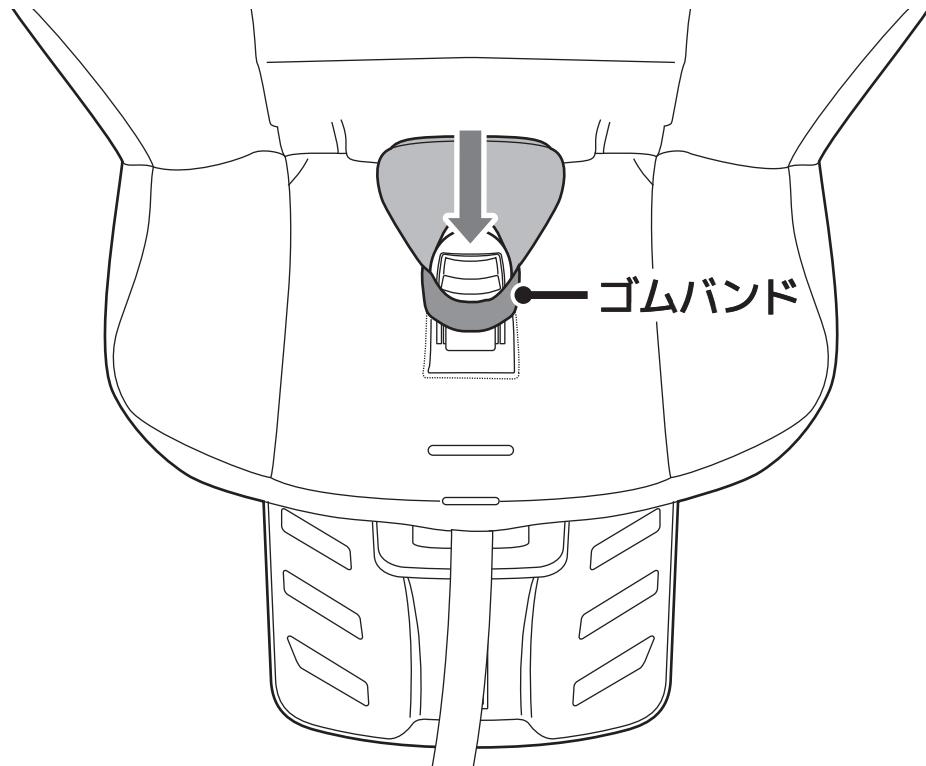




ケガをしたり、破損するおそれがあります。シェルの機構部に注意して、手を差し入れてください。

## 10

受けバックルを、シートカバーから抜きます。シートカバーの股ベルトパッド部のゴムバンドから、抜くようにします。



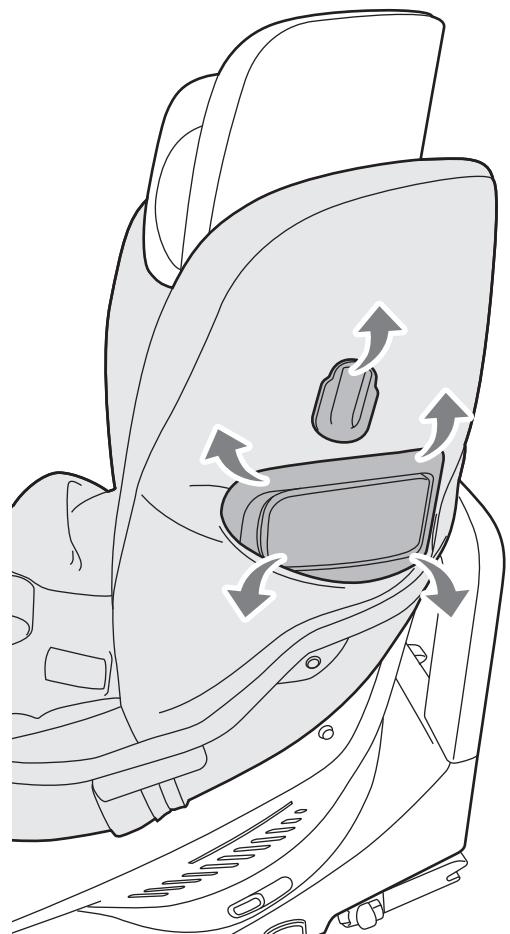
## 11

左右のサイドインパクトシールドの縁にたくし込まれているシートカバーの生地を外し、キャノピーの受けブラケットをシートカバーから抜きます。



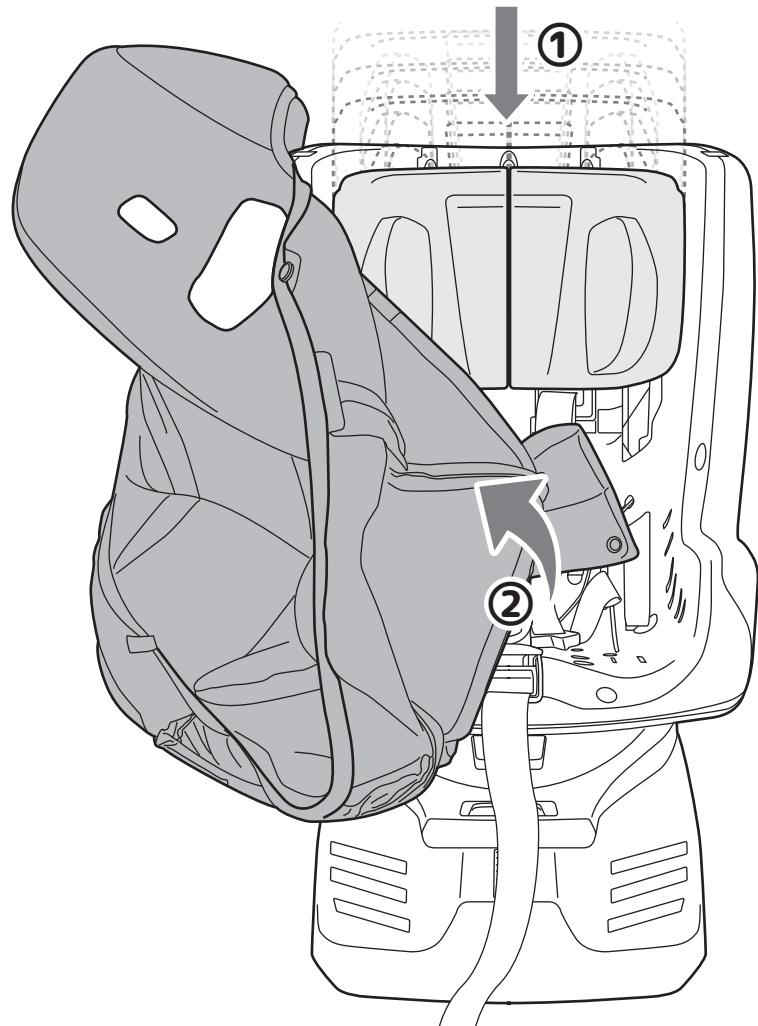
サイドインパクトシールドが開いてしまっている場合は、閉じてください。

参照 P53 ▶サイドインパクトシールド▶閉じかた  
▶01



## 12

①ヘッドレストを一番低い位置に調節して、②シートカバーをシェルからゆっくりと取り外します。引っ掛けた感じがする場合は、無理に取り外そうとせず、ハーネスやサイドインパクトシールド、シェルの構造物等に引っ掛けている場所がないか確認してください。

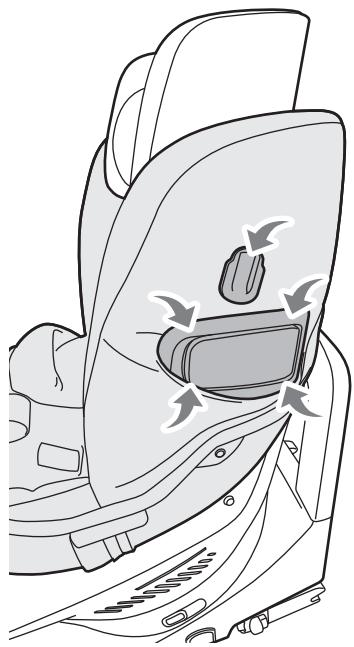


## 13

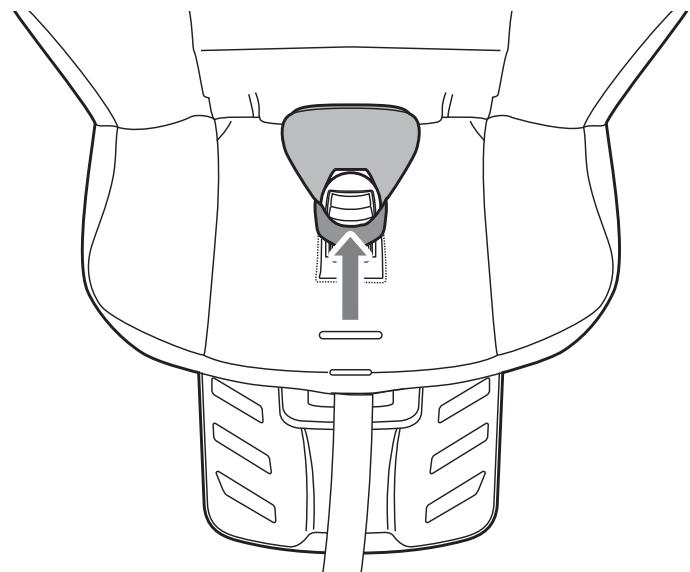
シートカバー（ヘッドレスト・シェル）の取り付けは逆の手順で行います。以下のポイントに注意して取り付けてください。

### ポイント！

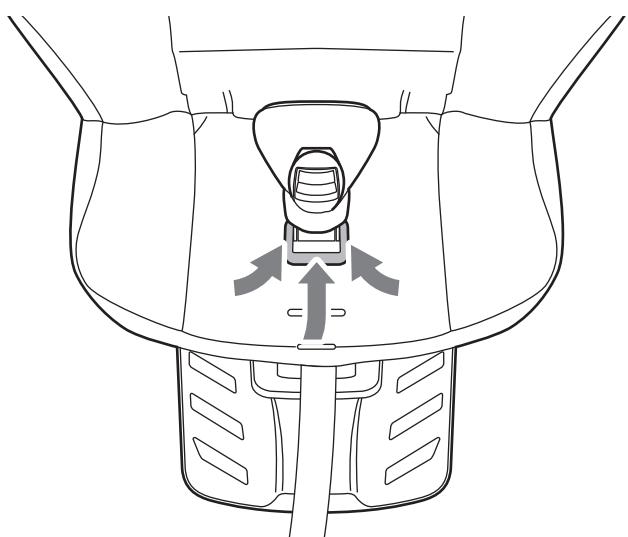
最初に、サイドインパクトシールドと幌の受けブラケットをシートカバーに通します。シートカバーの他の部分が取り付けられてしまうと、通しにくくなります。



受けバックル部の取り付けの際、先に股ベルトパッドに受けバックルを留めてください。

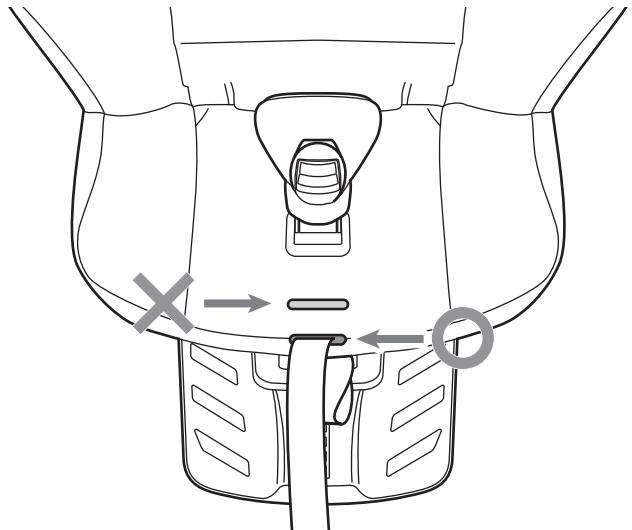


受けバックルの根元部分の取り付けは、先に前側をプレートの下に入れ、続いて横を入れながら後ろ側まで取り付けていきます。

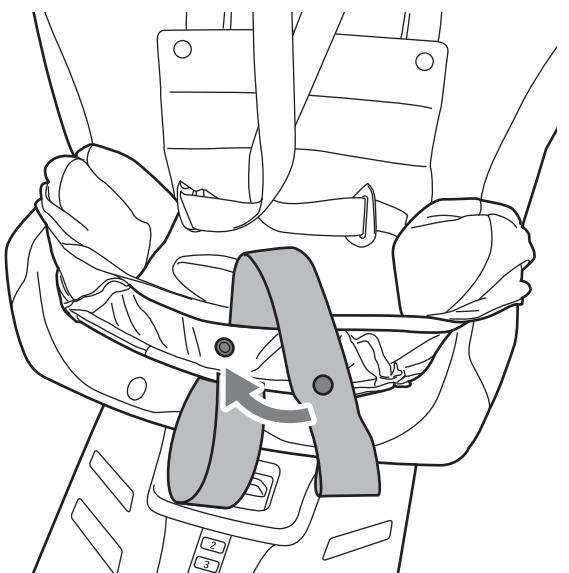


## ポイント！

アジャスターべルトの通し穴を確認してください。2つの穴がありますので、間違えないように注意してください。シートカバー前端の下側（ホックボタンに近い方）の通し穴に、アジャスターべルトを通します。



アジャスターべルト先端のホックボタンは、シートカバーの裏側で留めます。先にアジャスターべルトを留めてからシートカバーを被せてください。



## 14

肩ベルトパッドを取り付けなおします。

肩ベルトパッドを外した状態で本製品を使用してはいけません。

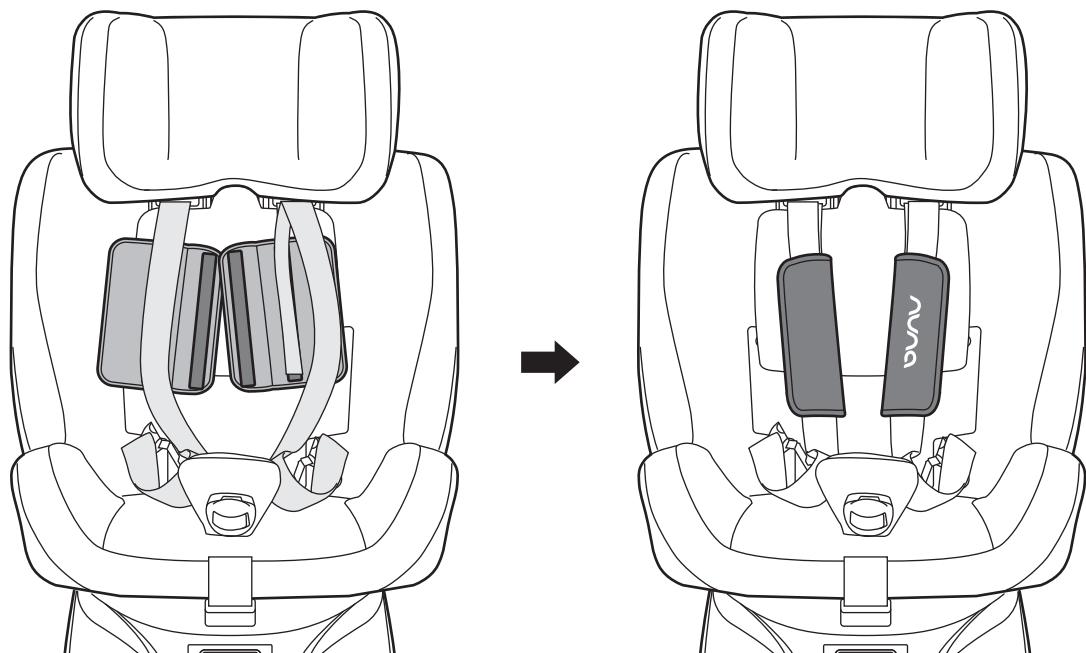
**△危険** お子さまが正しく保護されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

肩ベルトパッドは、正しい向きで取り付けてください。向きが間違っていると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

取り付け完了時は、以下の図のようになります。

### 取付完了時の状態

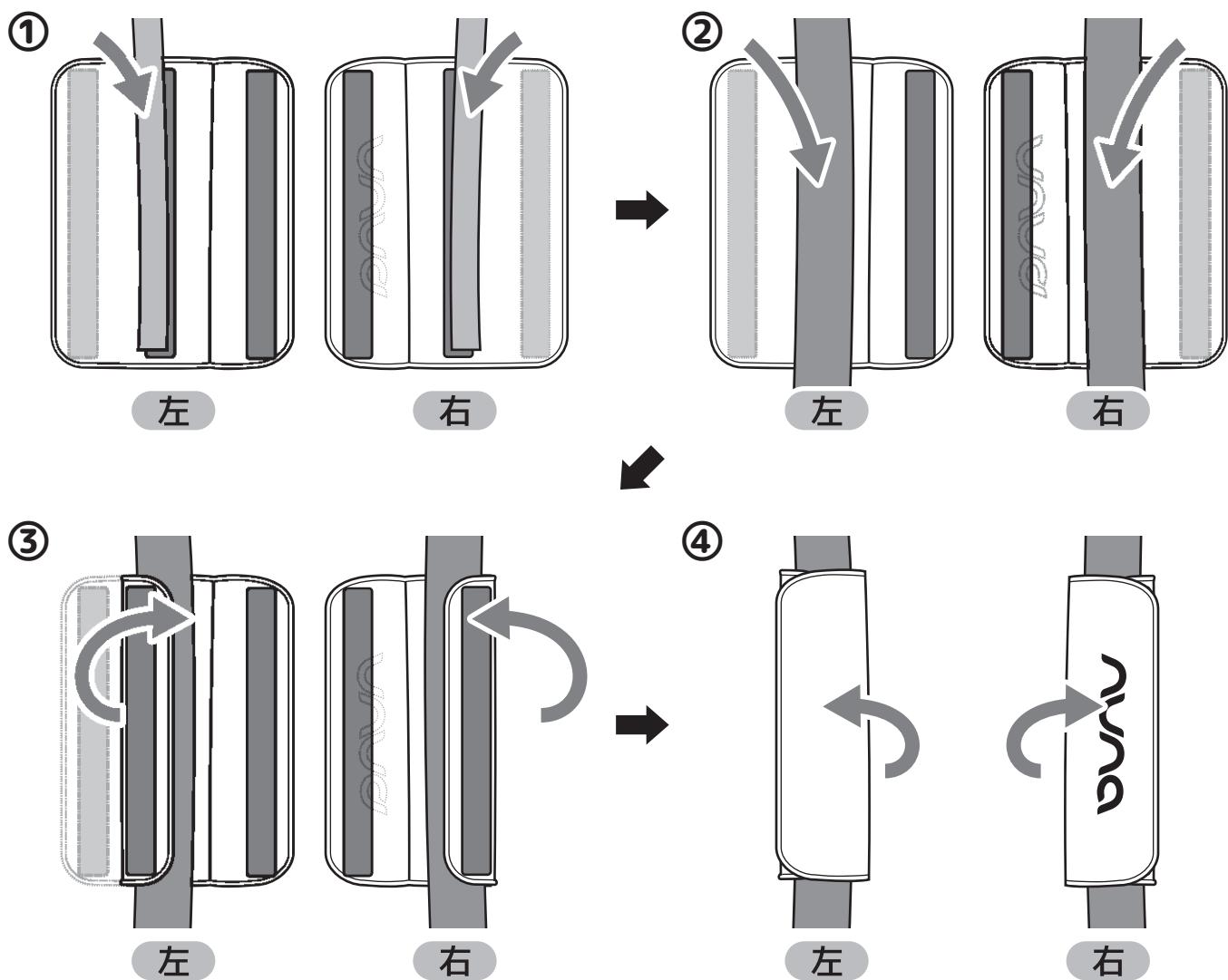
- 縫い目がない側をお子さまの首側にします。
- 滑り止めのある面をお子さまの身体側にします。



## 15

あらかじめ、肩ベルトパッド左右、前後を確認してください。

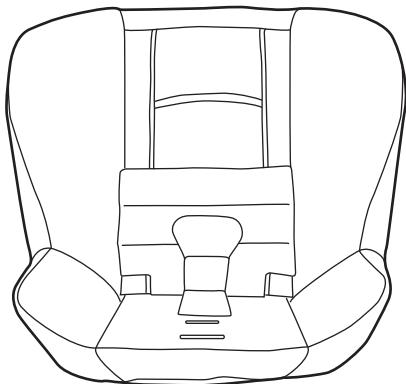
- ①肩ベルトパッド用のベルトの面ファスナーと、肩ベルトパッドの真ん中の面ファスナーをあわせて留めます。肩ベルトパッド用のベルトにねじれがないように注意してください。
- ②ハーネスにねじれがないことを確認して、肩ベルトパッド用のベルトの上に重ねるようにします。
- ③肩ベルトパッドの外側を内側に折りたたみます。肩ベルトパッドの裏側にあった面ファスナーが表側に出ます。
- ④そのまま肩ベルトパッドの内側を外側にたたんで面ファスナー同士をあわせて、肩ベルトパッドを留めます。



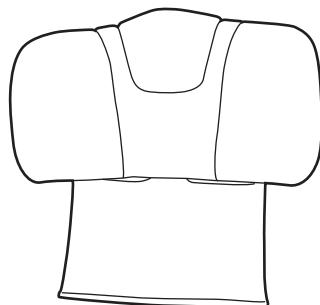
## お手入れのしかた

- シートカバー
- シートカバー（ヘッドレスト）
- 肩ベルトパッド
- ソフトパッド（ヘッドサポート）
- ソフトパッド（ボディサポート）

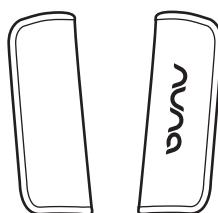
取り外した、ソフトパッド、シートカバー、ヘッドレスト、肩ベルトパッドは、以下の表示に従ってお手入れしてください。



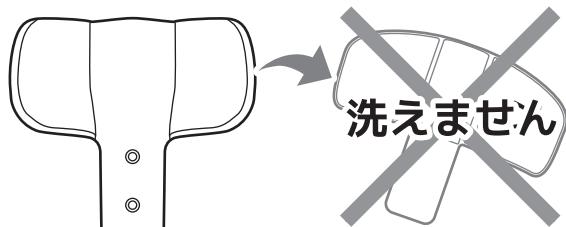
シートカバー



シートカバー  
(ヘッドサポート)

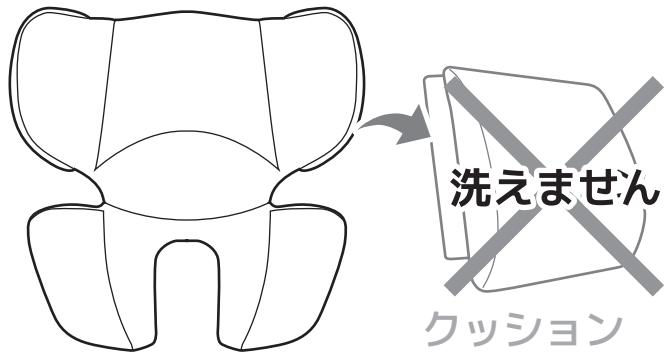


肩ベルトパッド



プレート

ヘッドサポート



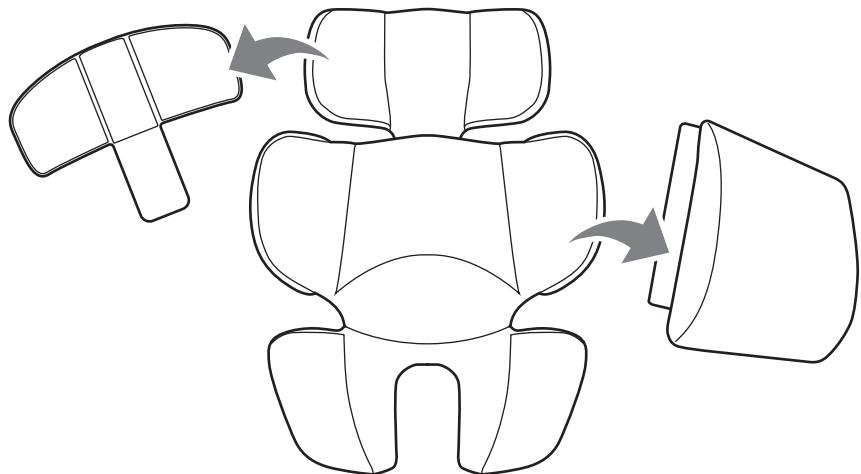
ボディサポート

クッション

指定外の方法でシートカバー、ヘッドレストのシートカバー、肩ベルトパッド、ボディサポート、ヘッドサポートを洗うと、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

⚠ 注意

ソフトパッドのクッションおよびヘッドサポートのパッドは、洗濯前に取り外してください。お手入れする場合は、変形、変質するおそれがありますので、水に浸さずにブラシで汚れを落とすか、水に浸しよく絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。



## 01

30°C以下の水で手洗いしてください。

軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。

よく乾かしてから取り付けしてください。

 ポイント！

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

**洗濯機は使用しないでください**

破損、変形の原因となります。

重量の偏りにより、洗濯機が故障するおそれがあります。

**アイロンは使用しないでください**

破損、縮みの原因となります。

**タンブラー乾燥はしないでください**

破損、縮みの原因となります。

**△注意 乾燥機は使用しないでください。**

**有機溶剤を使用しないでください**

ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、破損のおそれがあります。

**漂白剤は使用できません**

劣化を早め、変退色の原因となります。

**きつく絞らないでください**

型崩れ、しわ、変形の原因となります。

●キャノピー

●ボディサポートのクッション

●ヘッドサポートのプレート

洗濯することができません。水に浸さないでください。変形、変質するおそれがあります。柔らかいブラシで汚れを落とすか、水に浸しよく絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。

## お手入れのしかた

### △危険

お手入れには、潤滑剤、有機溶剤、原液の洗剤を絶対に使用しないでください。シリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤、ガソリンなどの有機溶剤、原液の洗剤が付着すると、本製品を変質、破損させたり、本製品が安全に機能しなくなりますので絶対に使用しないでください。

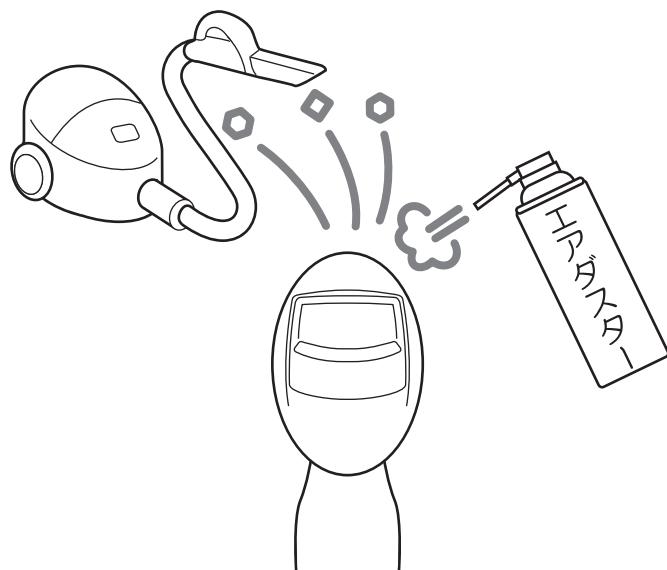
水を直接かけないでください。サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

### ●ISOFIXコネクター

### ●サポートレッグ

### ●バックル

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用してゴミやほこりを吹き飛ばすか、掃除機を使用して吸い取るようにしてください。



### ポイント！

ISOFIX コネクター、自動車の ISOFIX 固定バー、バックル、サポートレッグは常に清潔を保つようにしてください。

## ●プラスチックの部位・部品

樹脂部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

△注意

市販のウエットタオル（ウェットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは、プラスチックの部位・部品のお手入れに使用しないでください。含まれる成分により樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

## ●金属の部位・部品

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。ISOFIX コネクター、サポートレッグ、バックルを除く金属部分に関して、食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

## ●ハーネス・アジャスターべルト

肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、アジャスターべルトは、取り外しできません。お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

## 保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車から取り外しておいてください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時もバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる場所、露天では保管しないでください。

## 廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。